

平成30年度

主要施策の成果に関する調書

糸島市

目 次

一 般 会 計

1 総 括	1
2 歳 入	4
市税の年度別推移	4
市税の収納の状況	5
市税収入額の推移(現年課税分)	6
固定資産評価状況	7
歳入科目別・年度別決算の推移	10
地方譲与税	10
利子割交付金	10
配当割交付金	10
株式等譲渡所得割交付金	10
地方消費税交付金	10
ゴルフ場利用税交付金	11
自動車取得税交付金	11
地方特例交付金	11
地方交付税	11
交通安全対策特別交付金	12
分担金及び負担金	12
使用料及び手数料	12
国庫支出金	12
県支出金	13
財産収入	13
寄附金	13
繰入金	13
繰越金	14
諸収入	14
市債	15
事業別地方債の借入状況	16
地方債現在高の状況	18
借入先別地方債現在高の状況	19

基金の状況(一般会計)	20
地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使途状況	21
入湯税の使途状況	21
3 歳 出	22
主な事業	
総務部	
財政課	22
管財契約課	23
危機管理課	24
企画部	
経営戦略課	27
地域振興課	29
秘書広報課	37
市民部	
市民課	38
収税課	39
生活環境課	40
人権福祉部	
福祉保護課	41
福祉支援課	42
子ども課	43
人権・男女共同参画推進課	47
健康増進部	
健康づくり課	48
介護・高齢者支援課	49
産業振興部	
農業振興課	52
農林水産課	56
商工観光課	65
農業委員会事務局	70
建設都市部	
建設課	71
都市計画課	77
施設管理課	81

消防本部		
消防総務課	82
警防課	83
教育部		
教育総務課	85
生涯学習課	90
文化課	93
学校教育課	94
上下水道部		
下水道課	97

特 別 会 計

1 住宅新築資金等貸付事業特別会計	99
2 国民健康保険事業特別会計	101
3 介護保険事業特別会計	107
4 後期高齢者医療特別会計	113
5 渡船事業特別会計	115
6 二丈福吉財産区特別会計	117
7 二丈一貴山財産区特別会計	118
基金の状況(特別会計)	119

参 考 資 料

一 般 会 計

1 総括

一般会計実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度	平成29年度
歳 入	総 額	37,402,515	36,335,017
歳 出	総 額	36,401,396	34,838,202
歳 入	歳 出 差 引 額	1,001,119	1,496,815
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費通次繰越額	13,683	30,081
	(2)繰越明許費繰越額	176,192	44,661
	(3)事故繰越し繰越額		
	計	189,875	74,742
実 質 収 支 額		811,244	1,422,073

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
26	34,801,520	505,240	1.5	33,414,330	492,451	1.5	1,387,190
27	35,795,223	993,703	2.9	34,198,066	783,736	2.3	1,597,157
28	39,177,305	3,382,082	9.4	37,385,451	3,187,385	9.3	1,791,854
29	36,335,017	△ 2,842,288	△ 7.3	34,838,202	△ 2,547,249	△ 6.8	1,496,815
30	37,402,515	1,067,498	2.9	36,401,396	1,563,194	4.5	1,001,119

科目別決算の状況

歳 入

(単位:千円、%)

科 目	平成30年度					平成29年度 決算額 (D)	増減額 (C)-(D)=(E)	増減率 (E)/(D)
	予算額 (A)	調定額 (B)	収入額 (C)	対 予 算 収 入 率 (C/A)	(C) の 構 成 比			
1 市 税	9,345,380	9,726,828	9,572,182	102.4	25.6	9,427,604	144,578	1.5
2 地 方 譲 与 税	333,161	345,469	345,469	103.7	0.9	341,460	4,009	1.2
3 利子割交付金	17,022	15,561	15,561	91.4	0.0	17,710	△ 2,149	△ 12.1
4 配当割交付金	32,485	34,572	34,572	106.4	0.1	45,820	△ 11,248	△ 24.5
5 株式等譲渡所得 割 交 付 金	20,992	31,682	31,682	150.9	0.1	48,474	△ 16,792	△ 34.6
6 地方消費税交付金	1,521,000	1,532,145	1,532,145	100.7	4.1	1,523,632	8,513	0.6
7 ゴルフ場利用税 交 付 金	82,397	83,248	83,248	101.0	0.2	85,496	△ 2,248	△ 2.6
8 自動車取得税 交 付 金	115,177	131,213	131,213	113.9	0.3	125,278	5,935	4.7
9 地方特例交付金	77,871	77,871	77,871	100.0	0.2	64,008	13,863	21.7
10 地方交付税	7,882,444	7,929,085	7,929,085	100.6	21.2	8,134,961	△ 205,876	△ 2.5
11 交通安全対策 特 別 交 付 金	18,000	16,362	16,362	90.9	0.0	18,071	△ 1,709	△ 9.5
12 分担金及び負担金	525,730	569,835	558,729	106.3	1.5	538,735	19,994	3.7
13 使用料及び手数料	504,337	531,151	508,139	100.8	1.4	483,852	24,287	5.0
14 国庫支出金	6,458,270	6,402,621	6,290,951	97.4	16.8	6,293,569	△ 2,618	0.0
15 県 支 出 金	3,647,445	3,584,220	3,198,634	87.7	8.6	3,015,400	183,234	6.1
16 財 産 収 入	421,362	473,991	473,991	112.5	1.3	201,704	272,287	135.0
17 寄 附 金	505,000	500,788	500,788	99.2	1.3	383,189	117,599	30.7
18 繰 入 金	1,693,402	1,253,482	1,253,482	74.0	3.4	656,914	596,568	90.8
19 繰 越 金	1,496,815	1,496,815	1,496,815	100.0	4.0	1,791,854	△ 295,039	△ 16.5
20 諸 収 入	633,171	752,686	662,066	104.6	1.8	428,965	233,101	54.3
21 市 債	3,010,031	2,689,531	2,689,531	89.4	7.2	2,708,321	△ 18,790	△ 0.7
歳 入 合 計	38,341,491	38,179,156	37,402,515	97.6	100.0	36,335,017	1,067,498	2.9

※各欄において表示単位未満を四捨五入しており、表内において計が一致しない場合がある。

歳 出

(単位:千円、%)

科 目	平成 30 年 度				平成29年度 決算額 (C)	増減額 (B) - (C) = (D)	増減率 (D)/(C)
	予算現額 (A)	支出額 (B)	予 算 執行率 (B/A)	(B) の 構 成 比			
1 議 会 費	255,027	252,037	98.8	0.7	265,753	△ 13,716	△ 5.2
2 総 務 費	3,095,220	2,982,042	96.3	8.2	2,813,455	168,587	6.0
3 民 生 費	15,410,340	15,073,444	97.8	41.4	15,180,747	△ 107,303	△ 0.7
4 衛 生 費	3,300,119	3,163,420	95.9	8.7	2,703,936	459,484	17.0
5 労 働 費	23,778	23,682	99.6	0.1	23,776	△ 94	△ 0.4
6 農 林 水 産 業 費	1,319,043	1,271,140	96.4	3.5	1,302,366	△ 31,226	△ 2.4
7 商 工 費	292,521	278,787	95.3	0.8	256,310	22,477	8.8
8 土 木 費	3,262,977	2,713,096	83.1	7.4	2,226,858	486,238	21.8
9 消 防 費	1,553,828	1,519,142	97.8	4.2	1,279,378	239,764	18.7
10 教 育 費	3,290,968	3,118,501	94.8	8.5	3,595,906	△ 477,405	△ 13.3
11 災 害 復 旧 費	749,382	285,366	38.1	0.8	16,577	268,789	1,621.5
12 公 債 費	2,948,357	2,947,865	100.0	8.1	2,819,489	128,376	4.6
13 諸 支 出 金	2,831,759	2,772,874	97.9	7.6	2,353,651	419,223	17.8
14 予 備 費	8,172	—	—	—	—	—	—
歳 出 合 計	38,341,491	36,401,396	94.9	100.0	34,838,202	1,563,194	4.5

2 歳 入

市税の年度別推移

(単位:千円、%)

年度	調定額 (A)	収入済額 (B)	収 納 率			収入済額の 対前年度 増減率
			現年 課税分	滞納 繰越分	計 (B)/(A)×100	
26	9,386,383	9,042,577	99.4	25.0	96.3	0.8
27	9,244,993	8,962,170	99.5	25.0	96.9	△0.9
28	9,536,280	9,306,767	99.6	27.3	97.6	3.8
29	9,612,507	9,427,604	99.6	26.9	98.1	1.3
30	9,726,828	9,572,182	99.6	30.9	98.4	1.5

市税の収納の状況

(単位:千円、%)

科目別	区分	予算額	(A) 調定額	(B) 収入済額	(A)の 構成比	前年度 構成比	収 納 率	
							(B)/(A)	前年度
1	市 民 税	4,464,213	4,663,237	4,590,079	47.9	47.1	98.4	98.1
	(1) 個 人 分	4,081,328	4,244,628	4,173,192	43.6	42.7	98.3	98.0
	ア 現 年 課 税 分	4,062,473	4,167,696	4,147,969	42.8	41.8	99.5	99.4
	(ア) 均 等 割	160,233	165,817	165,032	1.7	1.7	99.5	99.4
	(イ) 所 得 割	3,902,240	4,001,879	3,982,937	41.1	40.1	99.5	99.4
	イ 滞 納 繰 越 分	18,855	76,932	25,223	0.8	0.9	32.8	31.0
	(2) 法 人 分	382,885	418,609	416,887	4.3	4.4	99.6	99.3
	ア 現 年 課 税 分	382,693	415,739	415,368	4.3	4.4	99.9	99.7
	(ア) 均 等 割	155,669	160,804	160,434	1.7	1.7	99.8	99.6
	(イ) 法 人 税 割	227,024	254,935	254,934	2.6	2.7	100.0	99.8
	イ 滞 納 繰 越 分	192	2,870	1,519	0.0	0.0	52.9	34.8
2	固 定 資 産 税	4,106,519	4,257,511	4,181,089	43.8	44.6	98.2	97.8
	(1) 純 固 定 資 産 税	4,086,925	4,237,798	4,161,376	43.6	44.4	98.2	97.8
	ア 現 年 課 税 分	4,061,135	4,149,289	4,136,087	42.7	43.3	99.7	99.7
	(ア) 土 地	1,438,772	1,447,212	1,442,607	14.9	15.0	99.7	99.7
	(イ) 家 屋	2,074,319	2,120,367	2,113,621	21.8	22.4	99.7	99.7
	(ウ) 償 却 資 産	548,044	581,710	579,859	6.0	5.9	99.7	99.7
	イ 滞 納 繰 越 分	25,790	88,509	25,289	0.9	1.1	28.6	23.3
	(2) 交 付 金 納 付 金	19,594	19,713	19,713	0.2	0.2	100.0	100.0
3	軽 自 動 車 税	257,294	274,409	269,343	2.8	2.8	98.2	97.7
	ア 現 年 課 税 分	256,007	269,155	267,783	2.8	2.7	99.5	99.4
	イ 滞 納 繰 越 分	1,287	5,254	1,560	0.0	0.1	29.7	25.9
4	市 町 村 た ば こ 税	511,294	524,799	524,799	5.4	5.4	100.0	100.0
5	目 的 税	6,060	6,872	6,872	0.1	0.1	100.0	100.0
	(1) 入 湯 税	6,060	6,872	6,872	0.1	0.1	100.0	100.0
	ア 現 年 課 税 分	6,060	6,872	6,872	0.1	0.1	100.0	100.0
	イ 滞 納 繰 越 分	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
合	計	9,345,380	9,726,828	9,572,182	100.0	100.0	98.4	98.1
	ア 現 年 課 税 分	9,299,256	9,553,263	9,518,591	98.3	97.9	99.6	99.6
	イ 滞 納 繰 越 分	46,124	173,565	53,591	1.7	2.1	30.9	26.9

市税収入額の推移(現年課税分)

(単位:千円、%)

科 目	区 分	29年度		30年度	
		収 入 額	収 納 率	収 入 額	収 納 率
1	市 民 税	4,414,623	99.5	4,563,337	99.6
	個 人	3,994,031	99.4	4,147,969	99.5
	法 人	420,592	99.7	415,368	99.9
2	固 定 資 産 税	4,177,639	99.7	4,155,800	99.7
	純 固 定 資 産 税	4,157,795	99.7	4,136,087	99.7
	交 ・ 納 付 金	19,844	100.0	19,713	100.0
3	軽 自 動 車 税	253,955	99.4	267,783	99.5
4	市 町 村 た ば こ 税	520,543	100.0	524,799	100.0
5	入 湯 税	6,858	100.0	6,872	100.0
	合 計	9,373,618	99.6	9,518,591	99.6
	一世帯当たり税額(円)	227,135	対前年比 △ 0.7	225,201	対前年比 △ 0.9
	一人当たり税額(円)	93,065	0.9	93,825	0.8

※人口 101,450 人、世帯数 42,267 世帯 (平成31年3月末現在住民基本台帳より)

固定資産評価状況

土地

(平成31年度概要調書による)

区 分		筆数	課税地積(㎡)	評価額(千円)	1㎡当たり 平均価格(円)
宅地	小規模住宅用地	40,017	6,111,169	118,172,284	19,337
	一般住宅用地	27,989	5,478,349	60,189,290	10,987
	住宅用地以外の宅地	10,190	4,888,739	64,645,689	13,223
	小 計	78,196	16,478,257	243,007,263	14,747
田	一 般 田	21,627	36,755,372	3,921,529	107
	市街化区域田	372	316,037	4,224,690	13,368
畑	一 般 畑	23,040	20,364,422	763,088	37
	市街化区域畑	628	291,547	3,797,588	13,026
山林	一 般 山 林	29,786	51,479,635	1,278,244	25
	介 在 山 林	83	34,245	55,693	1,626
牧	場	175	222,489	8,345	38
原	野	4,134	2,755,672	89,718	33
鉦	泉 地	1	3	158	52,667
池	沼	147	73,292	1,416	19
雑	種 地	16,396	10,980,689	24,421,855	2,224
合 計		174,585	139,751,660	281,569,587	2,015

家屋

(木造)

(平成31年度概要調書による)

区 分	棟 数	床面積(㎡)	評価額(千円)	1㎡当たり 平均価格(円)
専 用 住 宅	25,831	3,140,213	72,626,506	23,128
共 同 住 宅・寄 宿 舎	408	104,257	3,342,509	32,060
併 用 住 宅	686	100,136	1,660,178	16,579
旅 館・料 亭・ホ テ ル	21	7,724	85,523	11,072
事 務 所・銀 行・店 舗	459	44,343	1,128,945	25,459
劇 場・病 院	37	7,751	261,590	33,749
工 場・倉 庫	365	41,638	323,767	7,776
土 蔵	80	1,931	3,322	1,720
附 属 家	8,837	464,739	1,734,412	3,732
合 計	36,724	3,912,732	81,166,752	20,744

(非木造)

(平成31年度概要調書による)

区 分	棟 数	床面積(㎡)	評価額(千円)	1㎡当たり 平均価格(円)	
鉄 骨 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	87	102,197	6,698,083	65,541	
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	1,051	598,394	38,490,149	64,322	
鉄 骨 造	2,439	853,706	28,807,963	33,745	
軽 量 鉄 骨 造	4,457	590,608	12,147,648	20,568	
コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 造	723	24,945	331,523	13,290	
合 計	8,757	2,169,850	86,475,366	39,853	
内 訳	住 宅・ア パ ー ト	3,603	996,473	48,074,471	48,245
	そ の 他	5,154	1,173,377	38,400,895	32,727

新・増築家屋の状況(平成30年1月2日～平成31年1月1日)

(木造)

(平成31年度概要調書による)

区 分	棟 数	床面積(㎡)	評価額(千円)	1㎡当たり 平均価格(円)
専 用 住 宅	456	50,337	3,684,486	73,196
共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	39	5,666	368,405	65,020
併 用 住 宅	3	515	33,184	64,435
旅 館 ・ 料 亭 ・ ホ テ ル	0	0	0	0
事 務 所 ・ 銀 行 ・ 店 舗	11	1,325	78,421	59,186
劇 場 ・ 病 院	0	0	0	0
工 場 ・ 倉 庫	2	123	5,806	47,203
土 蔵	0	0	0	0
附 属 家	19	670	24,901	37,166
合 計	530	58,636	4,195,203	71,547

(非木造)

(平成31年度概要調書による)

区 分	棟 数	床面積(㎡)	評価額(千円)	1㎡当たり 平均価格(円)	
鉄 骨 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	0	0	0	0	
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	35	6,762	743,789	109,995	
鉄 骨 造	26	21,249	1,467,324	69,054	
軽 量 鉄 骨 造	46	5,367	401,986	74,900	
コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 造	0	0	0	0	
合 計	107	33,378	2,613,099	78,288	
内 訳	住 宅 ・ ア パ ー ト	38	12,903	1,313,253	101,779
	そ の 他	69	20,475	1,299,846	63,485

歳入科目別・年度別決算の推移

地方譲与税

(単位:千円、%)

年 度	地方揮発油譲与税		自動車重量税		合計	
	決算額	対前年度増減率	決算額	対前年度増減率	決算額	対前年度増減額
26	99,227	△ 6.4	232,156	△ 3.7	331,383	△ 4.5
27	105,364	6.2	241,506	4.0	346,870	4.7
28	100,325	△ 4.8	243,146	0.7	343,471	△ 1.0
29	98,942	△ 1.4	242,518	△ 0.3	341,460	△ 0.6
30	99,749	0.8	245,720	1.3	345,469	1.2

利子割交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
26	22,602	△ 3.8
27	19,034	△ 15.8
28	9,685	△ 49.1
29	17,710	82.9
30	15,561	△ 12.1

配当割交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
26	71,723	83.7
27	53,804	△ 25.0
28	31,620	△ 41.2
29	45,820	44.9
30	34,572	△ 24.5

株式等譲渡所得割交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
26	39,975	△ 32.0
27	50,055	25.2
28	20,992	△ 58.1
29	48,474	130.9
30	31,682	△ 34.6

地方消費税交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
26	941,706	27.1
27	1,682,123	78.6
28	1,505,588	△ 10.5
29	1,523,632	1.2
30	1,532,145	0.6

ゴルフ場利用税交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
26	86,314	1.5
27	88,631	2.7
28	83,661	△ 5.6
29	85,496	2.2
30	83,248	△ 2.6

自動車取得税交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
26	52,419	△ 55.3
27	78,620	50.0
28	91,427	16.3
29	125,278	37.0
30	131,213	4.7

地方特例交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
26	48,137	△ 1.0
27	51,042	6.0
28	55,025	7.8
29	64,008	16.3
30	77,871	21.7

地方交付税

(単位:千円、%)

年 度	普 通 交 付 税		特 別 交 付 税		合 計	
	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率
26	8,714,160	△ 5.3	628,476	△ 2.8	9,342,636	△ 5.1
27	8,140,912	△ 6.6	623,763	△ 0.7	8,764,675	△ 6.2
28	7,784,971	△ 4.4	618,462	△ 0.8	8,403,433	△ 4.1
29	7,535,988	△ 3.2	598,973	△ 3.2	8,134,961	△ 3.2
30	7,261,450	△ 3.6	667,635	11.5	7,929,085	△ 2.5

※26、27年度特別交付税は、震災復興特別交付税をそれぞれ4千円、2千円を含んでいます。

交通安全対策特別交付金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対前年度増減率
26	16,927	△ 9.8
27	18,987	12.2
28	18,876	△ 0.6
29	18,071	△ 4.3
30	16,362	△ 9.5

分担金及び負担金

(単位:千円、%)

年 度	分 担 金		負 担 金		合 計	
	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率
26	12,691	24.0	604,218	2.5	616,909	2.8
27	7,704	△ 39.3	604,415	0.0	612,119	△ 0.8
28	11,868	54.0	519,087	△ 14.1	530,955	△ 13.3
29	13,378	12.7	525,356	1.2	538,734	1.5
30	8,603	△ 35.7	550,126	4.7	558,729	3.7

使用料及び手数料

(単位:千円、%)

年 度	使 用 料		手 数 料		合 計	
	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率
26	181,111	1.3	252,294	△ 10.7	433,405	△ 6.0
27	185,290	2.3	281,905	11.7	467,195	7.8
28	199,002	7.4	284,316	0.9	483,318	3.5
29	192,222	△ 3.4	291,630	2.6	483,852	0.1
30	197,917	3.0	310,222	6.4	508,139	5.0

国庫支出金

(単位:千円、%)

年 度	国 庫 負 担 金		国 庫 補 助 金		委 託 金		合 計	
	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率
26	4,135,092	△ 1.0	1,830,424	120.9	31,521	17.4	5,997,037	19.2
27	4,602,240	11.3	1,751,734	△ 4.3	29,532	△ 6.3	6,383,506	6.4
28	4,611,917	0.2	1,566,034	△ 10.6	29,149	△ 1.3	6,207,100	△ 2.8
29	4,730,628	2.6	1,534,901	△ 2.0	28,040	△ 3.8	6,293,569	1.4
30	4,939,894	4.4	1,323,372	△ 13.8	27,685	△ 1.3	6,290,951	0.0

県支出金

(単位:千円、%)

年 度	県 負 担 金		県 補 助 金		委 託 金		合 計	
	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率
26	1,541,579	5.9	1,071,199	△ 25.5	194,277	8.7	2,807,055	△ 8.6
27	1,808,753	17.3	1,111,379	3.8	205,911	6.0	3,126,043	11.4
28	1,849,660	2.3	1,230,110	10.7	183,258	△ 11.0	3,263,028	4.4
29	1,949,088	5.4	883,867	△ 28.1	182,445	△ 0.4	3,015,400	△ 7.6
30	2,002,476	2.7	1,022,025	15.6	174,133	△ 4.6	3,198,634	6.1

財産収入

(単位:千円、%)

年 度	財 産 運 用 収 入		財 産 売 払 収 入		合 計	
	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率	決 算 額	対前年度 増 減 率
26	29,376	△ 1.1	87,060	100.9	116,436	59.4
27	26,280	△ 10.5	188,567	116.6	214,847	84.5
28	24,830	△ 5.5	41,702	△ 77.9	66,532	△ 69.0
29	39,954	60.9	161,750	287.9	201,704	203.2
30	24,210	△ 39.4	449,781	178.1	473,991	135.0

寄附金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
26	9,987	13.1
27	109,629	997.7
28	184,078	67.9
29	383,189	108.2
30	500,788	30.7

繰入金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対 前 年 度 増 減 率
26	62,463	△ 72.7
27	34,449	△ 44.8
28	3,711,567	10,674.1
29	656,914	△ 82.3
30	1,253,482	90.8

繰越金

(単位:千円、%)

年 度	決 算 額	対前年度増減率
26	1,374,401	25.4
27	1,387,190	0.9
28	1,597,157	15.1
29	1,791,854	12.2
30	1,496,816	△ 16.5

諸収入

(単位:千円、%)

年 度	延滞金加算金及び過料		市 預 金 利 子		貸 付 金 元 利 収 入	
	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率
26	23,850	6.9	875	△ 5.2	37,320	△ 22.0
27	29,505	23.7	848	△ 3.1	34,782	△ 6.8
28	30,925	4.8	389	△ 54.1	95,636	175.0
29	33,755	9.2	469	20.6	25,865	△ 73.0
30	30,398	△ 9.9	485	3.4	25,595	△ 1.0

受 託 事 業 収 入		雑 入		合 計	
決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率	決 算 額	対前年度増減率
59,893	7.6	327,725	△ 9.0	449,663	△ 7.6
54,547	△ 8.9	329,535	0.6	449,217	△ 0.1
44,166	△ 19.0	340,814	3.4	511,930	14.0
18,673	△ 57.7	350,203	2.8	428,965	△ 16.2
23,956	28.3	581,632	66.1	662,066	54.3

市 債

(単位:千円、%)

年 度	臨時財政対策債以外		臨時財政対策債		合 計	
	決 算 額	対前年度 増減率	決 算 額	対前年度 増減率	決 算 額	対前年度 増減率
26	1,451,500	7.2	1,486,265	△ 6.6	2,937,765	△ 0.2
27	1,622,500	11.8	1,272,516	△ 14.4	2,895,016	△ 1.5
28	1,732,300	6.8	1,018,794	△ 19.9	2,751,094	△ 5.0
29	1,619,900	△ 6.5	1,088,421	6.8	2,708,321	△ 1.6
30	1,587,300	△ 2.0	1,102,231	1.3	2,689,531	△ 0.7

事業別地方債の借入状況

(単位:千円)

事業名	借入先	財務省 財政融資資金	地方公共団体 金融機関資金	その他	合計
合併推進債(放課後児童クラブ整備事業)				21,900	21,900
放課後児童クラブ整備事業				11,700	11,700
前原南小学校校舎等整備事業(児童クラブ分)				10,200	10,200
合併推進債(常備消防施設整備事業)				42,000	42,000
高規格救急自動車整備事業				19,300	19,300
消防ポンプ自動車整備事業				22,700	22,700
庁舎改修事業			19,300		19,300
防犯灯管理事業				19,600	19,600
合併推進債(運動公園等整備事業)				11,500	11,500
合併推進債(放課後児童クラブ整備事業)(繰越明許費分)			900		900
合併推進債(公民館改修事業)(繰越明許費分)				24,100	24,100
庁舎改修事業(継続費分)			38,400		38,400
人権センター改修事業			20,800		20,800
し尿処理センター基幹的設備改良事業				232,500	232,500
県営土地改良事業				6,700	6,700
農業水利施設等整備事業			23,300	9,700	33,000
県営農地防災事業				2,300	2,300
林道新設改良事業				9,300	9,300
広域基幹林道開設事業			2,600	7,300	9,900
野北漁港整備事業				4,300	4,300
福吉漁港整備事業				4,600	4,600
姫島漁港整備事業				1,000	1,000
建築行為等道路後退事業				2,300	2,300
道路整備事業				102,600	102,600
新田久保田線整備事業				22,200	22,200
浦志有田線整備事業				8,800	8,800
新駅北口停車場線整備事業				49,600	49,600
新駅周辺整備事業				7,500	7,500
松浦中線・松浦線整備事業				2,700	2,700
道路施設長寿命化修繕事業				5,600	5,600
前原西中学校前線整備事業				2,900	2,900
北の崎龍頭線整備事業				3,300	3,300
橋梁長寿命化事業				19,400	19,400
道路整備事業(繰越明許費分)			78,300	45,500	123,800
新田久保田線整備事業			17,800		17,800
新駅北口停車場線整備事業			60,500	45,500	106,000
橋梁長寿命化事業(繰越明許費分)			600		600
県営街路整備事業				4,500	4,500
筑前深江駅関連施設整備事業				75,900	75,900
新駅関連施設整備事業				1,200	1,200
公園緑地改修事業			6,000	8,700	14,700
志摩中央公園トイレ改修事業			6,000		6,000
二丈コミュニティプラザトイレ更新事業				8,700	8,700
都市公園整備事業(繰越明許費分)				6,500	6,500
新駅関連施設整備事業(継続費分)				99,600	99,600

事業別地方債の借入状況

(単位:千円)

事業名	借入先	財務省 財政融資資金	地方公共団体 金融機構資金	その他	合計
消防施設整備事業			33,100		33,100
	県防災行政情報通信ネットワーク整備事業(糸島市分)		3,400		3,400
	消防団ポンプ自動車整備事業		29,700		29,700
常備消防施設整備事業			28,700	23,300	52,000
	防火水槽整備事業		10,500		10,500
	消防施設改修事業		2,600		2,600
	県防災行政情報通信ネットワーク整備事業(消防本部分)		2,800		2,800
	指揮車整備事業		12,800		12,800
	高規格救急自動車整備事業			10,700	10,700
	消防ポンプ自動車整備事業			12,600	12,600
地域防災対策事業			1,700		1,700
消防施設整備事業(繰越明許費分)			156,900		156,900
小学校大規模改造事業				11,900	11,900
小学校改修事業				28,500	28,500
小学校大規模改造事業(継続費分)		70,200			70,200
小学校空調設備整備事業(繰越明許費分)		2,200			2,200
特別支援学校建設用地取得事業				188,500	188,500
中学校改修事業				18,200	18,200
公民館改修事業				5,300	5,300
一般会計出資金			33,300		33,300
	福岡地区水道企業団繰出金		300		300
	上水道事業補助金		33,000		33,000
臨時財政対策債		873,902	228,329		1,102,231
白糸の滝ふれあいの里改修事業				1,700	1,700
農業用施設災害復旧事業		2,700			2,700
林道施設災害復旧事業		1,100			1,100
公共土木施設災害復旧事業		19,300			19,300
観光施設災害復旧事業		7,500			7,500
合計		976,902	672,229	1,040,400	2,689,531

地方債現在高の状況

(単位:千円)

区 分	平成29年度末 現 在 高 (A)	平成30年度 発 行 額 (B)	平成30年度元利償還額			(D)の財源内訳		平成30年度末 現 在 高 (A+B-C)
			元金 (C)	利子	計 (D)	特定財源	税等	
1 公共事業等債	2,028,086	267,400	63,014	10,985	73,999	0	73,999	2,232,472
2 公営住宅 建設事業債	570,425	0	82,305	8,696	91,001	9,469	81,532	488,120
3 災害復旧 事業債	42,067	30,600	8,777	151	8,928	0	8,928	63,890
4 (旧)緊急防災・ 減災事業債	120,818	0	25,627	530	26,157	0	26,157	95,191
5 全国防災事業債	43,169	0	5,702	59	5,761	0	5,761	37,467
6 教育・福祉施設等 整備事業債	3,544,768	358,900	443,661	33,572	477,233	0	477,233	3,460,007
7 一般単独事業債	4,546,664	466,700	704,877	31,872	736,749	10,844	725,905	4,308,487
8 辺地対策事業債	46,211	0	8,308	221	8,529	0	8,529	37,903
9 厚生福祉施設 整備事業債	1,456	0	1,456	19	1,475	0	1,475	0
10 財源対策債	2,019,057	241,900	152,281	15,998	168,279	0	168,279	2,108,676
11 臨時財政 特例債	555	0	555	18	573	0	573	0
12 減税補てん債	312,250	0	86,209	1,609	87,818	0	87,818	226,041
13 臨時財政対策債	15,148,266	1,102,231	1,057,056	79,351	1,136,407	0	1,136,407	15,193,441
14 県貸付金	282,899	188,500	26,589	0	26,589	0	26,589	444,810
15 そ の 他	1,090,308	33,300	78,726	19,641	98,367	0	98,367	1,044,882
一般会計合計	29,796,999	2,689,531	2,745,143	202,722	2,947,865	20,313	2,927,552	29,741,387
住宅新築資金等 貸付事業債	4,394	0	2,264	134	2,398	2,398	0	2,130
合 計	29,801,393	2,689,531	2,747,407	202,856	2,950,263	22,711	2,927,552	29,743,517

※各欄において表示単位未満を四捨五入しており、表内において計が一致しない場合がある。

※15その他の欄には、平成24年度末に廃止された救急医療事業特別会計の救急医療事業債を含む。

借入先別地方債現在高の状況

(単位:千円)

借入先	平成29年度末 現在高	平成30年度 発行額	平成30年度 償還元金	平成30年度末 現在高
財政融資資金	16,849,944	976,902	1,334,518	16,492,328
うち旧資金運用部資金	762,333	0	182,665	579,668
うち旧還元融資資金	91,883	0	11,311	80,572
旧日本郵政公社資金	2,646,670	0	401,303	2,245,367
(1) 旧郵便貯金資金	600,873	0	75,055	525,818
(2) 旧簡易生命保険資金	2,045,797	0	326,248	1,719,549
地方公共団体金融機構資金	7,085,231	672,229	577,924	7,179,536
うち旧公営企業金融公庫資金	970,553	0	161,155	809,398
市中銀行	1,519,820	592,000	154,160	1,957,660
その他の金融機関	289,600	0	109,260	180,340
共済等	48,817	114,500	17,117	146,200
その他	1,356,917	333,900	150,861	1,539,956
一般会計合計	29,796,999	2,689,531	2,745,143	29,741,387
旧簡易生命保険資金 (住宅新築資金等貸付事業分)	4,394	0	2,264	2,130
合計	29,801,393	2,689,531	2,747,407	29,743,517

※各欄において表示単位未満を四捨五入しており、表内において計が一致しない場合がある。

※財政融資資金、うち旧資金運用部資金及びうち旧還元融資資金には、平成24年度末に廃止された救急医療事業特別会計分を含む。

基金の状況(一般会計)

(単位:千円)

名 称	29年度末 現在高	30年度		30年度末 現在高
		積立	取崩	
財政調整基金	5,308,386	1,260,695	700,000	5,869,081
減債基金	101,940	25		101,965
国際交流基金	10,872	3	1,594	9,281
ふるさと応援基金	456,158	493,120	490,816	458,462
災害活動等支援基金	21,107	10		21,117
水源保全基金	45,587	12,045	10,160	47,472
校区まちづくり応援基金	665	14,561	15,226	0
青少年育成基金	2,941	1	730	2,212
定住・ブランド基金	34,941	20,008	26,031	28,918
公共施設等総合管理推進基金	3,682,032	3,475		3,685,507
再生可能エネルギー推進基金	17,334	22,220	8,725	30,829
定額運用基金	二丈町合併10周年記念奨学基金	11,648		11,648
	高額療養費支払資金貸付基金	9,700		9,700
	高額介護サービス費支払資金貸付基金	3,000		3,000
一 般 会 計 合 計	9,706,311	1,826,163	1,253,282	10,279,192

地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使途状況

地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)地方消費税交付金(社会保障財源化分) 724,237 千円

(歳出)地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障施策の経費 14,956,793 千円

(単位:千円)

施策区分	決算額	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国県支出金	地方債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	一般財源	
社会福祉	社会福祉総務費	99,632	21,415		4,470	8,001	65,746
	障害者福祉費	1,789,978	1,272,529			56,136	461,313
	重度障害者医療対策費	265,723	103,200		49,287	12,285	100,951
	老人福祉費	1,333,366	18,674		12,668	141,252	1,160,772
	健康福祉センター等管理費	89,382	3,780		35,708	5,413	44,481
	児童福祉総務費	592,200	389,142		14,000	20,510	168,548
	児童保護費	3,082,692	1,803,146		523,017	82,073	674,456
	母子福祉費	37,067	26,852		17	1,106	9,092
	ひとり親家庭等医療対策費	89,435	37,764		8,906	4,639	38,126
	子ども医療対策費	274,210	129,643		5,332	15,105	124,130
	放課後児童クラブ費	265,445	150,263	22,800	417	9,977	81,988
	児童手当費	1,757,987	1,486,121			29,494	242,372
	児童扶養手当費	503,676	166,444			36,585	300,647
	生活保護総務費	13,331	7,780		8	601	4,942
	生活保護扶助費	1,481,220	1,146,167		25,225	33,612	276,216
社会保険	国民健康保険事業	1,123,867	498,445		3,579	67,461	554,382
	介護保険事業	1,211,188	12,114			130,083	1,068,991
	後期高齢者医療事業	362,015	225,294			14,832	121,889
保健衛生	保健予防費	428,494	8,367		14,186	44,039	361,902
	救急医療対策費	155,885			54,185	11,033	90,667
合計	14,956,793	7,507,140	22,800	751,005	724,237	5,951,611	

※上記の社会保障施策の経費は、事務費及び事務職員の人件費等を含みません。

入湯税の使途状況

平成30年度入湯税を充当する主な事業

(単位:千円)

事業名	平成30年度 事業費	一般財源	うち入湯税
その他観光施設管理事業	16,668	16,129	6,872

3 歳 出

主な事業(総務部 財政課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
上水道費	220,859	◎ 福岡地区水道企業団繰出金 42,434 (市債 300) 【目的】 上水道の水源確保を広域で行い、上水道の安定供給を図る。 【対象】 給水区域市民 【成果】 福岡地区水道企業団に対し、出資及び補助を行う。

主な事業(総務部 管財契約課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
庁舎維持管理費	81,144	<p>◎ 庁舎本館耐震改修事業 19,364 〈平成29年度～平成30年度〉 (市債 19,300)</p> <p>【目的】 耐震診断調査において強度不足が指摘された市庁舎本館を耐震基準値を満たす構造に改修し、行政機能及び防災拠点としての機能を保持する。</p> <p>【対象】 庁舎本館</p> <p>【成果】 耐震補強工事で耐震基準を満足する構造となり、工作物等の復旧も行った。</p>
公用車管理費	8,272	<p>◎ 庁用自動車購入等事業 4,154 〈平成26年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】 庁用自動車の経年劣化が全体的に進んでいるため、計画的に買い替えることにより、維持管理費を抑制し、車両が原因となる事故等を未然に防止する。</p> <p>【対象】 市が所有する庁用自動車</p> <p>【成果】 計画的な買い替えにより、車両が原因となる事故等は発生していない。</p>
新庁舎整備事業費	5,545	<p>◎ 新庁舎建設計画策定等支援事業 5,195</p> <p>【目的】 令和4～5年度での新庁舎建設に向け、具体的な配置図面や事業費の精査などに関する業務支援を委託し、新庁舎の配置、規模等を確定した「新庁舎建設計画」を策定する。</p> <p>【対象】 市庁舎を利用する市民等</p> <p>【成果】 新庁舎の配置、規模等を確定した「新庁舎建設計画」を策定した。</p>
庁舎維持管理費 (継続費分)	38,704	<p>◎ 庁舎本館耐震改修事業 38,704 〈平成29年度～平成30年度〉 (市債 38,400)</p> <p>【目的】 耐震診断調査において強度不足が指摘された市庁舎本館を耐震基準値を満たす構造に改修し、行政機能及び防災拠点としての機能を保持する。</p> <p>【対象】 庁舎本館</p> <p>【成果】 耐震補強工事で耐震基準を満足する構造となり、工作物等の復旧も行った。</p>

主な事業(総務部 危機管理課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
防犯灯管理費	45,360	<p>◎ 防犯灯LED転換事業 21,794 (平成27年度～令和4年度) (市債 19,600)</p> <p>【目的】 防犯灯をLEDに転換し、①安全安心なまちづくりの推進、②環境に配慮した低炭素社会への寄与、③消費電力の削減による市及び行政区の財政負担の軽減、④市内経済活性化と雇用の創出を図るものである。</p> <p>【対象】 LED灯以外の防犯灯(4,772基:平成30年4月1日現在)</p> <p>【成果】 既存防犯灯のうち、1,018基をLED灯具に転換した。 新規防犯灯をLED灯具で79基設置した。</p>
消防施設整備事業費	183,559	<p>◎ 県防災行政情報通信ネットワーク整備事業(危機管理課) 3,463 (平成29年度～令和元年度) (市債 3,400)</p> <p>【目的】 拡大する電波利用に迅速かつ適切に対応するため、県が整備している防災・行政情報通信ネットワークを、現在の衛星系無線回線及びMCAアナログ地上系無線回線から、民間光回線及び自営デジタル地上系無線に更新する。</p> <p>【対象】 県防災・行政無線情報通信ネットワーク ①空中線設備(アンテナ) ②無線機 ③防災情報端末 ④防災複合機 ⑤一斉受信装置 ⑥光回線接続装置 ⑦防災電話 ⑧情報表示板</p> <p>【成果】 平成30年度事業費の一部3,463千円を負担し支出した。</p>
防災行政無線整備事業費 (繰越明許費分)	156,935	<p>◎ 防災行政無線整備事業費 156,935 (市債 156,900)</p> <p>【目的】 災害時における情報伝達手段の重層化を図る。</p> <p>【対象】 土砂災害(特別)警戒区域及び当該区域に準ずる地形環境に存する世帯、自主防災組織、消防団役員</p> <p>【成果】 防災行政無線戸別受信機約3,500台を配備した。 当該事業実施により、避難情報等のより確実な伝達、そのことに伴う避難行動の確実な実施が期待される。</p>

主な事業(総務部 危機管理課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
地域防災対策費	16,072	<p>◎ 原子力防災用大型自動車運転免許取得事業 1,055 (県 1,055) 〈平成28年度～令和2年度〉</p> <p>【目的】 原子力災害が発生し、バス等大型車両により住民等を避難させる必要がある時に市の職員が車両を運転する場合があることを想定して、第一種大型自動車運転免許を取得させる。</p> <p>【対象】 平成30年度は市職員4人(5年間で20人)</p> <p>【成果】 計画どおり職員4人が第一種大型自動車運転免許を取得した。</p> <p>◎ 校区避難所運営訓練事業 460 〈平成30年度～令和3年度〉</p> <p>【目的】 地域防災力の向上を図る。</p> <p>【対象】 全小学校校区にて実施する。</p> <p>【成果】 9月に深江校区にて避難所運営訓練を実施し、自主防災役員を始め、小中学生の約300人が参加した。参加者のうち、72%が参加してよかった(ややよかったを含む)と感じるなど、防災意識向上に寄与することができた。</p> <p>◎ 防災ハンドブック作成事業 1,782</p> <p>【目的】 防災意識の向上を図る。</p> <p>【対象】 糸島市内の住民</p> <p>【成果】 平成30年度に作成完了し、平成31年4月1日の行政区長配布にて全住民へ配布した。</p>

人件費の推移

(単位:千円、%)

年度	人件費	歳出総額		税込総額		税込+地方交付税額	
		総額	人件費の割合	税込	人件費の割合	合計額	人件費の割合
26	5,196,691	33,451,871	15.5	9,042,577	57.5	18,385,213	28.3
27	5,212,283	34,229,260	15.2	8,962,170	58.2	17,726,845	29.4
28	5,124,446	37,400,839	13.7	9,306,767	55.1	17,710,200	28.9
29	5,116,254	34,863,833	14.7	9,427,604	54.3	17,562,565	29.1
30	5,092,859	36,415,415	14.0	9,572,182	53.2	17,501,267	29.1

※事業費支弁人件費を除く

※地方財政状況調査より(普通会計)

人件費の内訳

(単位:千円、%)

区 分	平成29年度	平成30年度	増減率
1 議員報酬手当	154,561	146,450	△ 5.2
2 委員等報酬	552,616	570,001	3.1
3 市町村長等特別職の給与	36,039	37,118	3.0
4 職員給	3,111,790	3,106,742	△ 0.2
(1) 基本給	1,956,877	1,966,527	0.5
(ア) 給料	1,765,607	1,767,875	0.1
(イ) 扶養手当	72,309	78,317	8.3
(ウ) 地域手当	118,961	120,335	1.2
(2) その他の手当	1,154,913	1,140,215	△ 1.3
(ア) 時間外勤務手当	215,069	181,938	△ 15.4
(イ) 管理職手当	49,691	50,511	1.7
(ウ) 期末勤勉手当	783,545	797,770	1.8
(エ) その他	106,608	109,996	3.2
5 地方公務員共済組合等負担金	717,055	723,387	0.9
6 退職手当組合負担金	467,059	431,721	△ 7.6
7 災害補償費	5,368	4,727	△ 11.9
8 職員互助会補助金	2,453	2,364	△ 3.6
9 その他	69,313	70,349	1.5
合 計	5,116,254	5,092,859	△ 0.5

※地方財政状況調査より(普通会計)

※事業費支弁人件費を除く

参考:事業費支弁人件費を含む人件費

(単位:千円、%)

区 分	平成29年度	平成30年度	増減率
人件費(事業費支弁人件費を含む)	5,211,350	5,194,390	△ 0.3
うち事業費支弁人件費	95,096	101,531	6.8

参考:普通会計職員数(各4月1日現在)

(単位:人)

区 分	平成29年度	平成30年度	増減数
一般職員	388	385	△ 3
教育公務員	2	2	0
消防職員	98	101	3
合 計	488	488	0

主な事業(企画部 経営戦略課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
運動公園等 整備事業費	26,831	<p>◎ 運動公園等整備事業 26,831 (平成30年度～令和4年度) (市債 11,500)</p> <p>【目的】 運動機能、交流機能、防災機能を備えた運動公園を整備し、都市機能の充実及び生涯学習機会の充実を図ることで、多くの市民の満足度を向上させる。 また、防災拠点となる多目的体育館、広場、災害備蓄庫などの施設整備を行うことで、市民の生命、財産を守る体制を強化する。</p> <p>【対象】 子どもから高齢者までの全市民</p> <p>【成果】 事前調査(地質調査、調査測量、現地測量)の実施 不動産鑑定業務の実施 実施方針の策定・公表 業務要求水準書(案)の作成・公表</p>
その他企画費	7,712	<p>◎ 第2次糸島市長期総合計画策定事業 4,473 (平成30年度～令和2年度)</p> <p>【目的】 第1次糸島市長期総合計画を検証しながら、社会情勢の変化や財政状況などを見極め、市民とともに“新しい時代の糸島”を創っていくため、第2次糸島市長期総合計画を策定する。</p> <p>【対象】 糸島市全体</p> <p>【成果】 高校生未来会議:2回開催 6校34人参加(延べ66人参加) 中学生未来への提言(作文):中学2・3年生対象 6校856人 優秀作品17作品 まちづくり市民委員会:3回開催 87人参加(延べ176人参加) 市民満足度調査:18歳以上2,000人対象 1,017人回収(回収率50.9%)</p>

主な事業(企画部 経営戦略課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他企画費	7,712	<p>◎ 人口減少地域活性化策モデル地域実践活動支援事業 1,270 (基金 1,270)</p> <p>【目的】 地域住民が自ら持続可能な地域づくりに向けた取組を実践するモデル事業を行い、その取組状況や成果などを、第2次糸島市長期総合計画において、人口減少地域活性化対策として生かしていく。</p> <p>【対象】 本市の特徴的な人口減少地域であるモデル4地域(長糸校区・桜野校区・福吉校区・浜の園団地)</p> <p>【成果】 長糸校区:地域課題である竹林を整備し、竹チップなどを販売し、環境整備と併せて、自ら稼げる地域づくりに取り組んだ。 桜野校区:地域の若手メンバーで「桜野元気づくり委員会」を組織。空家活用セミナーの開催や交流人口の増加に向けたニンニク収穫体験、また、SNSなどによる地域情報の発信に取り組んだ。 福吉校区:地域の若手メンバーを中心に「福吉活性化委員会」を組織。福吉のファンづくりを目的に、福吉朝めしツアーの開催や、地域の拠点である福ふくの里に福吉人紹介コーナーの設置などに取り組んだ。 浜の園団地:住みやすい地域(団地)として、子育て世代に選ばれるよう、子育て世代へのアンケート調査や住民同士の意見交換会、夏祭り開催などに取り組んだ。</p>

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
バス路線運行維持事業費	85,280	<p>◎ バス路線運行補助事業(運行費補助分) 76,389 (県 657)</p> <p>【目的】 「糸島市地域公共交通網形成計画」の事業計画に基づき、市内のバス交通を整備充実することによって、市民の生活交通手段の確保や交通不便地域の縮減等を図る。</p> <p>【対象】 公共交通利用者</p> <p>【成果】 生活交通手段の確保によるバス利用者数 ・コミュニティバス(九大線除く)175,343人 ・路線バス 136,249人 バス停20箇所にベンチ設置。</p> <p>◎ 自主運行バス事業 6,947 (県 1,017) (基金 5,000)</p> <p>【目的】 行政と校区の協働によるバス運行により、市民の生活交通手段の確保や交通不便地域の縮減を図る。</p> <p>【対象】 交通不便地域に住む市民</p> <p>【成果】 福吉校区、一貴山校区、引津校区、平成30年7月からは長系校区が新に自主運行バス事業を実施し、交通不便地域に住む市民の生活交通手段を確保した。 福吉校区2,924人(前年比+75人)、一貴山校区2,679人(前年比+72人)、引津校区1,112人(前年比+623人)、長系校区1,010人(長系校区は平成30年7月運行開始)。</p> <p>◎ 公共交通網形成計画推進事業 1,944 (国 972)</p> <p>【目的】 市内の路線バス、コミュニティバス及び鉄道、渡船の路線を全て集約し、公共交通利用者にとってわかりやすい情報を提供する。また、マップには市内の主要施設と乗継拠点を掲載することにより利用目的に応じた路線の選択が可能となり、公共交通の利用促進につながる。</p> <p>【対象】 公共交通利用者</p> <p>【成果】 「糸島市公共交通ガイド」を10,000部作成した。 平成31年度4月末時点における残部約4,500部。市立公民館等へ配置後1か月で半数以上が利用者の手に渡った。</p>

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
九州大学連携推進費	25,268	<p>◎ 九州大学関係者定住化促進事業 5,490 (県 192)</p> <p>【目的】 市内から九州大学までの交通アクセスを整備することにより、九大生や教職員の市内への定住促進及び市の活性化を図る。</p> <p>【対象】 九州大学の学生・教職員</p> <p>【成果】 コミュニティバス九大線利用者数の増加 153,664人(対前年度比29,091人増)</p> <p>◎ 九州大学連携交流事業 527 (平成25年度～平成30年度) (基金 527)</p> <p>【目的】 九州大学と市民との交流機会の増大を図り、相互理解を深める。</p> <p>【対象】 市民、九州大学学生・教職員</p> <p>【成果】 平成30年度は、12件の交流に補助金を交付したことで、市民と九大関係者(学生や教職員)との交流機会を創出することができた。</p> <p>◎ 組織対応型連携事業 5,800 (国 2,893)</p> <p>【目的】 九州大学と市が連携し、共同研究を行うことで、課題解決、地域活性化、効率的かつ効果的な行政経営、九州大学学術研究都市の構築につなげる。</p> <p>【対象】 九州大学研究者、市(行政)</p> <p>【成果】 平成30年度は、次の2件の共同研究を実施し、それぞれに成果を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「九州大学サイエンスパークー糸島市ー(仮称)」設置に関する研究。 ⇒九州大学隣接部に設置するためのサイエンスパークに必要な機能などの検討・考察と先進地視察を行い、本市独自のサイエンスパークを「糸島サイエンス・ヴィレッジ」とし、構想をまとめた。 ・持続可能な森林管理の実現に向けた里山資源の新たな活用方法に関する研究。 ⇒持続可能な森林管理を実現するためにスギ・ヒノキ以外での木材販売収入の確保や外部団体への森林の賃貸借による賃料収入の確保等、里山資源の新たな活用方法等をまとめた。

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
九州大学連携推進費	25,268	<p>◎ 九大生糸島生活”熱烈応援”事業 1,108 (平成29年度～平成30年度) (国 54) (基金 1,054)</p> <p>【目的】 九大生の糸島市内での生活を応援することで、市内定住を促す。その結果、九大生が糸島市を第2の故郷と身近に感じ、将来にわたって糸島市を応援してもらえる。</p> <p>【対象】 市内に居住する九州大学学生</p> <p>【成果】 ・自転車購入費補助 補助:100件 補助額:1,000,000円 ・平成30年度新入生応援フェア 開催日:平成31年2月22日～2月26日 開催場所:九州大学内食堂(ビックリーフ・ビックどら・ビッグさんど) 内容:定住促進ガイドブック・九大生補助制度チラシ、宅建業協会と連携した市内の物件情報、商工会と連携した物品販売情報などを配架。</p> <p>◎ 九大寺子屋事業 982 (基金 982)</p> <p>【目的】 九大生が普段行っている勉強や研究を児童に分かりやすく教え、交流することで、学習意欲の向上や学ぶことの面白さ、楽しさ、九州大学や学生への憧れを醸成する。</p> <p>【対象】 糸島市内の児童(小学校5年生)</p> <p>【成果】 市内小学校8校全14クラス(417人)に対して授業を展開し、児童からいろいろなことを学びたいといった声があった。授業は、31コマ実施(2クラスで2回実施した際「4」とカウント)。 協力九大生は28人。うち実働人数は15人程度。</p> <p>◎ 九州大学等連携研究事業 3,363 (基金 3,363)</p> <p>【目的】 九州大学及び中村学園大学・短期大学が持つ知的資源を最大限に活用し、本市の地域課題や行政課題の解決、地域資源の掘り起こしを目的とする。</p> <p>【対象】 市民、行政、九州大学及び中村学園大学・短期大学研究者</p> <p>【成果】 平成30年度は、4件の研究を実施した。これにより、地域課題の解決の方向性や具体的な手法の提案が得られた。</p>

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
市民協働まちづくり 推進事業費	32,067	<p>◎ 市民提案型まちづくり事業 1,953</p> <p>【目的】 NPOやボランティア団体の持つ専門性、迅速性を活かして地域の課題解決を図る。</p> <p>【対象】 営利活動、政治活動または宗教活動を目的とせず、市内に事務所を有し活動するもの</p> <p>【成果】 提案団体8団体中、6団体が本事業に採択され実施した。地域の防災リーダーを養成する講座を開催するなど、各団体が地域の課題解決を図った。</p> <p>◎ 校区まちづくり推進事業 15,226 (基金 15,226)</p> <p>【目的】 地域にある課題の解決や地域資源を活用したまちづくりを行うため、小学校区を単位とする地域コミュニティの振興を図る。</p> <p>【対象】 各校区で生活する糸島市民</p> <p>【成果】 15校区で校区まちづくり推進事業 53事業実施。夏祭りや文化祭、スポーツ大会が充実し盛大に開催された。また防災学習などを行い、地域で支え合う、助け合うことを再認識できた。</p> <p>◎ 市民まつり事業 9,000 (基金 2,000)</p> <p>【目的】 地域活性化、市の情報・魅力発信等を目的に、市民主体・協働で実施する。</p> <p>【対象】 市民まつりに関わる糸島市民</p> <p>【成果】 荒天のため中止となった。</p>
ふるさと応援 寄附推進事業費	257,344	<p>◎ ふるさと応援寄附推進事業 257,344</p> <p>【目的】 ふるさと応援寄附制度を利用して獲得した寄附金により、市民が望み、幸せを感じられる事業を実施する。市の産品等を返礼品として贈呈し、本市地元産品等の販売拡大及びPRを行うとともに、市内産業の活性化を図る。</p> <p>【対象】 糸島市を応援する全国の寄附者</p> <p>【成果】 寄附金額: 493,059,611円 充当事業・金額: 29事業・490,815,795円 返礼品代(市内事業者支払分): 132,541,801円</p>

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
<p>広域連携 プロジェクト事業費</p>	<p>4,926</p>	<p>◎ 広域連携プロジェクト事業 〈平成27年度～令和2年度〉</p> <p>4,926</p> <p>【目的】 歴史・文化、豊かな観光資源、農業を始めとした産業、九州大学との連携協定等の糸島市の強みを、福岡県と連携して事業を行うことで広く発信し、糸島市が持つ魅力を向上させる。</p> <p>【対象】 県内に設定された15の広域地域振興圏のひとつである糸島地域振興圏に住む市民</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来の糸島を創る「未来のいとしま学」チャレンジ教室 3中学校で3回実施 中学生延べ391人参加。 ・「いとしま学体験プログラム」の実施 プログラムを24回実施 市内外から延べ286人参加。 ・地域内親子向けイベント「さわれる「いとしま学」いとしまハテナ博」 糸島市内の企業・団体による展示・体験 1,200人来場。 ・生徒とともに学ぶ糸農講座の実施 体験プログラムを8回実施 市内外から延べ128人参加。 ・中村学園大学・短期大学部との連携 耕作放棄地再生プロジェクトとして11回活動。 糸島直売所ガイドブック「いとしまを食べる」の制作30,000部。
<p>移住・定住 促進事業費</p>	<p>104,059</p>	<p>◎ 定住促進情報発信事業 〈平成25年度～平成30年度〉</p> <p>1,644 (国 822) (基金 822)</p> <p>【目的】 定住関連施策等を効果的・積極的に本市の情報を発信することにより、移住地として選んでもらい、本市への移住・定住を促進する。</p> <p>【対象】 本市への移住・定住希望者(メインターゲット:福岡西部、首都圏の子育て世代)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅展示場でのPRイベント hit マリナ通り住宅展示場(福岡市西区):10月 市のブースを設置してガイドブック等の配布、福岡医療専門学校による出前講座の実施、来場者への糸島野菜のプレゼントなど、住宅取得検討者を対象に本市をPR。 ・定住促進ガイドブック等の作成 ガイドブックを印刷し、東京での移住相談、住宅展示場イベント、福岡マラソン等のイベントや、ハウスメーカー、市内産直施設、市内宿泊施設、ANAフェスタ等に配布。ガイドブックは、年2回時点修正している。平成30年度は、8,000部作成。 ・イベント情報の発信 移住セミナーやPRイベントにおいてWEB広告を実施するとともに、糸島産品をお土産としてプレゼントし、本市の魅力をPR。

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
移住・定住 促進事業費	104,059	<p>◎ 子育て世代応援サイト”いとネット”運営事業 3,006 (国 1,503)</p> <p>【目的】 子育て世代をメインターゲットとしたサービス提供及び定住情報の発信を行うことで、本市への定住を促進する。</p> <p>【対象】 18歳以下の子どもを育てている人 子育てに関心のある18歳以上の人</p> <p>【成果】 平成30年度末時点、会員数6,678人(うち糸島市民約4,400人、それ以外約2,300人)、協賛店269店舗(うち糸島市内約110店舗)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動実績 ウェブサイトの運営(協賛店情報の登録・更新、協賛店レポート・イベント情報の掲載)。 会員へのメールマガジン発行(毎月1日と15日の2回)。 子育て情報紙への広告掲載(2回)。 啓発チラシ等の作成・配布。 会員獲得イベントの実施(7月と3月の2回)。 会員及び協賛店のフォロー(問い合わせ対応、啓発品の送付等)。 <p>◎ 定住コーディネーター事業(共済費を除く) 5,649 (国 2,822) (基金 2,827)</p> <p>【目的】 転入希望者に対し、定住支援嘱託員や地域コーディネーターによる地域情報の提供等を行うとともに、転入後にフォローを行うことで人口減少地域の定住とコミュニティの維持を図る。</p> <p>【対象】 本市への転入希望者 メインターゲット:福岡西部、首都圏の子育て世代</p> <p>【成果】 定住コーディネーター事業による転入者の獲得、受け皿の確保。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談 98件 ・コーディネーター配置人数 10小学校区20人 ・地域コーディネーターへの案内 24件 ・転入相談者のうち、約17%が転入。 ・空き家の把握 約900件の戸建て空き家を把握。

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
移住・定住 促進事業費	104,059	<p>◎ マイホーム取得奨励金 89,818</p> <p>【目的】 人口を維持・増加させるには、人口の囲い込み競争(地域間競争)に競り勝つ必要がある。土地区画整理事業、九大移転と人口が大きく動く契機に、確実に人口を囲い込むため、住宅取得奨励金制度を期間を定めて実施する。</p> <p>【対象】 平成27年1月2日から平成31年3月31日までの間に新築又は売買により住宅を取得した人で、糸島市に定住する意思を持って対象住宅に居住し、糸島市の住民基本台帳に記録されている人</p> <p>【成果】 認定申請件数:610件、うち転入件数:350件、市内転居・建替:260件により、転入促進及び転出抑制が図られた。</p> <p>◎ UIJターン「職・住・余暇」相談会事業 1,506 (国 496) (基金 1,009)</p> <p>【目的】 本市をPRするとともに、移住の重要な検討事項である「仕事」のハードルを下げることで、首都圏在住者の転入を促進する。</p> <p>【対象】 首都圏在住のUIJターン希望者</p> <p>【成果】 ・糸島市単独移住セミナー 糸島では始める新しい暮らし 日程:9月22日(土)、場所:東京都中央区京橋 ・オープン糸島in大手町 日程:12月1日(土)、場所:東京都千代田区大手町 ・県主催セミナー スマイルライフフェア 日程:12月22日(土)、場所:福岡市中央区天神 ・糸島市単独移住セミナー 「あなた」と「しごと」をマッチング 日程:2月8日(土)、9日(日)場所:東京都千代田区有楽町 ・県主催セミナー 先輩移住者に学ぶ移住のポイント 日程:3月3日(日)、場所:東京都千代田区有楽町 平成30年度5回の来場者数:198組318人</p> <p>◎ ママライタースタートアップ事業 1,717 (国 858)</p> <p>【目的】 居住地に制約されない就業形態であるテレワークを推進するため、テレワークを活用して仕事を行うママライターの育成を行う。</p> <p>【対象】 糸島市内の子育て世代の女性</p> <p>【成果】 子育て世代の女性10人が、ライティング技術の習得、テレワーカーとして仕事を受注できた。</p>

主な事業(企画部 地域振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
コミュニティ 推進事業費	7,047	◎ 行政区等公民館・児童遊園地施設費等 補助金交付事業 4,647 【目的】 地域コミュニティ活動の推進及び生涯学習活動の振興。 【対象】 当該施設を設置し、管理する行政区等 【成果】 7団体4,647,000円を交付。行政区等公民館施設に対して必要な支援を行うことで、地域自治活動の活性化を促すことができた。

主な事業(企画部 秘書広報課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
いとしまブランド 推進事業費	10,425	<p>◎ いとしまブランド推進事業(広告掲載等事業) 5,875 (国 2,937)</p> <p>【目的】 糸島市の認知及びブランドイメージの向上を図るとともに、糸島市での新たな過ごし方等を提案することで、観光客、交流人口、定住者を増やすとともに、市内事業者の利益向上へ繋げる。</p> <p>【対象】 糸島市民、糸島市内事業者</p> <p>【成果】 テレビ放送:25本 全国誌掲載:延べ214頁分</p> <p>◎ いとしまシンボル普及事業 587</p> <p>【目的】 糸島市のイメージキャラクター及びイメージソングの普及による糸島市のPRと郷土愛の醸成。</p> <p>【対象】 糸島市民</p> <p>【成果】 いとゴンの派遣回数:86件 いとゴンのイラストの利用申請:112件 小中学校での活用率:100%</p> <p>◎ いとしまマーケティングモデル推進事業 (平成29年度～令和元年度) 1,906 (国 953)</p> <p>【目的】 市内事業者のマーケティング力の向上、製品のブランド化及び販路の開拓。</p> <p>【対象】 市内事業者</p> <p>【成果】 応募事業者:5社7件 新商品開発:1件、その他販路開拓1件 メディア取材・放送:8本(テレビ6本、ラジオ2本)</p> <p>◎ 地域イベント助成事業 1,000</p> <p>【目的】 市街地で糸島の山や森林のことを知ってもらうために開催されるイベント(THINNING(シニング))の活動を支援し、森林保全の大切さを市民全体の問題として共有するとともに中心市街地の活性化を図る。 地域活性化センター助成事業(100%充当)を活用。</p> <p>【対象】 糸島市民</p> <p>【成果】 来場者:1,500人 市民まつり参加者の中心市街地への回遊が見られ、まちの魅力伝えることもできた。</p>

主な事業(市民部 市民課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
戸籍住民基本台帳 関係費	109,266	<p>◎ 戸籍住民基本台帳管理事業 9,720 <small>(平成29年度～平成30年度)</small> <small>(国 9,720)</small></p> <p>【目的】 マイナンバーカード等の記載事項の充実を図り、社会における女性の活躍を推進する。</p> <p>【対象】 住民票などに旧姓の併記を希望する市民</p> <p>【成果】 住基システムの改修を完了し、住民票やマイナンバーカード等に旧姓併記が可能となった。</p> <p>◎ 戸籍システム更新事業 16,913</p> <p>【目的】 戸籍システムを更新することで、機器及び導入ソフトの老朽化による戸籍証明の作製及び発行停止等の業務トラブルを回避する。</p> <p>【対象】 糸島市に本籍(戸籍・除籍・改製原戸籍)がある人</p> <p>【成果】 戸籍システムの更新を全て完了した。</p>
住居表示整備事業費	5,184	<p>◎ 住居表示整備事業 4,623 <small>(平成29年度～令和6年度)</small></p> <p>【目的】 住居表示の実施により住所をわかりやすくすることで、緊急車両等がスムーズに目的地まで到達でき、また、郵便物の誤配達等を防ぐことで市民生活の利便性の向上を図る。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 平成30年度以降の住居表示実施区域の面積(20ha)及び実施率(3.8%)。</p>

主な事業(市民部 収税課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
徴収関係費	10,613	<p>◎ 地方税共通納税システム対応事業 5,400 〈平成30年度～令和元年度〉</p> <p>【目的】 地方税共通納税システムの利用により、納税者(事業所)が電子納税をできるようにする。</p> <p>【対象】 法人市民税・個人市民税(特別徴収分・退職所得分)</p> <p>【成果】 プログラムを導入し、地方税共通納税システムの開始へ向けての対応準備を行なった。</p>

主な事業(市民部 生活環境課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
ごみ焼却処理施設 管理運営費	688,723	<p>◎ エネルギー構造高度化・転換理解促進事業 3,348 (国 3,348) 〈平成29年度～令和元年度〉</p> <p>【目的】 地球温暖化防止やエネルギーの自給自足・地産地消を図るため、公共施設に太陽光発電設備を率先導入し、市民の再生可能エネルギー利用への理解を深め、家庭用太陽光発電設備の導入に繋げていく。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 クリーンセンターへの太陽光発電設備設置のための実施設計を行った。</p>
し尿処理施設 管理運営費	170,385	<p>◎ エネルギー構造高度化・転換理解促進事業 79,571 (国 75,430) (基金 3,382) 〈平成29年度～令和元年度〉</p> <p>【目的】 地球温暖化防止やエネルギーの自給自足・地産地消を図るため、公共施設に太陽光発電設備を率先導入し、市民の再生可能エネルギー利用への理解を深め、家庭用太陽光発電設備の導入に繋げていく。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 し尿処理センターに出力219kWの太陽光発電設備を設置した。 また、市役所生活環境課前に再生可能エネルギー啓発用の大型(65インチ)モニターを設置した。</p>
し尿処理センター 基幹的設備 改良事業費	453,600	<p>◎ し尿処理センター基幹的設備改良事業 453,600 (国 186,430) (市債 232,500) 〈平成29年度～平成30年度〉</p> <p>【目的】 し尿処理施設の延命化。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 20年間(令和20年度まで)の延命化。 平成30年度は、基幹的設備改良工事を実施した。</p>

主な事業(人権福祉部 福祉保護課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他生活保護費 総務費	68,646	◎ 収納管理システム等改修事業 1,169 【目的】 債権回収業務の効率化及び延滞金等の徴収徹底による財政の健全化。 【対象】 COKAS-R/AD2収納管理システム 【成果】 システム改修納品まで完了。

主な事業(人権福祉部 福祉支援課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
生活困窮者自立支援事業費	23,411	<p>◎ 生活困窮者就労準備支援事業 12,977 (平成29年度～令和元年度) (国 8,651) (基金 4,326)</p> <p>【目的】 一般就労に必要な基礎能力を形成するため、計画的・集中的な支援を行う。 また、従来の支援では一般就労につなげることが困難であった者に対しては、障がい者等への就労支援のノウハウを活用し、それぞれの対象者の有する課題や特性に応じた支援を行い、その人の状況に合わせた就労や福祉制度につなぐ。</p> <p>【対象】 ①生活リズムが崩れている、②社会との関わりに不安がある、③就労意欲が低いなどの理由で、就労に向けた準備が整っていない者</p> <p>【成果】 新規利用者:4人 一般就労した者:1人</p>
我が事・丸ごと地域づくり推進事業費	6,495	<p>◎ 我が事・丸ごと地域づくり推進事業 6,495 (平成29年度～令和元年度) (国 4,661)</p> <p>【目的】 本事業は、2つの事業で構成される(①地域力強化推進事業、②多機関の協働による包括的支援体制構築事業)。 ①の目的:地域共生社会の実現に向け、住民が主体的に地域課題を把握して解決する体制づくりを行うこと。 ②の目的:育児、障がい、貧困など複雑化・複合化した課題を包括的に受け止める市の総合的な支援体制づくりを行うこと。</p> <p>【対象】 ①地域課題の解決に取り組む市民 ②福祉において複合的な課題を有する市民</p> <p>【成果】 糸島市社会福祉協議会に事業委託を行っている。 ・地域ささえあい会議の設置 2校区(南風校区、雷山校区)に設置。 ・CSW(コミュニティソーシャルワーカー)のモデル配置。 相談件数46件、解決件数44件、連携件数18件。 ・地域の担い手(課題解決ボランティア)の養成。 福祉体験スクールを1回開催(加布里小学校)。 総合学習支援を1回開催(前原中学校)。 ・我が事・丸ごと研究大会の開催(参加者:150人)。</p>
その他社会福祉費 総務費	5,188	<p>◎ 収納管理システム等改修事業 905</p> <p>【目的】 負担の公平性の確保及び財政健全化を図る。</p> <p>【対象】 次の債権に係る滞納者(平成30年度末) ・自立支援給付費不正受給額返還金(1件 247,468円)※執行停止中 ・公費医療返還金(1件 22,691円) ・障害者更生援護施設入所者負担金(1件 204,600円)</p> <p>【成果】 公費医療返還金(1件 60,000円) 障害者更生援護施設入所者負担金(2件 49,700円)</p>

主な事業(人権福祉部 子ども課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
<p>児童健全育成 推進事業費</p>	<p>18,028</p>	<p>◎ 子育て短期支援事業 120 (平成29年度～令和元年度) (国 18) (県 18)</p> <p>【目的】 児童及び児童を養育する家庭の福祉の向上を図る。</p> <p>【対象】 市内に住所を有する児童</p> <p>【成果】 一時的に保護が必要な児童の養育等を確保でき、子育て支援の充実につながる。 短期入所生活援助(ショートステイ)事業:延べ12人 夜間養護等(トワイライト)事業:利用なし</p> <p>◎ ファミリー・サポート事業 5,643 (国 1,880) (県 1,880)</p> <p>【目的】 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第6条の3第14項に規定する子育て援助活動支援事業として、地域において育児の援助を行いたい者(以下「サポート会員」という。)と育児の支援を受けたい者(以下「おねがい会員」という。)を組織化し、会員同士が相互援助活動を行うことにより、子育てと仕事を両立できる環境を整備し、もって児童福祉の向上及び労働者の福祉の増進を図る。</p> <p>【対象】 糸島市内に在住または勤務している方で、おおむね生後3カ月から小学6年生までのお子さんがある方と、糸島市内在住で20歳以上の方(サポートのための講習会を受講した方)。どちらも会員の登録が必要。</p> <p>【成果】 平成30年4月事務局開設。 平成30年7月事務所開設。 平成30年10月相互援助活動開始。 平成31年3月末現在 おねがい会員112人、サポート会員45人、どっちも会員6人、計163人 相互援助活動数31件</p> <p>◎ 次世代育成支援対策行動計画等策定事業 1,662</p> <p>【目的】 子育て家庭の実態と子育てニーズ等を把握する。</p> <p>【対象】 市内の就学前児童及び就学児童の保護者</p> <p>【成果】 就学前児童及び就学児童をもつ保護者4,000人を対象に、アンケート調査を実施した。</p>

主な事業(人権福祉部 子ども課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他児童福祉 総務費	672	<p>◎ 収納管理システム等改修事業 672</p> <p>【目的】 延滞金、遅延損害金の額の計算、管理について、市として統一させ、延滞金等の徴収を徹底する。</p> <p>【対象】 児童手当、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療助成、子ども医療助成の各受給者のうち、返還金が生じた者</p> <p>【成果】 収納管理システムの改修を実施した。</p>
保育所関係費 (繰越明許費分)	126,000	<p>◎ 民間保育所施設整備事業 126,000 (国 112,000)</p> <p>【目的】 国の保育所等整備交付金を活用し、施設整備を実施する。</p> <p>【対象】 市内の私立保育所等</p> <p>【成果】 るんびに保育園の建替えを行い、定員が15人増加となった。</p>
子ども・子育て 支援事業費	3,053,892	<p>◎ 保育支援事業(共済費を除く) 4,200 (平成29年度～平成30年度) (国 841) (県 841)</p> <p>【目的】 保育士不足による待機児童の解消を図るため、市内の各保育所等と連携して保育士の就業支援や離職防止を図り、保育施設や事業の円滑な利用を目指すもの。</p> <p>【対象】 保育所等への就職を希望する市民及び保育士等を希望する私立保育所等</p> <p>【成果】 求職登録者 7人(有資格者6人、無資格者1人) 求人登録園12園 3人の就職につながった。</p> <p>◎ 地域型給付事業(小規模保育事業所分) 44,091 (平成30年度～令和2年度) (国 22,365) (県 9,966)</p> <p>【目的】 小規模保育事業を実施することにより、待機児童の解消を目指す。</p> <p>【対象】 小規模保育事業所 1園 (受益者: 保育を必要とする児童及びその保護者)</p> <p>【成果】 平成30年4月に小規模保育事業所「りんでんの家」が開設された。 平成31年3月末時点の入所児童数は、21人。</p>

主な事業(人権福祉部 子ども課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
子ども・子育て支援事業費	3,053,892	<p>◎ 保育所等事故防止推進事業 2,327 (国 1,086)</p> <p>【目的】 国の「子育て安心プラン」の6つ支援パッケージの1つである『保育の受け皿拡大と車の両輪の「保育の質の確保」』の一環として、安全かつ安心な保育環境の整備を進めるため、保育所等における事故防止対策を推進する。</p> <p>【対象】 市内の保育所等</p> <p>【成果】 補助金を交付した保育所等の数 7園 補助金を活用して事故防止用備品を購入し、事故発生リスクが低減され、事故防止につながった。</p>
放課後児童クラブ整備事業費	76,737	<p>◎ 放課後児童クラブ整備事業 36,297 〈平成29年度～平成30年度〉 (国 17,708) (県 4,427) (市債 11,700)</p> <p>【目的】 入所希望児童数の増加に伴い、東風第2児童クラブの施設整備を行うことで児童の健全育成に資する。</p> <p>【対象】 東風小学校児童で、放課後児童クラブに入所する児童及びその保護者</p> <p>【成果】 東風第2児童クラブの完成。施設の新築により児童の活動スペースを確保した。</p> <p>◎ 前原南小学校校舎等整備事業(児童クラブ分) 33,807 (国 17,708) (県 4,427) (市債 10,200)</p> <p>【目的】 児童数増加に対応した保育の充実。</p> <p>【対象】 前原南小学校の児童及び保護者(共働き世帯等)</p> <p>【成果】 前原南第3放課後児童クラブの完成。 新たに73人分(適正面積から計算)の児童の活動スペースを新設した。</p> <p>◎ 前原南小学校放課後児童クラブ整備事業 783</p> <p>【目的】 児童数増加に対応した保育の充実</p> <p>【対象】 前原南小学校の児童及び保護者(共働き世帯等)</p> <p>【成果】 前原南第3放課後児童クラブ新設に伴う必要な消耗品等を整備し、円滑な児童クラブ開始につながった。</p>

主な事業(人権福祉部 子ども課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
放課後児童クラブ 整備事業費 (繰越明許費分)	1,026	<p>◎ 放課後児童クラブ整備事業 〈平成29年度～平成30年度〉</p> <p style="text-align: right;">1,026 (市債 900)</p> <p>【目的】 入所希望児童数の増加に伴い、東風第2児童クラブの施設整備を行うことで児童の健全育成に資する。</p> <p>【対象】 東風小学校児童で、放課後児童クラブに入所する児童及びその保護者</p> <p>【成果】 施設新築のための設計を行った。</p>

主な事業(人権福祉部 人権・男女共同参画推進課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
男女共同参画社会 推進事業費	9,552	<p>◎ 女性が輝くミライ事業 1,159</p> <p>【目的】 男女共同参画社会の推進に必要なジェンダーの視点を啓発し、社会人として自立し「生きる力」を育成する。 また、講座を開催し、就職を希望する女性を支援する。</p> <p>【対象】 市民(小学生、中学生、就職を希望する女性)</p> <p>【成果】 中学生用の啓発冊子配布数:2,180冊 キャリア教育出前講座 開催数:16回 受講者数:1,725人 就職支援講座 開催数:24回 受講者数:269人</p>
人権センター 改修事業費	28,663	<p>◎ 人権センター改修事業 28,663 (市債 20,800)</p> <p>【目的】 指定避難所である人権センターに空調設備を整備することで、災害時における避難者の良好な生活環境を確保する。</p> <p>【対象】 全市民</p> <p>【成果】 工期 平成30年9月13日から平成31年1月10日まで 工程会議 全8回開催 設計監理委託料 2,203,200円 工事請負費 26,460,021円</p>

主な事業(健康増進部 健康づくり課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
特別会計関係費	1,123,867	<p>◎ 国民健康保険事業(健康づくり課) 3,579 (基金 3,579)</p> <p>【目的】 内臓脂肪型肥満(メタボリックシンドローム)に着目した生活習慣病予防対策の一環で、糖尿病・高血圧・脂質異常症(高脂血症)など生活習慣病の早期発見、予防を図る。</p> <p>【対象】 40～74歳の国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査を受診した課税世帯の人</p> <p>【成果】 40～74歳の国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査を受診した課税世帯の人3,579人</p>
健康増進事業費	72,528	<p>◎ 胃がんリスク検査事業 402 (平成30年度～令和2年度)</p> <p>【目的】 胃がんのリスクを断層化する検査を実施することで、将来の胃がん発症を予防し、胃がんによる死亡減少を図ることで、市民の健康寿命の延伸を図る。</p> <p>【対象】 年度末の年齢が40歳の人のみ</p> <p>【成果】 93人が検査を実施した。</p>
ヤングシニア生きいきプロジェクト事業費	5,389	<p>◎ 小学校区単位での健康づくり活動推進事業(ヤングシニア分) 2,894 (国 1,446)</p> <p>【目的】 地区担当保健師と地域住民が協働で健康づくりを実施する体制を進め、より身近な校区単位で市民が健康づくりを実践することができる環境をつくり、生活習慣病対策を強化することで市民の健康寿命の延伸を図る。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 区長会参加回数:年間66回、平均4.4回 校区公民館連携事業実施校区数:12校区/15校区中 地域組織連携事業実施校区数:9校区/15校区中 校区健康づくり事業実施回数、参加者数:71回、1,419人</p> <p>◎ 働く世代の健康づくり事業(ヤングシニア生きいき分) 2,095 (国 1,047)</p> <p>【目的】 中壮年期からの運動習慣の確立、生活習慣病予防の取り組みを展開することで、健康寿命の延伸及び介護予防を図ることを目的とする。</p> <p>【対象】 概ね40歳～60歳の市民</p> <p>【成果】 18クール開催、実参加者数215人</p>

主な事業(健康増進部 介護・高齢者支援課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
ヤングシニア生きいきプロジェクト事業費	21,394	<p>◎ プロモーション事業(ヤングシニア生きいき分) 2,000 (国 999)</p> <p>【目的】 ヤングシニア層(60~70歳代)の健康寿命の延伸。 ヤングシニアを主な対象としている活動の紹介及び普及。 連動した広報・宣伝活動により、生きがいづくり、健康づくりの気運を高める。</p> <p>【対象】 ヤングシニア層(60~70歳代)</p> <p>【成果】 平成31年1月ヤングシニア応援ブック(情報誌)発行 10,000部 平成31年2月ヤングシニア生きいき応援フェスタ実施 参加者数:251人 イベント参加者にアンケートを実施したところ、健康、生きがい活動を実践していこうと思った人が73%、既に実践している人が10%という結果となった。</p> <p>◎ 運動指導事業(ヤングシニア生きいき分) 6,201 (国 3,101)</p> <p>【目的】 ヤングシニア層(60~70歳代)の健康寿命の延伸。 個人で健康づくり、筋力維持をしたい人のための環境整備。 健康づくりの気運を高める。</p> <p>【対象】 ヤングシニア層(60~70歳代)</p> <p>【成果】 健康福祉センターにトレーニング機器の配置を継続。(あごら:エアロバイク5台、歩行運動機械器具3台、ふれあい:エアロバイク5台) 健康福祉センターあごら及びふれあいで、スタートアップ教室を開催。 ・教室開催数:あごら354回、ふれあい91回、合計445回 ・のべ参加者数:あごら4,746人、ふれあい1,659人、合計6,405人 ・実参加者数:あごら1,271人、ふれあい545人、合計1,816人</p>

主な事業(健康増進部 介護・高齢者支援課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
ヤングシニア生きいきプロジェクト事業費	21,394	<p>◎ 介護予防センター活性化事業(ヤングシニア生きいき分) 1,137 (国 569)</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防センターの活性化 喫茶室の有効活用、高齢者の閉じこもり防止。 ヤングシニア世代の生きがい・張り合いづくり。 高齢者の食生活改善のきっかけづくり。 ・ボランティア活動推進 ヤングシニアが健康づくりに係るボランティアとして活動できる場を増やす。 ボランティアが企画・実施する事業を多様化し、ヤングシニアが気軽に参加できる場を増やす。 <p>【対象】 ヤングシニア層(60～70歳代)</p> <p>【成果】 介護予防センターの喫茶室を活用した「いとゴン食堂」で4,106食を提供。(糸島市食生活改善推進会へ委託して実施。) 平成30年4月から平成31年3月までの間に体操とレクリエーション等を行う「スポレク広場」をボランティアスタッフが実施。(計48回開催、のべ522人の参加者。)</p> <p>◎ 健康支援プログラム研究開発事業(ヤングシニア生きいき分) 10,000 (国 5,000)</p> <p>【目的】 ヤングシニア層(60～70歳代)の健康寿命の延伸。 フレイル(高齢で筋力・活力が衰えた状態)やサルコペニア(筋肉減少症)に対するスクリーニング方法の開発。 スクリーニング及び予防の取り組みを継続的に実施できる方法を普及し、フレイル等の予防を図る。</p> <p>【対象】 ヤングシニア層(60～70歳代)</p> <p>【成果】 九州大学と連携し、平成29年度に実施したフレイル測定会参加者966人のうち、フレイル及びプレフレイルと判定された409人へフレイル予防運動教室を案内。 平成30年9月16日から実施したフレイル予防運動教室にはこのうち189人が参加。</p>

主な事業(健康増進部 介護・高齢者支援課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
ヤングシニア生きいきプロジェクト事業費	21,394	<p>◎ シニアクラブ元気化事業(ヤングシニア生きいき分) 2,056 (国 1,028)</p> <p>【目的】 シニアクラブの組織強化及び活動の活性化の取組を行う事務局職員を常駐化する。また、サークル活動を活性化し高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを推進する。</p> <p>【対象】 糸島市シニアクラブ連合会</p> <p>【成果】 糸島市シニアクラブ連合会加入クラブ数 107クラブ(増減なし) 会員数 5,934人(対前年度比 98人増) 新規サークル立上げ数 26サークル(合計148サークル) サークル活動参加者 3,017人(対前年度比 583人増)</p>
あごら管理運営費	58,363	<p>◎ エネルギー構造高度化・転換理解促進事業 3,780 (国 3,780)</p> <p>【目的】 公共施設に再生可能エネルギー発電設備等を設置することで、再生可能エネルギー導入による環境への負荷をかけたまちづくりを促進する。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 実施設計完了。</p>

主な事業(産業振興部 農業振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
農用地利用関係費	1,329	<p>◎ 農地中間管理機構集積協力金交付事業 630 (県 630)</p> <p>【目的】 農地の利用の効率化と農業の生産向上を図るため、担い手へ農地の集積と集約を図る。</p> <p>【対象】 農地中間管理機構を通じて農地の集積・集約化に協力した者</p> <p>【成果】 ・経営転換協力金 交付対象面積 361a 交付金額 630,000円 交付対象者 3戸 ・耕作者集積協力金 該当なし ・地域集積協力金 該当なし</p> <p>◎ 力強い水田農業確立事業 150 (県 150)</p> <p>【目的】 農地の利用の効率化と農業の生産向上を図るため、担い手へ農地の集積と集約を図る。</p> <p>【対象】 農地中間管理機構を通じて農地の集積・集約化に協力した者</p> <p>【成果】 交付対象面積 364a 交付金額 149,500円 交付対象 7戸</p>
地域農政推進事業費	42,356	<p>◎ 中山間地域等直接支払事業 36,961 (県 25,699)</p> <p>【目的】 中山間地域の多面的な機能を維持するために、集落で取組む農業生産活動に対する直接的な支援。</p> <p>直接支払交付金 ・通常地域(特定農山村法の指定)…国1/2、県1/4、市1/4 ・特認地域(県が特に認めた地域)…国1/3、県1/3、市1/3</p> <p>【対象】 農業者団体(集落組織)</p> <p>【成果】 耕作放棄地増大の抑制 ・取組集落:18集落(協定参加者 379人) ・交付対象面積:214.8ha ・交付額:36,960,759円</p>

主な事業(産業振興部 農業振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
地域農政推進事業費	42,356	<p>◎ 福吉地域元気づくり事業 3,511 (基金 3,456)</p> <p>【目的】 地域の所得・産業・人口の増加。 6次産業化や営農効率化・確保、定住促進、観光交流の推進。</p> <p>【対象】 福ふくの里を拠点とした福吉地域(福吉地域づくり推進協議会)</p> <p>【成果】 協力隊員による地域紹介パンフレット(福吉マップ)作成。 地域内新聞の作成(年3回)。 福吉と他地域をつなぐ料理教室開催(年4回)。</p>
担い手育成 対策事業費	23,597	<p>◎ 担い手農家支援事業 23,391</p> <p>【目的】 小規模農家、高齢農家等を含む農業者の生産コスト削減の支援や農業に係る課題解決の調査研究等の支援を行うことにより、所得の向上、規模拡大、営農継続につなげ、糸島農業の担い手の確保と耕作放棄地の発生防止を図る。</p> <p>【対象】 農産物を販売し(予定含む)、所得向上等を目標とする農業者・団体</p> <p>【成果】 交付件数64件、事業費74,419,882円、補助金23,391,000円</p>
環境保全型農業 直接支援対策事業費	3,645	<p>◎ 環境保全型農業直接支援対策事業 3,645 (県 2,734)</p> <p>【目的】 温暖化防止及び生物の生育環境の保全の促進及び化学肥料・農薬の低減により、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮。</p> <p>【対象】 農業者団体(国際水準GAPを実施する農家で構成された有機農業の取組みを行うグループ)</p> <p>【成果】 4団体(23人)55.09haの取組み</p>
新規就農総合 支援事業費	47,762	<p>◎ 農業次世代人材投資事業 47,762 (県 47,762)</p> <p>【目的】 新規就農者の経営が不安定な就農直後(5年間)について、資金面での生活基盤を確保する。</p> <p>【対象】 独立自営就農を目指す45歳未満の者</p> <p>【成果】 36経営体に対し、47,762,340円を交付。</p>

主な事業(産業振興部 農業振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他農業振興費	1,449	<p>◎ 直売所活性化事業 868</p> <p>【目的】 直売所施設の充実やイベント等の開催を支援することで、糸島産農林水産物の魅力を発信する場である直売所の活性化を推進する。</p> <p>【対象】 市内の複数の農林水産業者が出荷した糸島産の農林水産物及びその加工品を中心に組織的に共同で販売する有人の施設で、年間を通じて開設しているもの(直売所)</p> <p>【成果】 5件:838,000円</p>
高収益型園芸農業関係費	48,837	<p>◎ 活力ある高収益型園芸産地育成事業 48,837 (県48,837)</p> <p>【目的】 園芸農業の生産額を増大し、持続的発展を図る。また、省エネルギー化推進、雇成型経営支援、6次産業化推進による規模拡大及び経営の安定を図る。</p> <p>【対象】 農業協同組合、認定農業者、営農集団等</p> <p>【成果】 10件(受益22戸14.34ha)に48,837,000円(県費)を補助。(総事業費:109,270,647円)</p>
その他園芸振興費	495	<p>◎ 極旨ブドウ栽培支援事業 383 (基金383)</p> <p>【目的】 九州大学が研究・開発したブドウの新品種「BKシードレス」栽培と産地化の推進による、本市農産物のブランド力向上と生産者の所得向上。</p> <p>【対象】 農業者の団体</p> <p>【成果】 事業費459,340円に対し、382,783円を補助。</p>
生産振興対策関係費	1,620	<p>◎ 博多和牛ブランド強化対策事業 936 (県936)</p> <p>【目的】 「博多和牛」の出荷頭数を拡大し、県産ブランド牛肉としての地位を確立する。</p> <p>【対象】 農業協同組合(受益者:博多和牛生産登録者)</p> <p>【成果】 1経営体に補助 補助対象頭数 18頭 事業費 17,107,856円 補助金額 936,000円</p>

主な事業(産業振興部 農業振興課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
普通作振興費	19,201	<p>◎ 水田農業担い手機械導入支援事業 19,073 (県 12,712)</p> <p>【目的】 米・麦・大豆づくりと併せ、生産コスト低減に取り組む担い手農家を育成するとともに、地域農業の担い手としての経営の安定を図る。</p> <p>【対象】 集落営農組織、認定農業者等</p> <p>【成果】 新規事業実施主体数:5件(トラクター3台、コンバイン1台、田植機2台ほか) うち生産コスト低減実施主体数:5件</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
鳥獣被害防止 対策事業費	14,800	<p>◎ 鳥獣被害防止総合対策事業 8,091 (県 8,091)</p> <p>【目的】 市内で発生する有害鳥獣による農作物被害を侵入防止柵(電気柵、金網柵)の整備により減少させる。</p> <p>【対象】 鳥獣被害が発生する地域の農業者、住民の方</p> <p>【成果】 金網柵設置延長 13.2km 電気柵設置延長 10.9km</p> <p>◎ 鳥獣被害防止対策事業 3,772</p> <p>【目的】 市内で発生する有害鳥獣による生活環境被害、農作物被害を減少させる。</p> <p>【対象】 鳥獣被害が発生する地域の農業者、住民の方</p> <p>【成果】 ・イノシシ等捕獲報奨金事業 報償金交付額 2,954千円 捕獲数:イノシシ1,370頭(幼獣4%)、アナグマ86頭、アライグマ21頭 ・サル生息調査捕獲業務委託 委託料 818千円 捕獲数:サル21頭 調査日数 315日</p>
農業施設整備事業費	138,492	<p>◎ 農業施設整備事業(農村環境整備事業) 10,617 (県 3,872)</p> <p>【目的】 農村生活環境の改善のため、ため池及び農業用排水路等の農業用施設の整備改善を行う。</p> <p>【対象】 農業者(農業用施設利用受益者)</p> <p>【成果】 整備実施箇所3箇所(井堰改良工事2箇所、水路改工事1箇所)</p> <p>◎ 農業施設整備市単独事業 15,812</p> <p>【目的】 農業生産者の高齢化や、近年の集中豪雨に対し、安全に作業ができるように、水路及び板堰等の改良を行う。</p> <p>【対象】 農業者(農業用施設利用受益者)</p> <p>【成果】 整備実施箇所17箇所</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
農業施設整備事業費	138,492	<p>◎ ため池防災対策事業 1,231</p> <p>【目的】 ため池施設の老朽化や近年の集中豪雨に対し、安全に施設が利用できるように改修工事を実施する。</p> <p>【対象】 農業者(ため池利用受益者)及びため池周辺住民の方</p> <p>【成果】 ため池整備実施箇所 1箇所</p> <p>◎ ため池耐震調査事業 110,750 (平成29年度～令和元年度) (県 110,749)</p> <p>【目的】 近年の豪雨や大規模地震等により多くのため池が被災し、大きな被害が生じていることを踏まえ、大規模地震に備えた調査が必要である。</p> <p>【対象】 市内にある農業ため池のうち、平成25、26年度に県営ため池一斉点検を実施した。点検結果より、詳細な調査が必要な溜池、整備時期不明、民家等へ影響があるため池などの30箇所が対象。</p> <p>【成果】 耐震調査17箇所実施。</p>
土地改良事業関係費	52,233	<p>◎ 市営土地改良事業 1,206</p> <p>【目的】 耐用年数を経過した大型農業用施設の更新には工事費がかかるため、補助事業を活用し整備を実施する。</p> <p>【対象】 農業者(農業用施設利用者)</p> <p>【成果】 適正化事業 3地区(負担金支出)</p> <p>◎ 県営土地改良事業(ほ場整備) 9,712 (市債 6,700)</p> <p>【目的】 将来の農業を担う経営体(担い手等)を育成するため、農業生産基盤の整備を一体的に行い、高生産農業の多面的機能を十分に発揮させ、食料自給率の向上及び農業経営の安定を図る。</p> <p>【対象】 地区内の土地所有者及び耕作者</p> <p>【成果】 土地改良法手続き(同意書徴収)、実施計画を実施。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
<p>県営農地防災事業費</p>	<p>10,780</p>	<p>◎ 県営農地防災事業(県営事業) 10,780 (市債 2,300)</p> <p>【目的】 井堰施設や溜池の整備により、農用地、農業用施設の災害の発生を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。</p> <p>【対象】 農業用施設管理者、及び受益者</p> <p>【成果】 井堰は調査設計業務、溜池は事業申請、土地改良法手続き(同意徴収)を実施。</p>
<p>農業基盤整備促進事業費</p>	<p>19,224</p>	<p>◎ 農地耕作条件改善事業 19,224 (県 13,890)</p> <p>【目的】 生産効率を高め競争力のある「攻めの農業」を実現するために、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備を行い、担い手への農地集積を加速化させる。</p> <p>【対象】 農業者</p> <p>【成果】 平成30年度に暗渠排水整備10.62haを実施。</p>
<p>農業水利施設等整備事業費</p>	<p>50,794</p>	<p>◎ 県営用排水施設整備事業 50,794 (市債 33,000)</p> <p>【目的】 県営土地改良事業により築造された施設(排水機場、井堰、基幹水路等)の有効利用(延命化)を図る。農業用水利施設の整備を推進し、水利用の効率化、省力化、安全性向上を図る。</p> <p>【対象】 農業者(施設受益地の所有者及び耕作者)</p> <p>【成果】 岩本、深江、荻浦排水機場 事業費198,150千円、負担額49,538千円</p>
<p>多面的機能支払交付金事業費</p>	<p>147,316</p>	<p>◎ 多面的機能支払交付金事業 146,019 (県 109,514)</p> <p>【目的】 近年の農業は、農村の高齢化や混住化が進行し、農地や農業用水等の資源をこれまでどおり適切に保全管理していくことが困難になってきている。そのため、地域住民が一体となって農地や農業用水等の資源を環境や景観に配慮しながら保全管理していく。</p> <p>【対象】 農地及び農業用水等の施設を管理する組織</p> <p>【成果】 現在、78団体が取り組んでいる。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
水源保全基金 運営事業費	1,755	<p>◎ 水源保全基金運営事業 1,755 (基金 1,755)</p> <p>【目的】 糸島市の水源の保全及び森林の公益的機能である水源かん養機能の向上を目的として、水源地の森林整備や山の大切さを市民に理解していただくための啓発事業などを実施する。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 瑞梅寺ダム流域の水源地の森林整備を実施。 ・森林整備(竹転や下草刈りなど) 5.76ha 水や森林の大切さについて、広く市民に理解を求めため、植樹祭を実施。</p>
広域基幹林道 開設事業費	12,390	<p>◎ 広域基幹林道開設事業(地方創生道整備交付金) 8,712 (県 70) (市債 7,300)</p> <p>【目的】 森林の保全及び林業施業の省力化を図るため、広域基幹林道を軸とした林道のネットワーク化を推進する。</p> <p>【対象】 林業従事者</p> <p>【成果】 県営林道開設事業による第3雷山浮嶽線の開設工事、完成した林道用地の測量・購入、林道工事に係る立木補償などを実施した。</p> <p>◎ 広域基幹林道開設事業(地域活性化事業) 3,285 (県 281) (市債 2,600)</p> <p>【目的】 森林の保全及び林業施業の省力化を図るため、広域基幹林道を軸とした林道のネットワーク化を推進する。</p> <p>【対象】 林業従事者</p> <p>【成果】 県営林道開設事業による第3雷山浮嶽線の開設工事、完成した林道用地の測量・購入、林道工事に係る立木補償などを実施した。</p>
林道新設改良事業費	21,111	<p>◎ 林業専用道整備事業 21,111 (県 10,410) (市債 9,300)</p> <p>【目的】 間伐材の有効利用による森林保全を実行するため、木材輸送機能を強化する林業専用道を整備し、効率的な木材の搬出を促進し林業生産性の向上を図る。</p> <p>【対象】 森林整備施業者</p> <p>【成果】 林業専用道の実施設計及び作設工事を実施した。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
森林病虫害防除事業	8,424	<p>◎ 松林保全アダプト事業 2,690 (基金 2,689)</p> <p>【目的】 市有林及び国有林の松林を対象に、アダプト制度を活用して草刈・清掃を行い、市民協働で松林の保全活動を促進し白砂青松を再生する。</p> <p>【対象】 市民や地元団体、企業団体など</p> <p>【成果】 松林アダプト制度に14団体が登録され、松林の清掃・美化活動が実施された。</p>
森林再生プロジェクト事業費	16,805	<p>◎ 森林再生プロジェクト事業 10,525 (基金 10,525)</p> <p>【目的】 主伐や間伐による木材の搬出・集荷・供給のしくみの構築及び植林・育林・除伐・間伐・主伐の森林施業サイクルの復活により、働く場の確保と林業従事者の所得向上を図り、林業振興と森林保全に寄与する。</p> <p>【対象】 山林所有者、林業従事者</p> <p>【成果】 貯木場「伊都山燦」の運営や森林経営計画による森林整備等の事業を実施し、貯木場「伊都山燦」の木材取扱量が増加した。</p> <p>◎ 林業成長産業化地域創出モデル事業 6,250 (平成30年度～令和4年度) (県 6,250)</p> <p>【目的】 市内及び周辺で森林資源の循環利用を実現するために木材のサプライチェーンを構築すると共に、ICTを活用した木材サプライチェーンマネジメントシステムにより定着化を進め、林業の成長産業化による地域の活性化を図る。</p> <p>【対象】 森林所有者、林業従事者</p> <p>【成果】 糸島山づくり協議会を4回(先進地研修会を含む)を開催した。 糸島市伐採・搬出・再造林ガイドラインを作成した。 糸島産材使用住宅が5棟(人工乾燥型4棟・天然乾燥型1棟)が建築された。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他林業振興費	5,915	<p>◎ 竹林整備促進事業 89 (基金 89)</p> <p>【目的】 竹を法面保護材等として活用することにより、竹林の整備を促進する。</p> <p>【対象】 市内の竹林整備を実施する市民</p> <p>【成果】 竹粉生産事業者が買い取る竹の価格に、商品券の上乗せ交付を実施された。 地域住民や団体などにより竹(約34トン)が搬入され、竹林整備が実施された。</p>
森林整備事業費	50,830	<p>◎ 森林整備事業 1,005 (基金 1,005)</p> <p>【目的】 間伐等による森林整備を行うことにより、森林環境の向上を図り、水源涵養機能等の多面的機能も高める。</p> <p>【対象】 森林所有者</p> <p>【成果】 間伐面積 15.62ha</p> <p>◎ 荒廃森林再生事業 31,943 (基金 31,943)</p> <p>【目的】 荒廃した森林を再生し、環境の優れた森として保全する。</p> <p>【対象】 市民及び森林所有者</p> <p>【成果】 森林整備60.21ha、荒廃森林調査315.00haを実施した。</p> <p>◎ 森林・山村多面的機能発揮対策事業 1,357 (基金 1,357)</p> <p>【目的】 林業の不振、山村地域の過疎化・高齢化により森林の手入れを行う地域住民が減少し、適切な森林整備等が行われていない箇所が見受けられるため、地域住民等による森林の保全管理活動等の取組を支援する。</p> <p>【対象】 森林・山村多面的機能発揮対策事業に取り組む市民</p> <p>【成果】 里山林景観を維持するための活動や侵入竹の伐採・除去などの活動に、13団体の活動組織が森林の保全活動に取り組んだ。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
森林整備事業費	50,830	<p>◎ 間伐実施体制構築事業 14,944 (県 14,944)</p> <p>【目的】 荒廃した森林を再生し、優れた森として保全し、森林での間伐を繰り返す体制を構築する。</p> <p>【対象】 林業研究グループ及び地域協議会</p> <p>【成果】 自伐用機材の導入2台、土場の整備 1, 897㎡</p>
水産多面的機能発揮対策事業費	1,042	<p>◎ 水産多面的機能発揮対策事業 1,040 (県 200)</p> <p>【目的】 水産業及び漁村は、市民に安全で新鮮な水産物を安定的に提供する役割に加え、水域の監視・海難救助による市民の生命・財産の保全等、市民に対して種々の多面的機能を提供する役割を担ってきた。 しかし、高齢化と漁村人口の減少等により、その役割に支障が生じているため、多面的機能が将来にわたって発揮するための活動を推進する。</p> <p>【対象】 糸島磯根漁場保全協議会</p> <p>【成果】 水域の監視(監視活動)、藻場の保全(モニタリング、食害生物の除去、海藻の種苗投入、多面的機能の理解・増進を図る取組)活動を支援。</p>
その他水産振興事業費	15,504	<p>◎ 福岡県水産振興対策事業 2,500</p> <p>【目的】 作業の効率化、安全性の確保などによる漁労環境の改善とコストの削減による所得の向上を図り、漁業を魅力ある職業への転換を進めるため共同利用施設を整備する。</p> <p>【対象】 糸島漁業協同組合</p> <p>【成果】 カキ殻保管施設(岐志漁港)の新設に対し補助。</p> <p>◎ 水産物ブランド化推進事業 6,811 (基金 6,607)</p> <p>【目的】 PR活動や販路拡大をはじめとする販売戦略の構築や魚しよく普及活動を実施することで、糸島産水産物の消費拡大と漁家所得の向上を図る。</p> <p>【対象】 漁業者及び市民</p> <p>【成果】 販路拡大や新商品開発、魚しよく普及、水産業の魅力発掘や収集とインターネットなどでの情報発信、各種イベントでのPR活動等。</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他水産振興事業費	15,504	<p>◎ 水産業振興補助事業 3,000</p> <p>【目的】 所得率の高い水産資源の確保により、後継者育成を図るとともに豊かな食の維持につなげる。</p> <p>【対象】 糸島漁業協同組合</p> <p>【成果】 クルマエビ50万尾、ガザミ25万尾、ヨシエビ25万尾、クロアビ10万7千個、赤ウニ5万個の放流に対し補助。</p> <p>◎ 水産業振興対策事業 1,285 (県 1,285)</p> <p>【目的】 常設のカキ小屋を整備することで、休漁が増加する冬場に安定した収入を確保し、衛生面が改善されることで事故を未然に防ぐ効果もあり、観光客の増加と漁業者の所得向上、雇用の創出につなげる。</p> <p>【対象】 糸島漁協組合員</p> <p>【成果】 岐志漁港 海業支援施設(カキ小屋)整備に係る実施設計</p>
野北漁港整備事業費	10,212	<p>◎ 漁港機能増進事業(野北漁港) 10,212 (国 5,106) (市債 4,300)</p> <p>【目的】 照明設備の機能向上と長寿命を図ることで、漁労環境の改善、漁港内の安全確保と漁港維持管理費を削減する。</p> <p>【対象】 漁業者</p> <p>【成果】 野北漁港 照明設備 23基更新</p>
福吉漁港整備事業費	10,984	<p>◎ 漁港機能増進事業(福吉漁港) 10,984 (国 5,491) (市債 4,600)</p> <p>【目的】 照明設備の機能向上と長寿命を図ることで、漁労環境の改善、漁港内の安全確保と漁港維持管理費を削減する。</p> <p>【対象】 漁業者</p> <p>【成果】 福吉漁港 照明設備 23基更新 6基新設</p>
芥屋漁港整備事業費	997	<p>◎ 水産基盤整備事業(芥屋漁港) 997</p> <p>【目的】 漁港に入港する船舶の安全航行を確保する。</p> <p>【対象】 漁業者</p> <p>【成果】 芥屋漁港 簡易標識灯 1基新設</p>

主な事業(産業振興部 農林水産課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
姫島漁港整備事業費	4,644	<p>◎ 漁村再生交付金事業(姫島漁港) 4,644 (国 2,760) (県 644) (市債 1,000)</p> <p>【目的】 漁船の大型化による休憩岸壁不足及び荒天時の波浪侵入の解消により漁船の安全を確保する。</p> <p>【対象】 漁業者</p> <p>【成果】 姫島漁港 岸壁延伸 測量・設計完了 工事施工は翌年度繰越(繰越明許)。</p>

主な事業(産業振興部 商工観光課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
雇用創出事業費	3,408	<p>◎ 雇用機会創出・企業情報発信事業 3,064 (平成28年度～平成30年度) (国 1,530)</p> <p>【目的】 企業情報や求人情報の発信の他、企業と求職者とのマッチング機会の創出により、市内就業者数の増加を目指す。</p> <p>【対象】 市民及び市内企業</p> <p>【成果】 WEBサイト掲載件数(平成30年度末現在)企業数108件、求人数134件 経営者セミナー参加者:26人(24社) 社員育成セミナー参加者:68人(20社) 就職面談会:参加企業21社、就職希望者90人(うち就職者数12人) 高校生を対象とした『仕事の紹介』講演会:2校で実施</p>
商工会補助事業費	20,505	<p>◎ 新規起業家応援事業 4,321 (国 1,051)</p> <p>【目的】 起業セミナー(創業塾)や専門家相談会の開催、創業関連資金融資の利子補給や、空き物件のリフォームに対する経費の一部を補助することで、新規起業家の増加につなげ、新たな企業活力を呼び込むことができる。</p> <p>【対象】 開業を希望する市民及び開業したばかりの事業者</p> <p>【成果】 新規起業家数:44件 創業塾の開催(年2回)36人参加 ワンストップ窓口設置による創業・経営支援 ①専門家相談会の定期的な開催 6人 ②経営指導員による創業相談件数 113人 創業関連資金融資利子補給:17件(680千円交付) 店舗改修サポート(業者紹介・改修費補助)12件(3,164千円交付)</p> <p>◎ 利子補給助成事業 2,055</p> <p>【目的】 小規模事業者経営改善資金融資による経営改善を支援することで経営の強化・安定を図る。</p> <p>【対象】 小規模事業者</p> <p>【成果】 融資決定件数:58件 利子補給件数:52件(2,033千円交付)</p>

主な事業(産業振興部 商工観光課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
企業誘致事業費	18,231	<p>◎ コンタクトセンター整備事業 12,035 (県 3,479)</p> <p>【目的】 企業の立地による雇用機会の拡大及び地域経済の発展に寄与するとともに、公的遊休施設の有効活用による貸付収入財源を新たに確保することができる。</p> <p>【対象】 コンタクトセンター業として進出を希望する企業</p> <p>【成果】 コンタクトセンターの整備 ・サポートブース等のOAフロア化、LAN配線工事 ・セキュリティ対策(ネットワークカメラ、非接触カードリーダー、窓面格子取付等) ・クロス張替、会議スペースのタイルカーペット敷設 ・その他、コンタクトセンター整備に付随する工事 雇用者数(平成31年2月末現在)43人 うち女性40人、市内28人 雇用形態 正社員3人、準社員・パート40人</p>
その他商工振興費	9,240	<p>◎ 経営革新事業者補助事業 7,897 (国 2,247)</p> <p>【目的】 経営革新意欲(やる気)のある商工業者が積極的に経営革新に取り組む事業に補助することで、経営の強化・安定を図る。また、補助対象事業者の相手商工業者を市内商工業者に誘導することで、補助額以上の経済効果を期待する。</p> <p>【対象】 市内事業者</p> <p>【成果】 対象事業 ①経営革新計画に従って行われる経営革新のための事業 ②上記に準じる事業であると市長が認める事業 補助事業件数:33件(①:18件、②:15件) 経営革新承認件数:31件</p> <p>◎ 農商工連携事業 307 (平成26年度～平成30年度) (国 154)</p> <p>【目的】 市内の商工業者が、市内の農林漁業者と連携し、新商品等の開発、生産又は需要の開拓を行う事業に対して、その経費の一部を助成し、地域経済の活性化を図るもの。</p> <p>【対象】 市内中小企業者</p> <p>【成果】 1品目開発</p>

主な事業(産業振興部 商工観光課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
その他商工振興費	9,240	<p>◎ 食品産業クラスター事業 967 (平成28年度～平成30年度) (国 484)</p> <p>【目的】 糸島市内の農林水産物を活用する企業、農林水産業の組織化、産業化することにより雇用の創出、所得の向上、地域経済の活性化を目的とする。</p> <p>【対象】 市内で食品を製造・加工する事業者 市内で農林水産業を営む生産者 市内に事業所を有し、食品を流通・販売する事業者 など</p> <p>【成果】 会員交流会:2回実施 スキルアップ講習会(食品表示):2回実施 商品パッケージ・デザインセミナー:1回実施 新商品開発支援:2件 催事出品支援事業助成:7件 糸島市食品クラスター協議会PR活動:2回実施 加入:39事業者</p>
観光のまちづくり 事業費	23,109	<p>◎ おもてなし観光推進事業 53 (平成29年度～平成30年度)</p> <p>【目的】 多様化する観光客のニーズに応えるため、観光客に対するおもてなしができる観光ボランティアガイド人材を発掘・育成する。</p> <p>【対象】 観光ボランティアガイドの実施に関心のある市民</p> <p>【成果】 福岡県観光ボランティアガイド連絡協議会が主催する「平成30年度福岡県観光ボランティアガイド研修会」へ、本市観光ボランティアガイド19人が参加した。</p> <p>◎ 観光大使事業 1,729 (平成26年度～令和3年度)</p> <p>【目的】 糸島観光大使については、市の観光・産業等の情報を国内外に広く発信し、市の観光振興を図ることを目的とする。 いとしま国際観光大使については、市の歴史・文化・風土・観光地その他の魅力を海外に発信し、市の観光振興を図ることを目的とする。</p> <p>【対象】 市長が委嘱する糸島観光大使及びいとしま国際観光大使</p> <p>【成果】 ・糸島観光大使 5人と1団体に委嘱し、計493回PRのための情報発信を実施。 ・いとしま国際観光大使 10か国25人に委嘱し、体験プログラムを計4回開催して延べ61人が参加。 SNS等での情報発信回数は、延べ153回実施。</p>

主な事業(産業振興部 商工観光課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
観光のまちづくり 事業費	23,109	<p>◎ DMO設立支援事業 11,988 (平成29年度～平成30年度) (国 5,994)</p> <p>【目的】 (一社)糸島市観光協会を核とした糸島市版DMOの設立支援を行うとともに、DMOの運営財源となる収益事業を確立し、関係者等のしごとづくりや所得向上を目指す。</p> <p>【対象】 (一社)糸島市観光協会を中心とした市内観光事業者、観光ボランティア団体等市民</p> <p>【成果】 平成31年3月29日付けで、観光庁への「地域DMO候補法人」の登録が完了した。 モニター事業として、レンタサイクル事業の拡充、スイーツ&カフェチケットの販売などを行った。</p> <p>◎ 地域おこし協力隊(観光)事業 625 (平成30年度～令和2年度)</p> <p>【目的】 市や地域住民、(一社)糸島市観光協会、観光関係事業所、関係団体等と連携しながら、国内外の観光客増加につながる活動やDMO事業の運営支援などを通じて、市内観光業の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>【対象】 糸島市を訪れる観光客、市内観光事業所</p> <p>【成果】 平成31年3月1日に1人着任。</p> <p>◎ 外国語観光パンフレットリニューアル事業 2,041 (国 1,020)</p> <p>【目的】 外国人観光客に対し、糸島市の認知度を高めるとともに、本市来訪時の周遊を促すことで、市内観光消費額を増加させる。</p> <p>【対象】 本市来訪を検討している外国人観光客</p> <p>【成果】 既存の「EXPLORE ITOSHIMA」を16頁から24頁へ8頁増やし、52,000部印刷した。 増頁の作成に当たり、九州大学留学生に対し、店舗の取材や原稿の作成を要請。外国人観光客と同じ視点で本市の観光の魅力を伝えることができる内容とした。 福岡空港、博多港、JR博多駅、福岡市内観光案内所、福岡市内レンタカー会社等に配架した。</p>

主な事業(産業振興部 商工観光課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
白糸の滝ふれあいの里 改修事業費	1,998	<p>◎ 庁舎等照明機器改修事業 1,998 (市債 1,700)</p> <p>【目的】 省エネルギー、節電、二酸化炭素排出量の削減等の環境保全方策を市が率先垂範して実施するため。</p> <p>【対象】 白糸の滝ふれあいの里内施設の照明器具</p> <p>【成果】 照明機器計40台のLED化完了(すべてグリーン購入法適合製品を導入)。</p>

主な事業(産業振興部 農業委員会事務局)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
耕作放棄地 対策事業費	3,484	<p>◎ 耕作放棄地対策事業 2,608 (県 1,098)</p> <p>【目的】 農地の有効利用を図るため、耕作放棄地の再生利用の取組を支援する。</p> <p>【対象】 農業者</p> <p>【成果】 補助金交付件数 16件 耕作放棄地の再生件数 10件 耕作放棄地の再生面積 4.5ヘクタール 補助金額 2,590,000円</p>

主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
土木総務費	7,222	<p>◎ 収納管理システム等改修事業 916</p> <p>【目的】 収納管理システムの導入。 【対象】 道路、河川、法定外公共物(道路)の占用料、屋外広告物手数料を滞納した者 【成果】 収納管理システムの導入を完了した。</p>
市単独道路整備事業費	28,373	<p>◎ 市単独道路整備事業(維持補修) 28,373</p> <p>【目的】 歩行者及び車両等が安全及び快適に通行できるように実施する。各行政区からの改修要望が多いことから、緊急性・必要性の高いところから実施している。 【対象】 道路利用者 【成果】 道路の維持補修に伴う側溝、舗装等の改修を52路線実施した。</p>
市単独道路整備事業費	39,366	<p>◎ 市単独道路整備事業(新設改良) 39,366</p> <p>【目的】 歩行者及び車両等が安全及び快適に通行できるように実施する。 【対象】 道路利用者 【成果】 道路の改良に伴う側溝、舗装等の新設改良を17路線実施した。</p>
道路整備事業費	197,531	<p>◎ 新田久保田線整備事業 45,267 〈平成26年度～令和元年度〉 (国 22,551) (市債 22,200)</p> <p>【目的】 県施工の街路事業(下新開線及び北新地新田線)の整備に合わせ、中央ルートと西回りルートを結ぶ重要な幹線道路として、また202号の交通混雑の解消を行うため、利便性及び交通安全の向上を図る。 工事長L=936m 幅員11.5m(路肩0.75+車道3.25)×2+歩道3.5 【対象】 道路利用者 【成果】 道路照明灯N=2基設置完了。</p>

主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
道路整備事業費	197,531	<p>◎ 浦志有田線整備事業 19,747 (国 9,814) (市債 8,800)</p> <p>【目的】 新駅南口へのアクセス道路の整備。</p> <p>【対象】 道路利用者、新駅利用者</p> <p>【成果】 道路詳細設計業務発注。</p> <p>◎ (仮称)新駅北口停車場線整備事業 87,311 〈平成27年度～平成30年度〉 (国 28,573) (市債 49,600) (基金 5,228)</p> <p>【目的】 新駅の開設に伴い、駅北側からのアクセス道路を整備する。</p> <p>【対象】 道路利用者、新駅利用者等</p> <p>【成果】 道路改良工事、照明柱設置工事及び信号機設置工事の施工完了。</p> <p>◎ 新駅周辺整備事業 17,533 〈平成27年度～平成30年度〉 (国 99) (市債 7,500) (基金 1,001)</p> <p>【目的】 新駅開設に伴い、新駅利用者の利便性及び交通安全の向上を図る。</p> <p>【対象】 道路利用者、新駅利用者</p> <p>【成果】 道路改良工事施工完了。</p> <p>◎ 松浦中線・松浦線整備事業 6,424 〈平成27年度～平成30年度〉 (国 3,033) (市債 2,700)</p> <p>【目的】 波多江駅周辺整備計画に基づき、波多江駅南口利用者の交通安全を確保する。</p> <p>【対象】 波多江駅利用者</p> <p>【成果】 道路改良工事施工完了。</p>

主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
道路整備事業費	197,531	<p>◎ 道路施設長寿命化修繕事業 12,694 〈平成28年度～令和3年度〉 (国 6,331) (市債 5,600)</p> <p>【目的】 平成26年度に実施した路面の老朽化調査の結果、ひび割れ率が40%以上あるため、補助事業で舗装修繕工事を実施する。 前原インターへのアクセス道路として大型車両の通行も多く、道路網の安全性・信頼性を確保する。</p> <p>【対象】 道路利用者</p> <p>【成果】 舗装工事 L=185.9m</p> <p>◎ 前原西中学校前線整備事業 6,721 〈平成30年度～令和元年度〉 (国 3,258) (市債 2,900)</p> <p>【目的】 歩道を設置することにより、通学をはじめ一般通行者の安全性を確保する。</p> <p>【対象】 道路利用者、前原西中学校通学利用者</p> <p>【成果】 用地買収及び物件補償の実施。</p> <p>◎ 北の崎龍頭線整備事業 7,833 (国 3,750) (市債 3,300)</p> <p>【目的】 国道202号バイパス及び新駅利用者の利便性・交通安全性の向上を図る。</p> <p>【対象】 道路利用者</p> <p>【成果】 道路改良工事施工完了。</p>
道路整備事業費 (線越明許費分)	244,343	<p>◎ 新田久保田線整備事業 44,172 〈平成26年度～令和元年度〉 (国 24,274) (市債 17,800)</p> <p>【目的】 県施工の街路事業(下新開線及び北新地新田線)の整備に合わせ、中央ルートと西回りルートを結ぶ重要な幹線道路として、また202号の交通混雑の解消を行うため、利便性及び交通安全の向上を図る。 工事長L=936m 幅員11.5m(路肩0.75+車道3.25)×2+歩道3.5</p> <p>【対象】 道路利用者</p> <p>【成果】 道路改良工事 総延長L=936m中L=305mが完了。</p>

主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
道路整備事業費 (繰越明許費分)	244,343	◎ (仮称)新駅北口停車場線整備事業 200,171 (平成27年度～平成30年度) (国 82,328) (市債 106,000) 【目的】 新駅の開設に伴い、駅北側からのアクセス道路を整備する。 【対象】 道路利用者、新駅利用者等 【成果】 用地買収及び物件補償完了。
交通安全施設 整備事業費	39,175	◎ 交通安全施設整備事業(社交金分) 23,920 (平成27年度～平成30年度) (国 13,156) 【目的】 小学校通学路の交通安全施設(路側帯カラー塗装、転落防止柵)を整備し、通学時の安全確保を行い交通事故防止を図る。 【対象】 小学校通学路利用児童 【成果】 路側帯のカラー塗装3,423m、転落防止柵320mを実施した。 ◎ 交通安全施設整備事業(単費) 14,996 (国 1,001) 【目的】 歩行者の安全確保及び車両の増加による交通事故防止を図る。 各行政区からの設置要望が多いことから、緊急性・必要性の高い箇所から順次計画的に実施している。 【対象】 道路利用者 【成果】 防護柵(ガードレール)648m、道路反射鏡(カーブミラー)34基、区画線974m実施した。 ◎ JR荻浦踏切歩道設置事業 259 【目的】 JR荻浦踏切内の歩行者の安全確保を図る。 【対象】 市道大浦荻浦線JR荻浦踏切通行者 【成果】 実施設計が完了した。

主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
橋梁長寿命化事業費	70,365	<p>◎ 橋梁長寿命化修繕事業 70,365 (国 29,025) (市債 19,400)</p> <p>〔平成26年度～令和5年度〕</p> <p>【目的】 計画的に点検を実施し、事故の防止や維持費の削減に努める。 計画的な点検を実施することにより、国の交付金を活用し修繕や架け替え事業を実施することができる。</p> <p>【対象】 市内全域の橋梁施設利用者 糸島市橋梁長寿命化修繕計画の見直委託(5年に1度見直し必要)。 施設の近接目視点検委託 橋梁修繕設計委託・工事 橋梁架替設計委託・工事</p> <p>【成果】 個別施設計画(橋梁)策定業務委託 橋梁修繕設計委託(水越橋、有坂橋) 橋梁修繕工事(佐波跨道橋、宮星橋、第2平原橋)</p>
橋梁長寿命化事業費 (繰越明許費分)	13,548	<p>◎ 橋梁長寿命化修繕事業 13,548 (国 5,755) (市債 600)</p> <p>〔平成26年度～令和5年度〕</p> <p>【目的】 計画的に点検を実施し、事故の防止や維持費の削減に努める。 計画的な点検を実施することにより、国の交付金を活用し修繕や架け替え事業を実施することができる。</p> <p>【対象】 市内全域の橋梁施設利用者</p> <p>【成果】 工事事後家屋調査を実施し、損害補償完了。</p>
河川維持管理費	21,850	<p>◎ 河川維持管理事業 18,789 (基金 14,969)</p> <p>【目的】 認定河川の計画的な維持補修を行うことにより、豪雨による災害から市民の財産と生命を守る。</p> <p>【対象】 市が管理する河川</p> <p>【成果】 河川の浚渫を3河川実施した。 河川台帳整備事業について、平成30年度に20河川(新規2河川、修正20河川)の河川台帳を整備した。</p>

主な事業(建設都市部 建設課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
下排水路改良事業費	3,298	◎ 下排水路改良事業 〈平成23年度～令和元年度〉 【目的】 下排水路整備により生活環境改善を図る。 【対象】 下水道が整備されていない地域 【成果】 初松原地区の要望箇所を整備。

主な事業(建設都市部 都市計画課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
<p>その他都市計画 総務費</p>	<p>5,198</p>	<p>◎ 木造戸建て住宅耐震改修促進事業 1,200 〈平成29年度～令和3年度〉 (国 300) (県 600)</p> <p>【目的】 本市の住宅の耐震化促進を図り、震災から市民の生命及び財産を守る。</p> <p>【対象】 昭和56年5月31日以前に建築または工事着工した市内の木造戸建て住宅で、耐震診断を受けた結果、耐震性に乏しいと判定されたもの。</p> <p>【成果】 補助事業の件数 2件</p> <p>◎ ブロック塀等撤去促進事業 215 〈平成30年度～令和2年度〉 (国 95) (県 58)</p> <p>【目的】 危険なブロック塀の除去により災害時の通学路や避難路の安全を確保する。</p> <p>【対象】 市内の道路沿いに存在する危険なブロック塀の所有者又は管理者</p> <p>【成果】 市内の危険なブロック塀3件の除去を実施。</p>
<p>都市公園整備事業費 (繰越明許費分)</p>	<p>11,488</p>	<p>◎ 二丈コミュニティプラザ整備事業 11,488 〈平成29年度～平成30年度〉 (国 4,178) (市債 6,500)</p> <p>【目的】 二丈コミュニティプラザのグラウンド及び駐車場を整備し、公園利用者の利便性を図るとともに、憩いの場、コミュニティ活動などの場として機能充実を図る。</p> <p>【対象】 深江校区地域住民</p> <p>【成果】 公園広場2,000㎡及び駐車場600㎡(29台分)の整備完了。</p>
<p>前原東土地地区 画整理事業費</p>	<p>18</p>	<p>◎ 前原東土地地区画整理事業 18</p> <p>【目的】 都市基盤の整備を行うことにより、人口の新たな受け皿を確保する。</p> <p>【対象】 糸島市内外の市内居住予定者</p> <p>【成果】 平成30年度は換地処分・精算認可申請等の事務を行った。 平成31年3月末で伊都の杜行政区区域内人口1,236人。</p>

主な事業(建設都市部 都市計画課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
県営街路整備事業費	19,000	<p>◎ 県営街路整備事業 19,000 (市債 4,500)</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北新地新田線(平成25年度～令和2年度) 加布羅交差点付近の交通混雑の解消、利便性の向上及び交通安全の確保。九州大学へのアクセスを向上させる学園通り線西回りルートの一部となる。 ・波多江泊線(平成17年度～令和10年度) 国道202号線及び同バイパスを結ぶ南北の道路網を構築することにより、国道202号、県道瑞梅寺池田線等の交通混雑を緩和し、市民の利便性及び九州大学との連絡機能の向上を図り、研究・産業機関の立地や九大との連携を強化する。 <p>【対象】 市民全般</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北新地新田線(事業費:17,000千円) 用地買収2件・補償2件の契約、北新地新田線の一部整備を行った。 ・波多江泊線(事業費:2,000千円) 図面作成のため、現地測量を行った。
筑前深江駅関連施設整備事業費	133,204	<p>◎ 筑前深江駅周辺整備事業 133,204 (平成21年度～平成30年度) (国 48,441) (市債 75,900)</p> <p>【目的】 深江自由通路・駅舎(橋上駅)・駅前広場を一体的に整備することにより、交通結節点としての機能を高め、駅利用者の利便性の向上を図る。</p> <p>【対象】 深江駅利用者及び深江駅の近隣住民</p> <p>【成果】 深江駅自由通路・駅舎が平成30年3月に供用開始され、平成30年度に東西の駅前広場工事が完了し、供用開始している。</p>
波多江駅自由通路整備事業費	10,600	<p>◎ 波多江駅自由通路線整備事業 10,600 (平成24年度～令和2年度)</p> <p>【目的】 波多江駅の自由通路を整備することにより駅南側からの駅利用者の利便性向上を図るとともに、安全で快適な歩行空間の整備を行う。</p> <p>【対象】 波多江駅利用者</p> <p>【成果】 実施設計変更のための業務委託契約を行った。</p>

主な事業(建設都市部 都市計画課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
新 駅 関 連 施 設 整 備 事 業 費	651,231	<p>◎ 浦志自由通路線整備事業 88,753 〈平成27年度～平成30年度〉 (国 31,475) (市債 1,200) (基金 24,501)</p> <p>【目的】 橋上駅となる新駅と自由通路を一体的に整備することにより、駅南北のアクセスを確保し、駅等利用者の利便性向上とバリアフリー化を図ると共に安全で快適な歩行者空間の整備を行う。</p> <p>【対象】 伊都の杜行政区、糸島高校等の新規新駅(鉄道)乗降客数：約2,000人</p> <p>【成果】 自由通路整備は平成31年3月に完了しており、供用開始している。</p> <p>◎ 浦志南北交通広場整備事業 218,427 〈平成27年度～平成30年度〉 (国 16,482) (基金 24,868)</p> <p>【目的】 新駅自由通路と南北交通広場などを一体的に整備することにより、交通結節点としての機能を高める。</p> <p>【対象】 新駅利用者</p> <p>【成果】 浦志南北交通広場は平成31年3月に完了しており、供用開始している。</p> <p>◎ 新駅駅舎等整備事業 344,051 〈平成28年度～平成30年度〉 (基金 134,322)</p> <p>【目的】 筑前前原駅と波多江駅(約3km)の中間点に位置し、新たな人口の受け皿として整備された前原東区画整理事業区域隣接地に新駅を設置し、徒歩圏(1～2km)の住民の利便性向上を図り、徒歩で生活できる市街地を形成する。</p> <p>【対象】 新駅利用者</p> <p>【成果】 新駅駅舎整備は平成31年3月に完了しており、供用開始している。</p>

主な事業(建設都市部 都市計画課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
新 駅 関 連 施 設 整 備 事 業 費 (継 続 費 分)	686,153	<p>◎ 浦志自由通路線整備事業 215,420 〈平成27年度～平成30年度〉 (国 104,711) (市債 99,600)</p> <p>【目的】 橋上駅となる新駅と自由通路を一体的に整備することにより、駅南北のアクセスを確保し、駅等利用者の利便性向上とバリアフリー化を図ると共に安全で快適な歩行者空間の整備を行う。</p> <p>【対象】 伊都の杜行政区、糸島高校等の新規新駅(鉄道)乗降客数：約2,000人</p> <p>【成果】 自由通路整備は平成31年3月に完了しており、供用開始している。</p> <p>◎ 新駅駅舎等整備事業 470,733 〈平成28年度～平成30年度〉 (国 137,500) (基金 183,233)</p> <p>【目的】 筑前前原駅と波多江駅(約3km)の中間点に位置し、新たな人口の受け皿として整備された前原東区画整理事業区域隣接地に新駅を設置し、徒歩圏(1～2km)の住民の利便性向上を図り、徒歩で生活できる市街地を形成する。</p> <p>【対象】 新駅利用者</p> <p>【成果】 新駅駅舎整備は平成31年3月に完了しており、供用開始している。</p>

主な事業(建設都市部 施設管理課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
公園緑地改修事業費	29,461	<p>◎ 二丈コミュニティプラザトイレ更新事業 16,433 (国 6,574) (市債 8,700)</p> <p>【目的】 公園利用者が使いやすい機能性のあるトイレにする。</p> <p>【対象】 公園利用者</p> <p>【成果】 既存トイレ(汲取り式)の解体。 新規トイレの設置(男子、女子、多目的)。 新規トイレについては、合併浄化槽設置により水洗とし、大便器は全て洋式とした。また、バリアフリー向上のため、車イスが入れ、オストメイト便器のある多目的トイレを設置した。</p> <p>◎ 志摩中央公園トイレ改修事業 7,935 (市債 6,000)</p> <p>【目的】 公園利用者が使いやすい機能性のあるトイレにする。</p> <p>【対象】 公園利用者</p> <p>【成果】 既設トイレの便器の洋式化(男子2基、女子4基)。 既設多目的トイレにオストメイト便器の設置。 個室型トイレの新規設置。 個室型トイレは子連れでも安心して利用できることを念頭に、ベビーカーが入れる出入口とスペースを確保し、ベビーベッド、チャイルドチェア、子ども用便座を設置した。</p> <p>◎ 市街地隣接公園高木伐採事業 5,093 (平成30年度～令和2年度) (基金 5,093)</p> <p>【目的】 強風での倒木及び火災延焼等の懸念を払拭し、近隣住民が安心して暮らせる生活環境をつくる。</p> <p>【対象】 住宅に隣接した公園の高木及び竹</p> <p>【成果】 笹山公園B、C、D、E地区、加布里公園、丸田公園の危険性が高い高木及び竹を伐採し、被害を未然に防いだ。</p>
その他住宅管理費	1,048	<p>◎ 収納管理システム等改修事業 836</p> <p>【目的】 令和元年度分以降の滞納に発生する遅延損害金の完全徴収を行うためと平成30年度分以前の延滞金のデータを0円とするためシステム改修を行う。</p> <p>【対象】 住宅使用料等の滞納に係る延滞金のデータが残っている人</p> <p>【成果】 現行の使用料の延滞金データ62,305件全てを0円の設定とし、令和元年度分以降は遅延損害金5%の設定を行い、実際の運用が可能となった。</p>

主な事業(消防本部 消防総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
消防施設整備事業費	183,559	◎ 消防本部庁舎改修事業 2,276 【目的】 消防本部庁舎に女性職員専用の浴室等がないため、勤務環境を整備する。 【対象】 消防本部勤務の女性職員 【成果】 女性職員専用浴室、仮眠室の設置。

主な事業(消防本部 警防課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
非常備消防関係費	132,698	<p>◎ 消防団装備整備事業 4,497</p> <p>【目的】 消防団装備を充実することで、消防団員の身体の安全を確保し、消防活動の機能強化を図る。</p> <p>【対象】 消防団装備のうち、消防団14分団の自動車班員144人と団本部員4人の計148人の防火衣等</p> <p>【成果】 消防団14分団の自動車班員144人と団本部員4人の計148人のうち、防火衣等60式を整備した。消防団装備を整備することで、消防団員の身体的安全性を確保することができ、災害活動の充実を図ることができている。</p>
消防施設整備事業費	183,559	<p>◎ 防火水槽整備事業 10,547 (平成28年度～令和2年度) (市債 10,500)</p> <p>【目的】 火災による被害の軽減、消防水利が不足する地域等の解消を図る。</p> <p>【対象】 消防水利が不足し消火栓が整備されていない地域や消火栓の実利用が困難な地域。</p> <p>【成果】 防火水槽を2箇所に設置(高祖行政区、桜井行政区)。消防水利の不足地域に防火水槽を整備することで、火災被害の軽減を図ることができている。</p> <p>◎ 消防団ポンプ自動車整備事業 32,890 (市債 29,700)</p> <p>【目的】 地域防災の要である消防団の消防ポンプ自動車を更新し、安全・安心のまちづくりに寄与する。</p> <p>【対象】 福吉分団消防ポンプ自動車及び福吉分団小型動力ポンプ付積載車</p> <p>【成果】 福吉分団消防ポンプ自動車及び福吉分団小型動力ポンプ付積載車を更新した。消防団活動の災害対応力を強化することで、地域防災力の向上を図ることができている。</p> <p>◎ 県防災行政情報通信ネットワーク整備事業(警防課) 2,809 (平成29年度～令和元年度) (市債 2,800)</p> <p>【目的】 最新の通信速度、通信方法に対応するために更新工事を実施する(県主体工事)。</p> <p>【対象】 平成9年度から平成11年度に整備した県防災行政情報通信ネットワークシステム</p> <p>【成果】 事業費9,150千円のうち平成30年度分の負担金2,809千円を支出した。</p>

主な事業(消防本部 警防課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
消防施設整備事業費	183,559	<p>◎ 高規格救急自動車整備事業 37,428 (市債 30,000)</p> <p>【目的】 消防署志摩出張所配備の高規格救急自動車を最新の装備を積載した車両に更新し、市民の安全安心の向上を図る。</p> <p>【対象】 消防署志摩出張所配備の高規格救急自動車</p> <p>【成果】 消防署志摩出張所配備の高規格救急自動車を更新整備した。救急車を適正に更新整備することで、傷病者に適切な応急処置を実施することができている。</p> <p>◎ 消防ポンプ自動車整備事業 41,576 (市債 35,300)</p> <p>【目的】 災害が大規模化する傾向があり、消防署二丈出張所配備の消防ポンプ自動車を最新の装備を積載した車両に更新し、安全・安心のまちづくりに寄与する。</p> <p>【対象】 消防署二丈出張所配備の消防ポンプ自動車</p> <p>【成果】 消防署二丈出張所の消防ポンプ自動車を更新整備した。消防車両を適正に更新整備することで、災害の迅速な収束を図ることができている。</p> <p>◎ 指揮車整備事業 14,554 (市債 12,800)</p> <p>【目的】 災害が大規模化、特殊化する傾向にあるため、消防署本署配備の指揮車を最新の装備を積載した車両に更新し、災害現場での指揮隊の指揮能力を向上させ災害の早期収束を図り、市民の安全安心を維持する。</p> <p>【対象】 消防署本署配備の指揮車</p> <p>【成果】 消防署本署配備の指揮車を更新した。災害現場で統率のとれた指揮の下、災害の迅速な収束を図ることができている。</p> <p>◎ 通信指令施設更新事業 31,320</p> <p>【目的】 適正な119番受信体制を維持し、災害対応の迅速性を確保する。</p> <p>【対象】 消防本部通信指令施設</p> <p>【成果】 消防本部通信指令施設の機器及びシステムの更新整備を実施した。老朽化した通信指令施設の機器及びシステムを更新することで、適正な119番受信体制を維持し、迅速な災害対応ができている。</p>

主な事業(教育部 教育総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
事務局費	63,310	<p>◎ 学校給食運営・施設整備検討事業 9,180</p> <p>【目的】 将来にわたり安定的な学校給食を提供し、効率的な運営方法の調査検討を行うとともに、老朽施設の改築・改修方式やイニシャルランニングコストの検討、概算事業費の算出、基本計画(案)を作成し、安全で継続的な給食提供サービスの充実を図る。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 安全で安心できる学校給食の提供。 平成30年度 学校給食運営・施設整備検討業務</p>
波多江小学校給食室改築事業費	16,319	<p>◎ 波多江小学校給食室改築事業 16,319 〈平成27年度～平成30年度〉</p> <p>【目的】 老朽化した給食室を建て替え、事故の防止、衛生管理面の環境向上を図る。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 給食室での事故防止と衛生管理面の環境向上を図る。 平成30年度 既存給食室解体工事</p>
小学校改修事業費	213,400	<p>◎ 小学校改修事業 60,208 (基金 36,000)</p> <p>【目的】 市内小学校の小規模営繕工事を実施し、事故防止、施設の長寿命化を図る。3年毎に専門家による施設の調査・点検を実施し、危険箇所等を把握、事故防止に努める。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 改修工事等 89件</p> <p>◎ 桜野小学校屋内運動場改修事業 38,487 〈平成29年度～平成30年度〉 (市債 28,500)</p> <p>【目的】 屋内運動場の屋根・外壁の改修工事。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 屋内運動場の屋根・外壁の改修工事</p>

主な事業(教育部 教育総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
小学校改修事業費	213,400	<p>◎ 波多江小学校消防設備改修事業 497 (平成30年度～令和2年度)</p> <p>【目的】 消防設備は、建築基準法改正に伴い、防煙シャッターに挟まれ防止設備の設置が義務付けられたため既存校舎の防煙シャッター改修を行う。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 消防設備改修工事実施設計</p> <p>◎ 姫島小学校校舎外壁改修事業 7,985 (基金 7,985)</p> <p>【目的】 姫島小学校は、平成7年度に建設され一度も普通教室棟の塗り替えがされていないため校舎の外壁改修を行う。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 姫島小学校校舎外壁改修工事</p> <p>◎ 前原南小学校校舎等整備事業(教室分) 99,507</p> <p>【目的】 前原南小学校区は、土地区画整理事業により伊都の杜行政区ができ、児童数が平成30年度から急激に増加し、平成31年度以降既存校舎での対応ができない状況になっている。そこで急激な児童数の増加に対応するため校舎を整備する。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 不足する教室の確保。 平成30年度 校舎等整備工事(校舎1棟6教室(学校分4教室))</p> <p>◎ 前原南小学校プール床改修事業 6,717</p> <p>【目的】 前原南小学校のプールの床については、老朽化に伴い床の防水シートに亀裂等が発生し部分的な補修で対応してきた。しかしながら近年老朽化が著しく、事前に部分的な補修を行っても使用時に亀裂が入る事例が発生し、プールの使用を中止する事態が発生している。そこで、プールの床を改修し教育環境の整備を図る。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 プール床改修工事</p>

主な事業(教育部 教育総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
小学校設備 設置事業費	21,827	<p>◎ 給食室空調設備整備事業 21,827 〈平成29年度～令和元年度〉</p> <p>【目的】 市内小学校における給食調理室の空調環境の向上を図ることにより給食調理員の労働環境の改善を行うとともに良好な教育環境を確保することを目的とする。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 空調設備設置工事(5校) (前原小、長糸小、前原南小、深江小、桜野小)</p>
小学校大規模 改造事業費	120,934	<p>◎ 加布里小学校校舎大規模改造事業 95,505 〈平成28年度～平成30年度〉</p> <p>【目的】 老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童・教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 大規模改造工事(3棟)(工事完了)</p> <p>◎ 前原小学校大規模改造事業 25,429 〈平成30年度～令和3年度〉 (市債 11,900)</p> <p>【目的】 老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童・教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 大規模改造工事实施設計(7棟)</p>
小学校空調設備 整備事業費 (繰越明許費分)	4,559	<p>◎ 小学校空調設備整備事業 4,559 (国 1,127) (市債 2,200)</p> <p>【目的】 深江小学校の職員室、事務室、校長室もにおける空調機が老朽化に伴い更新を行う。</p> <p>【対象】 児童・生徒・教職員</p> <p>【成果】 児童・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 深江小学校空調設備設置工事</p>

主な事業(教育部 教育総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
小学校大規模 改造事業費 (継続費分)	105,753	◎ 加布里小学校校舎大規模改造事業 105,753 〈平成28年度～平成30年度〉 (国 35,485) (市債 70,200) 【目的】 老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、 児童・教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供す る。 【対象】 児童・生徒・教職員 【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 大規模改造工事(3棟)(工事完了)
中学校改修事業費	61,521	◎ 中学校改修事業 28,551 (基金 12,000) 【目的】 市内中学校の小規模営繕工事を実施し、事故防止、施設の 長寿命化を図る。3年毎に専門家による施設の調査・点検を 実施し、危険箇所等を把握、事故防止に努める。 【対象】 児童・生徒・教職員 【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 改修工事等 44件 ◎ 中学校プール循環ろ過設備改修事業 8,644 【目的】 中学校のプールは、透明度が高く、滅菌により安全・安心な 水を作るため循環ろ過装置が必要である。現状では、耐用年 数(15年)を過ぎ20年以上使用しているため、ろ過効率が落 ち、藻(あおこ)の発生や透明度が低下している。よってろ過設 備更新することにより機能を向上させ、プール水質基準を保 持、良好な学習環境を整える。 【対象】 児童・生徒・教職員 【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 前原中学校プール水循環ろ過設備工事 ◎ 前原中学校校舎屋上防水事業 24,325 (市債 18,200) (基金 6,125) 【目的】 棟番号32-1、2の校舎は、建設より27年、棟番号11-1、11-2 の校舎は、大規模改造工事より25年経過する。現在、雨漏り が多く、部分的な修繕を行っているが防水層が紫外線により 劣化しており部分的な修繕では対応できなくなっている。よっ て、防水改修を行い、良好な学校教育施設の環境を提供す る。 【対象】 児童・生徒・教職員 【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 前原中学校屋上防水工事

主な事業(教育部 教育総務課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
中 学 校 設 備 設 置 事 業 費	5,005	◎ 給食室空調設備整備事業 〈平成29年度～令和元年度〉 【目的】 市内中学校における給食調理室の空調環境の向上を図ることにより給食調理員の労働環境の改善を行うとともに良好な教育環境を確保することを目的とする。 【対象】 児童・生徒・教職員 【成果】 児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保。 平成30年度 空調設備設置工事(前原東中)

主な事業(教育部 生涯学習課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
公民館管理運営費	203,899	<p>◎ 市立公民館設備改修事業 7,613</p> <p>【目的】 公民館は、生涯学習、校区まちづくりの拠点施設であり、また、災害時の避難施設でもあることから、空調設備を整備することで快適な施設環境を利用者に提供する。</p> <p>【対象】 施設利用者</p> <p>【成果】 前原公民館空調設備の改修工事を実施した。</p> <p>◎ エネルギー構造高度化・転換理解促進事業 6,264 (国 6,264)</p> <p>【目的】 再生可能エネルギー導入による環境への負荷をかけないまちづくりを促進する。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 市立公民館6館(福吉公民館、一貴山公民館、東風公民館、南風公民館、加布里公民館、前原公民館)の実施設計を行った。</p>
公民館改修事業費	12,161	<p>◎ 庁舎等照明機器改修事業(加布里公民館) 10,649 (市債 5,300)</p> <p>【目的】 省エネ、節電、二酸化炭素排出量の削減等の環境保全方を市が率先垂範して実施することを市内外へPRする。</p> <p>【対象】 糸島市</p> <p>【成果】 加布里公民館の照明機器はLEDへ取替工事完了。市が率先垂範してLED照明機器へ取替を行うことで、市民に省エネ及び節電をPRすると共に、環境保全に対する啓発効果が期待できる。</p> <p>◎ 前原南公民館大規模改修・建替え調査等事業 1,512</p> <p>【目的】 前原南公民館の現状調査及び大規模改修と建替えの費用比較を行い、基本方針の策定と概算工事費の算出を行う。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 前原南公民館大規模改修・建替え検討のための現地調査や費用比較など、各種調査、検討書類の作成が完了した。</p>

主な事業(教育部 生涯学習課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
公民館管理運営費 (繰越明許費分)	26,840	◎ 旧深江公民館解体事業 26,840 〈平成29年度～平成30年度〉 (市債 24,100) <p>【目的】 旧深江公民館敷地は深江区との土地賃貸借契約による借地であり、深江公民館が糸島市交流プラザ二丈館に移転したこと、旧深江公民館の老朽化が進んでいること、新耐震基準も満たしていないことから、旧深江公民館を解体する。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 旧深江公民館の解体工事を実施した。 なお、当初は平成29年度のみ単年度事業であったが、工期が延長となり、事業期間は平成29～30年度となった。</p>
福岡マラソン 実施事業費	13,953	◎ 福岡マラソン実施事業 9,953 <p>【目的】 スポーツイベントの実施により、スポーツの振興と地域の活性化を図り、まちづくりへの市民の意識の高揚を図る。 併せて、糸島市独自の事業展開により大会を盛り上げ、糸島市を積極的にPRする事を目的とする。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 沿道応援やもてなし事業に参加した市民1,101人。</p>
ヤングシニア生きいき プロジェクト事業費	2,479	◎ スポーツチャレンジ事業(ヤングシニア生 きいき分) 2,479 (国 1,240) <p>【目的】 全国的にスポーツの機運が高まる中、この契機を活かした事業を展開。スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供し、スポーツ習慣や健康志向の定着を図る。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【成果】 スポーツ体験教室:16回実施。460人参加。 体力測定(簡易体カテスト):2回実施。144人参加。 ニュースポーツ教室:20回実施。881人参加。 ニュースポーツ指導(しあわせ教室):7回実施。160人参加。 トップアスリート講演会:1回実施。537人参加。</p>
体育施設管理運営費	74,733	◎ 体育施設インターネット受付システム導 入事業 1,700 (基金 1,692) <p>【目的】 体育施設利用者の利便性の向上及び職員の事務軽減による行革の推進。</p> <p>【対象】 体育施設利用者</p> <p>【成果】 平成31年2月システム本稼働。</p>

主な事業(教育部 生涯学習課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
体育施設管理運営費	74,733	<p>◎ 体育施設改修整備事業 43,174</p> <p>【目的】 体育施設の改修を行い、施設の安全性及び利便性を高め、利用者の増加を促すなどスポーツの振興を図る。</p> <p>【対象】 市民 体育施設利用者</p> <p>【成果】 志摩体育館天井改修工事 芥屋野球場防球ネット設置工事(三塁側)</p>

主な事業(教育部 文化課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
国宝、重要文化財 保存事業費	6,405	<p>◎ 国宝、重要文化財保存事業 6,405</p> <p style="text-align: right;">(国 3,200)</p> <p style="text-align: right;">(県 300)</p> <p style="text-align: right;">(基金 2,905)</p> <p>【目的】 伊都国の拠点集落である三雲・井原遺跡をはじめとする市内の重要遺跡を保護し、史跡指定や整備活用を行うため、発掘調査を実施し、その成果を基に調査研究を行い遺跡の実態を解明する。 また、自己居住用個人住宅の建設に伴う発掘調査を実施する。(原則的に建築主の費用負担は伴わない。)</p> <p>【対象】 重要遺跡の確認調査及び自己居住用個人住宅の建築に係る発掘調査等。</p> <p>【成果】 三雲・井原遺跡発掘調査報告書「三雲・井原遺跡11」を発行した。 泊大塚古墳の発掘調査を行い、将来的な国史跡指定に向けてのデータを取得した。</p>

主な事業(教育部 学校教育課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
生徒指導充実事業費	19,074	<p>◎ 学校問題解決支援事業 5,833 (県 1,400) (基金 4,432)</p> <p>【目的】 児童生徒の不登校や問題行動、保護者対応等、小中学校において様々な問題を抱えており、問題解決の支援を教育委員会として行うため、スクールソーシャルワーカーを配置している。児童生徒、保護者との面談や関係機関との連携を行った。</p> <p>【対象】 小中学校</p> <p>【成果】 スクールソーシャルワーカーを嘱託員として2人雇用。</p> <p>◎ 不登校対応指導員配置事業 2,660 (基金 2,660)</p> <p>【目的】 本市においても、不登校児童生徒数は年々増加傾向にあり、不登校の問題への対策を講じる。</p> <p>【対象】 小中学校</p> <p>【成果】 不登校対応指導員2名による不登校児童生徒への支援の実施。</p>
開かれた学校づくり 事業費	4,221	<p>◎ E-フェスイとしま開催事業 618 (基金 618)</p> <p>【目的】 市内外に糸島の教育力のアピールを実施する。</p> <p>【対象】 小中高等学校</p> <p>【成果】 参加者数 677名</p> <p>◎ 学校の魅力PR事業 444 (基金 444)</p> <p>【目的】 子育て世代を中心に、市内小中学校の特色ある教育の取組を冊子やホームページ等を活用して発信する。</p> <p>【対象】 小中学校の保護者</p> <p>【成果】 二丈地区、志摩地区の小中学校の記事を作成配付した。</p>

主な事業(教育部 学校教育課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
開かれた学校づくり 事業費	4,221	<p>◎ ICT教育充実事業(特別教育へのICT活用研究) 1,750</p> <p>【目的】 指導上特別な配慮を要する児童生徒の数が年々増加しており、その指導体制や指導に必要な教材の充実を図る。</p> <p>【対象】 小学校</p> <p>【成果】 特別支援学級や通常学級で学習に対する課題を有する児童の学習指導に対し、特別支援教育に適したアプリケーションソフトを活用。</p>
英語教育推進事業費	3,164	<p>◎ 中学校英語検定推進事業 520</p> <p>【目的】 学力向上及び検定への挑戦意欲を高めるため、中学2・3年生を対象に英語検定の4級以上の試験検定料の一部(一律1,000円)を補助。</p> <p>【対象】 中学生</p> <p>【成果】 6中学校、のべ520人に補助。</p> <p>◎ 英語教育充実事業 2,280 (基金 2,280)</p> <p>【目的】 小学生及び中学生の英語力の向上及び教職員の指導能力の向上を目的に、専門職員を配置。教諭への英語教育推進に係る指導助言やALTとの連絡調整を行った。</p> <p>【対象】 市内小学校3年生から6年生及び市内中学校1年生から3年生</p> <p>【成果】 英語教育コーディネーター(嘱託員)1人雇用。</p>
特別支援学校建設 用地取得事業費	302,629	<p>◎ 特別支援学校建設用地取得準備事業 17,200</p> <p>【目的】 県立特別支援学校用地の取得。</p> <p>【対象】 小中高等学校(特別支援学校)</p> <p>【成果】 県立特別支援学校の建設用地を取得した。</p> <p>◎ 特別支援学校建設用地取得事業 285,428 (市債 188,500)</p> <p>【目的】 県立特別支援学校の用地の取得。</p> <p>【対象】 小中高等学校(特別支援学校)</p> <p>【成果】 県立特別支援学校の建設用地を取得した。</p>

主な事業(教育部 学校教育課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
小学校コンピュータ整備事業費	50,895	<p>◎ 教職員用校務パソコン整備事業 10,690</p> <p>【目的】 校務の効率化及び情報セキュリティの強化を図るため。 現在保有のパソコンの多くは、平成21年度に購入されたもので償却資産における耐用年数4年を超過する状況にあるとともに、ICT教育を推進するうえで問題が多いため更新を行うもの(平成30年度から令和4年度までのリース)。</p> <p>【対象】 小学校</p> <p>【成果】 校務でパソコンを使用できるようにした。</p>
中学校コンピュータ整備事業費	20,072	<p>◎ 教職員用校務パソコン整備事業 6,236</p> <p>【目的】 校務の効率化及び情報セキュリティの強化を図るため。 現在保有のパソコンの多くは、平成21年度に購入されたもので償却資産における耐用年数4年を超過する状況にあるとともに、ICT教育を推進するうえで問題が多いため更新を行うもの(平成30年度から令和4年度までのリース)。</p> <p>【対象】 中学校</p> <p>【成果】 校務でパソコンを使用できるようにした。</p>

主な事業(上下水道部 下水道課)

決算書事業費名	事業費 千円	主な事業及び内容 千円
合併処理浄化槽 設置整備事業費	43,291	<p>◎ 合併処理浄化槽設置整備事業 42,060 (国 2,482) (県 22,440)</p> <p>【目的】 生活環境の改善及び自然環境の保全を図る。</p> <p>【対象】 市全域(ただし、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、個別排水処理施設整備事業の計画区域を除く。)において、専用住宅、自治公民館及び保育所等に合併処理浄化槽を設置しようとする者</p> <p>【成果】 平成30年度合併処理浄化槽設置基数 5人槽 76基 7人槽 38基 10人槽 2基 合計 116基</p>

特 別 会 計

1 住宅新築資金等貸付事業特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度	平成29年度
歳 入	総 額	16,568	28,552
歳 出	総 額	14,018	25,631
歳 入	歳 出 差 引 額	2,550	2,921
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費逡次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		2,550	2,921

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
26	41,779	△ 21,994	△ 34.5	37,541	△ 15,911	△ 29.8	4,238
27	36,438	△ 5,341	△ 12.8	31,194	△ 6,347	△ 16.9	5,244
28	19,731	△ 16,707	△ 45.9	15,388	△ 15,806	△ 50.7	4,343
29	28,552	8,821	44.7	25,631	10,243	66.6	2,921
30	16,568	△ 11,984	△ 42.0	14,018	△ 11,613	△ 45.3	2,550

住宅新築資金等貸付状況

(単位:千円)

年度	貸付額	回 収 金			現年度 調定	年度末現在高
		元 金	利 子	計		
26		12,538	2,116	14,654	6,369	249,960
27		14,634	2,061	16,695	6,245	239,510
28		9,873	2,202	12,075	3,548	230,983
29		7,240	1,476	8,716	2,802	225,069
30		5,878	1,039	6,917	2,363	220,515

※貸付額は、平成8年度で終了しています。

地方債現在高の状況

(単位:千円)

借入先	A 平成29年度 現在高	B 平成30年度 発行額	平成30年度元利償還金			差引現在高 A+B-C
			C			
			元 金	利 子	計	
旧簡易生命保険資金	4,394	0	2,264	134	2,398	2,130
計	4,394	0	2,264	134	2,398	2,130

2 国民健康保険事業特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度	平成29年度
歳 入	総 額	13,447,060	15,554,061
歳 出	総 額	12,751,203	14,752,949
歳 入	歳 出 差 引 額	695,857	801,112
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費逡次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		695,857	801,112

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
26	13,304,709	△ 192,720	△ 1.4	13,451,429	217,138	1.6	△ 146,720
27	15,641,036	2,336,327	17.6	15,617,777	2,166,348	16.1	23,259
28	15,334,569	△ 306,467	△ 2.0	14,902,041	△ 715,736	△ 4.6	432,528
29	15,554,061	219,492	1.4	14,752,949	△ 149,092	△ 1.0	801,112
30	13,447,060	△ 2,107,001	△ 13.5	12,751,203	△ 2,001,746	△ 13.6	695,857

科目別決算の状況

歳入

(単位;千円、%)

科 目		平成29年度		
		決算額	構成比	
1款 保 険 税	一般被保険者分	2,473,966	15.9	
	退職被保険者等分	31,051	0.2	
	計	2,505,017	16.1	
2款	使用料及び手数料	215	0.0	
3款 国 庫 支 出 金	療養給付費等負担金	2,255,310	14.5	
	高額医療費共同事業負担金	109,496	0.7	
	特定健康診査等負担金	16,170	0.1	
	普通調整交付金	811,239	5.2	
	特別調整交付金	245,853	1.6	
	その他補助金	7,884	0.1	
	計	3,445,952	22.2	
4款	療養給付費交付金	219,060	1.4	
5款	前期高齢者交付金	3,345,053	21.5	
6款 県 支 出 金	高額医療費共同事業負担金	99,266	0.6	
	特定健康診査等負担金	16,170	0.1	
	財政調整交付金	823,859	5.3	
計	939,295	6.0		
7款 共 同 事 業 交 付 金	高額医療費共同事業交付金	317,549	2.0	
	保険財政共同安定化事業交付金	2,936,574	18.9	
計	3,254,123	20.9		
8款	財産収入	0	-	
9款 繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	保険基盤安定	660,873	4.2
		基準超過費用	0	-
		職員給与費等	212,890	1.4
		出産育児一時金	42,080	0.3
		財政安定化支援事業	143,208	0.9
		その他一般会計	305,416	2.0
	小計	1,364,467	8.8	
	財政調整基金繰入金	0	-	
計	1,364,467	8.8		
10款	繰越金	432,528	2.8	
11款	諸収入	48,351	0.3	
歳入合計		15,554,061	100.0	

科 目		平成30年度		
		決算額	構成比	
1款 保 険 税	一般被保険者分	2,495,198	18.6	
	退職被保険者等分	11,790	0.1	
	計	2,506,988	18.6	
2款	使用料及び手数料	146	0.1%	
3款 県 支 出 金	普通交付金	8,571,774	63.7	
	特 別 交 付 金	保険者努力支援分	36,028	0.3
		特別調整交付金(市町村分)	144,470	1.1
		都道府県繰入金(2号分)	153,630	1.1
		特定健康診査等負担金	31,874	0.2
	その他補助金	96	0.0	
	財政安定化基金交付金	0	-	
計	8,937,872	66.5		
4款	財産収入	5	0.0	
5款 繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	保険基盤安定	664,594	4.9
		職員給与費等	222,670	1.7
		出産育児一時金	36,018	0.3
		財政安定化支援事業	147,006	1.1
		基準超過費用	0	-
		その他一般会計	53,579	0.4
	小計	1,123,867	8.4	
財政調整基金繰入金	0	-		
計	1,123,867	8.4		
6款	繰越金	801,112	6.0	
7款	諸収入	77,070	0.6	
歳入合計		13,447,060	100.0	

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

歳出

(単位;千円、%)

科目		平成29年度		
		決算額	構成比	
1款	総務費	215,478	1.5	
2款 保険給付費	一般分	療養給付費	7,183,628	48.7
		療養費	95,810	0.6
		高額療養費	990,035	6.7
		高額介護合算療養費	396	0.0
		移送費	0	-
		小計	8,269,869	56.1
	退職分	療養給付費	92,741	0.6
		療養費	1,450	0.0
		高額療養費	15,438	0.1
		高額介護合算療養費	0	-
		移送費	0	-
	小計	109,629	0.7	
	出産育児諸費	49,973	0.3	
葬祭諸費	4,800	0.0		
審査支払手数料	16,412	0.1		
計	8,450,683	57.3		
3款 後期高齢者支援金等	支援金	1,544,491	10.5	
	事務費拠出金	108	0.0	
計	1,544,599	10.5		
4款 前期高齢者納付金等	納付金	5,468	0.0	
	事務費拠出金	105	0.0	
計	5,573	0.0		
5款 老人保健拠出金	医療費拠出金	0	-	
	事務費拠出金	26	0.0	
計	26	0.0		
6款	介護納付金	588,092	4.0	
7款 共同事業拠出金	高額医療費共同事業拠出金	391,082	2.7	
	保険財政共同安定化事業拠出金	3,127,613	21.2	
	その他共同事業事務費拠出金	2	0.0	
計	3,518,697	23.9		
8款	保健事業費	73,869	0.5	
9款	基金積立金	216,264	1.5	
10款	公債費	0	-	
11款	諸支出金	139,668	0.9	
12款	予備費	0	-	
13款	前年度繰上充用金	0	-	
歳出合計		14,752,949	100.0	

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

科目		平成30年度		
		決算額	構成比	
1款	総務費	220,120	1.7	
2款 保険給付費	一般被保険者分	療養給付費	7,381,528	57.9
		療養費	90,290	0.7
		高額療養費	1,019,255	8.0
		高額介護合算療養費	192	0.0
		移送費	0	-
		小計	8,491,265	66.6
	退職被保険者等分	療養給付費	18,985	0.1
		療養費	360	0.0
		高額療養費	1,425	0.0
		高額介護合算療養費	0	-
		移送費	0	-
	小計	20,770	0.2	
	出産育児諸費	57,876	0.5	
葬祭諸費	4,000	0.0		
審査支払手数料	10,910	0.1		
計	8,584,821	67.3		
3款 国民健康保険事業費納付金	医療費給付費分	一般	2,321,962	18.2
		退職	6,108	0.0
	後期高齢者支援金等分	一般	720,070	5.6
		退職	2,129	0.0
介護納付金分	244,974	1.9		
計	3,295,243	25.8		
4款	共同事業拠出金	2	0.0	
5款	保健事業費	69,950	0.5	
6款	基金積立金	400,561	3.1	
7款	公債費	0	-	
8款	諸支出金	180,506	1.4	
9款	予備費	0	-	
歳出合計		12,751,203	100.0	

形式収支(歳入-歳出)	695,857
実質収支(形式収支-翌年度へ繰越すべき財源)	695,857
単年度収支(実質収支-前年度実質収支)	△ 105,254
実質単年度収支※	241,728

※実質単年度収支=単年度収支+財政調整基金への積立金-財政調整基金取り崩し額(繰入金)-その他一般会計繰入金

国民健康保険加入状況の推移(年度末現在)

(単位:世帯、人)

年度	総数(住民基本台帳)		国民健康保険		加入率	
	世帯数	人口	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数
26	39,174	99,877	15,989	29,733	40.8%	29.8%
27	39,609	99,687	15,821	28,992	39.9%	29.1%
28	40,372	100,131	15,556	28,183	38.5%	28.1%
29	41,269	100,721	15,523	27,537	37.6%	27.3%
30	42,267	101,450	15,493	26,938	36.7%	26.6%

国民健康保険税率等の状況

()は、平成26年度以前分

区分	所得割	資産割	均等割	平等割	課税限度額
基礎課税分 (医療分)	8.0% (7.7%)	—	24,700円 (23,000円)	20,500円 (20,100円)	26年度 510,000円 27年度 520,000円 28年度～29年度 540,000円 30年度 580,000円
後期高齢者支援金等課税分	2.4% (2.0%)	—	7,500円 (5,400円)	6,200円 (5,400円)	26年度 160,000円 27年度 170,000円 28年度～30年度 190,000円
介護納付金課税分	2.2% (1.55%)	—	12,700円 (8,400円)	—	26年度 140,000円 27年度～30年度 160,000円

(国保年金課)

国民健康保険税収納率等の推移

現年度課税分 (単位:千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	収納率
26	2,384,325	2,386,176	2,325,352	97.5
27	2,483,346	2,536,678	2,487,890	98.1
28	2,445,303	2,514,206	2,471,014	98.3
29	2,454,669	2,483,705	2,436,669	98.1
30	2,312,908	2,482,997	2,442,515	98.4

滞納繰越分 (単位:千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	収納率
26	91,699	478,778	104,772	21.9
27	81,871	398,055	99,907	25.1
28	71,004	312,437	85,747	27.4
29	60,268	230,557	68,348	29.6
30	58,544	190,501	64,473	33.8

(収税課)

保険給付費等の推移

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
平均世帯数（世帯）		16,148	16,059	15,771	15,646	15,646	
平均被保険者数（人）		30,150	29,612	28,730	28,006	27,484	
保 険 給 付 費	療養給付費	件数（件）	495,146	495,216	491,593	487,025	484,660
		金額(千円)	7,613,078	7,790,884	7,445,223	7,276,369	7,400,513
	療 養 費	件数（件）	18,945	18,853	18,403	17,661	16,590
		金額(千円)	108,031	107,976	107,279	97,260	90,650
	高額療養費	件数（件）	11,661	17,244	19,500	19,327	22,761
		金額(千円)	995,809	1,075,744	1,047,016	1,005,473	1,020,680
	高額介護 合算療養費	件数（件）	5	5	9	16	17
		金額(千円)	22	137	335	396	192
	小 計	件数（件）	525,757	531,318	529,505	524,029	524,028
		金額(千円)	8,716,940	8,974,741	8,599,853	8,379,498	8,512,035
		1人当たり 金額(円)	289,119	303,078	299,334	299,204	309,709
		1件当たり 金額(円)	16,580	16,891	16,241	15,991	16,243
	出 産 育 児 一 時 金	件数（件）	158	149	142	119	138
		金額(千円)	66,094	62,484	59,512	49,948	57,848
	葬 祭 費	件数（件）	138	139	148	120	130
金額(千円)		5,520	5,560	5,920	4,800	4,000	
審 査 支 払 手 数 料 等	金額(千円)	15,653	17,072	16,334	16,437	10,938	
合 計		8,804,207	9,059,857	8,681,619	8,450,683	8,584,821	

※平均世帯数・平均被保険者数は、3～2月(各月末)の平均値。

※件数は、国民健康保険事業状況報告書(事業年報)より。

(国保年金課)

特定健康診査受診者等の推移

(単位:人)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
特定健康診査受診者数	7,269	7,624	7,285	7,060	6,871
集団健診	4,912	5,116	5,044	4,875	4,707
個別健診	2,357	2,508	2,241	2,185	2,164
特定保健指導受診者数	1,056	1,545	1,133	1,061	982
動機付け支援	723	1,100	889	830	783
積極的支援	333	445	244	231	199

* 特定健康診査・特定保健指導実績報告より

特定健康診査受診率の推移

(単位:%)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
糸島市	37.1	38.8	39.0	38.9	—
福岡県	31.2	31.5	32.3	33.5	—
国	35.4	36.3	36.6	—	—

* 特定健康診査・特定保健指導法定報告より

特定保健指導実施率の推移

(単位:%)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
糸島市	67.3	70.2	74.5	79.4	—
福岡県	41.1	43.0	41.7	43.2	—
国	24.4	25.1	26.3	—	—

* 特定健康診査・特定保健指導法定報告より

(健康づくり課)

3 介護保険事業特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度	平成29年度
歳 入	総 額	8,930,742	8,477,119
歳 出	総 額	8,546,326	8,051,603
歳 入	歳 出 差 引 額	384,416	425,516
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費逡次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		384,416	425,516

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増 減 額	増 減 率		増 減 額	増 減 率	
26	7,302,567	267,864	3.8	7,199,053	309,337	4.5	103,514
27	7,797,032	494,465	6.8	7,573,973	374,920	5.2	223,059
28	8,097,628	300,596	3.9	7,865,578	291,605	3.9	232,050
29	8,477,119	379,491	4.7	8,051,603	186,025	2.4	425,516
30	8,930,742	453,623	5.4	8,546,326	494,723	6.1	384,416

介護保険事業特別会計 科目別決算の状況

歳入

(単位:千円、%)

科 目		平成29年度 決算額	平成30年度				
			決算額	構成比	対前年度 増減額	対前年度 増減率	
保険料	現年特別徴収保険料	1,640,468	1,868,208	20.9	227,740	13.9	
	現年普通徴収保険料	164,255	174,355	2.0	10,100	6.1	
	滞納繰越分保険料	4,678	9,595	0.1	4,917	105.1	
	計	1,809,401	2,052,158	23.0	242,757	13.4	
手数料	使用料及び手数料	103	303	0.0	200	194.2	
国庫支出金	介護給付費負担金(現年度分)	1,416,658	1,358,679	15.2	△ 57,979	△ 4.1	
	調整交付金(現年度分)	249,500	247,473	2.8	△ 2,027	△ 0.8	
	地域支援事業交付金(介護予防)	0	0	0.0	0	-	
	地域支援事業交付金(包括的支援)	71,075	74,037	0.8	2,962	4.2	
	地域支援事業交付金(包括的支援・過年度分)	0	0	0.0	0	-	
	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	69,784	68,596	0.8	△ 1,188	△ 1.7	
	保険者機能強化推進交付金	0	15,024	0.2	15,024	皆増	
	その他補助金	2,035	2,619	0.0	584	28.7	
	計	1,809,052	1,766,428	19.8	△ 42,624	△ 2.4	
支払基金	介護給付費現年度分	2,097,666	2,072,210	23.2	△ 25,456	△ 1.2	
	介護給付費過年度分	0	0	0.0	0	-	
	地域支援事業支援交付金	75,377	79,317	0.9	3,940	5.2	
	計	2,173,043	2,151,527	24.1	△ 21,516	△ 1.0	
県支出金	県負担金	介護給付費負担金(現年度分)	1,110,812	1,123,179	12.6	12,367	1.1
	県補助金	地域支援事業補助金(介護予防)	0	0	0.0	0	-
		地域支援事業補助金(介護予防・過年度分)	0	0	0.0	0	-
		地域支援事業補助金(包括的支援・現年度分)	35,538	37,018	0.4	1,480	4.2
		地域支援事業補助金(包括的支援・過年度分)	0	0	0.0	0	-
		地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	38,097	36,722	0.4	△ 1,375	△ 3.6
	計	1,184,447	1,196,919	13.4	12,472	1.1	
取財入産	財産収入(利子及び配当金)	7	39	0.0	32	457.1	
繰入金	一般会計繰入金	介護給付費繰入金(現年度分)	921,173	931,874	10.5	10,701	1.2
		地域支援事業繰入金(介護予防)	0	0	0.0	0	-
		地域支援事業繰入金(包括的支援)	34,415	37,495	0.4	3,080	8.9
		保険料軽減分繰入金	13,827	15,746	0.2	1,919	13.9
		地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	31,916	38,379	0.4	6,463	20.3
		その他一般会計繰入金(職員給与費等)	136,648	122,263	1.4	△ 14,385	△ 10.5
		その他一般会計繰入金(認定事務費等)	67,261	65,431	0.7	△ 1,830	△ 2.7
		小計	1,205,240	1,211,188	13.6	5,948	0.5
	介護給付費準備基金繰入金	59,399	126,513	1.4	67,114	113.0	
計	1,264,639	1,337,701	15.0	73,062	5.8		
繰越金		232,050	425,516	4.7	193,466	83.4	
その他の収入		4,377	151	0.0	△ 4,226	△ 96.6	
歳入合計		8,477,119	8,930,742	100.0	453,623	5.4	

歳出

(単位:千円、%)

科 目		平成29年度 決算額	平成30年度			
			決算額	構成比	対前年度 増減額	対前年度 増減率
総務費	1-1 一般管理費	129,667	121,613	1.4	△ 8,054	△ 6.2
	1-2 国保連合会負担金	0	0	0.0	0	-
	2-1 賦課徴収費	2,952	3,613	0.0	661	22.4
	2-2 滞納処分費	424	675	0.0	251	59.2
	3-1 介護認定審査会費	11,232	11,215	0.2	△ 17	△ 0.2
	3-2 認定調査費	50,978	52,208	0.6	1,230	2.4
	計	195,253	189,324	2.2	△ 5,929	△ 3.0
保険給付費	1. 介護サービス等諸費	6,380,924	6,539,577	76.5	158,653	2.5
	2. 介護予防サービス等諸費	306,460	345,099	4.1	38,639	12.6
	3. その他諸費	3,913	4,187	0.1	274	7.0
	4. 高額介護サービス費	175,481	187,693	2.2	12,212	7.0
	5. 高額医療合算サービス等費	19,676	19,774	0.2	98	0.5
	6. 特定入所者介護サービス等費	267,405	266,541	3.1	△ 864	△ 0.3
	計	7,153,859	7,362,871	86.2	209,012	2.9
財政安定化基金拠出金		0	0	0.0	0	-
地域支援事業	1. 介護予防・生活支援サービス事業費	236,254	245,273	2.9	9,019	3.8
	2. 一般介護予防事業費	31,755	28,892	0.3	△ 2,863	△ 9.0
	3. 包括的支援、任意事業費	172,653	187,974	2.2	15,321	8.9
	4. その他諸費	587	661	0.0	74	12.6
	計	441,249	462,800	5.4	21,551	4.9
介護給付費準備基金積立金		116,032	212,798	2.5	96,766	83.4
公債費		0	0	0.0	0	-
諸支出金	1. 保険料還付金	1,696	1,307	0.0	△ 389	△ 22.9
	2. 償還金	143,514	317,226	3.7	173,712	121.0
	3. 還付加算金	0	0	0.0	0	-
	計	145,210	318,533	3.7	173,323	119.4
歳出合計		8,051,603	8,546,326	100.0	494,723	6.1
形式収支(歳入-歳出)		425,516	384,416	-	△ 41,100	-
単年度収支(形式収支-前年度繰越金)		193,466	△ 41,100	-	-	-
実質単年度収支※		250,099	45,185	-	-	-

※実質単年度収支=形式収支(翌年度へ繰り越すべき財源)-前年度繰越金+基金への積立金-基金繰入金(基金取り崩し額)

所得段階別保険料額

年度	第1段階	第2段階	第3段階 特例	第3段階	第4段階 特例	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階
平成24年度 ～26年度	28,800 (2,400)	28,800 (2,400)	39,160 (3,263)	43,200 (3,600)	52,410 (4,368)	57,600 (4,800)	67,960 (5,663)	77,760 (6,480)	95,040 (7,920)	112,320 (9,360)	115,200 (9,600)	129,600 (10,800)	132,480 (11,040)	-
平成27年度 ～29年度	28,720 (2,393)	43,410 (3,618)	-	47,880 (3,990)	-	57,450 (4,788)	63,840 (5,320)	74,050 (6,171)	84,900 (7,075)	105,330 (8,778)	124,480 (10,373)	127,680 (10,640)	143,640 (11,970)	146,830 (12,236)
平成30年度	31,370 (2,614)	47,400 (3,950)	-	52,290 (4,357)	-	62,740 (5,228)	69,720 (5,810)	80,870 (6,739)	92,720 (7,726)	115,030 (9,585)	135,950 (11,329)	139,440 (11,620)	156,870 (13,072)	160,350 (13,362)

※下段()書きは、月額保険料

所得段階別第1号被保険者数 (平成31年3月末)

区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階
第1号被保険者数	4,930人	2,231人	2,051人	3,987人	4,435人	5,101人	3,253人
割合	16.9%	7.6%	7.0%	13.6%	15.2%	17.5%	11.1%

第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	合計
1,654人	688人	393人	167人	309人	29,199人
5.7%	2.4%	1.3%	0.6%	1.1%	100.0%

介護保険料の年度別推移

(単位:千円)

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比
現年度分	1,481,497	99.5%	1,672,637	99.5%	1,742,219	99.6%	1,803,778	99.7%	2,041,761	99.5%
特別徴収	1,322,487	88.8%	1,509,308	89.8%	1,579,474	90.3%	1,639,523	90.7%	1,867,406	91.0%
普通徴収	159,010	10.7%	163,329	9.7%	162,745	9.3%	164,255	9.1%	174,355	8.5%
滞納繰越分	8,055	0.5%	7,762	0.5%	7,400	0.4%	4,678	0.3%	9,595	0.5%
合計	(822) 1,489,552	100%	(1,031) 1,680,399	100%	(876) 1,749,619	100%	(945) 1,808,456	100%	(802) 2,051,356	100%

※収入額は、還付未済額[合計欄上段()書き]を除いているため、決算書とは一致しない。

(単位:千円)

年度	現年度分 特別徴収			現年度分 普通徴収		
	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率
平成26年度	1,322,487	1,322,487	100%	170,214	159,010	93.4%
平成27年度	1,509,308	1,509,308	100%	175,070	163,329	93.3%
平成28年度	1,579,474	1,579,474	100%	172,831	162,745	94.2%
平成29年度	1,639,523	1,639,523	100%	177,584	164,255	92.5%
平成30年度	1,867,406	1,867,406	100%	186,161	174,355	93.7%

年度	現年度分 合計			滞納繰越分		
	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率
平成26年度	1,492,701	1,481,497	99.2%	21,682	8,055	37.2%
平成27年度	1,684,378	1,672,637	99.3%	21,506	7,762	36.1%
平成28年度	1,752,305	1,742,219	99.4%	21,235	7,400	34.8%
平成29年度	1,817,107	1,803,778	99.3%	19,344	4,678	24.2%
平成30年度	2,053,567	2,041,761	99.4%	22,836	9,595	42.0%

介護認定審査の状況

認定審査会回数

(単位:回)

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
回数	183	176	170	168	170

申請・認定・審査件数

(単位:人)

区分	年度	申請受付件数					認定調査件数					審査件数				
		26	27	28	29	30	26	27	28	29	30	26	27	28	29	30
新規	規	1,278	1,367	1,300	1,407	1,393	1,334	1,329	1,248	1,305	1,323	1,342	1,313	1,236	1,300	1,328
更新	新	2,815	2,903	2,942	2,642	2,878	2,805	2,842	2,868	2,595	2,749	2,795	2,853	2,794	2,620	2,794
区分変更		212	245	268	292	250	215	231	258	276	229	212	228	257	273	228
転入		63	30	14	54	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		4,368	4,545	4,524	4,395	4,585	4,354	4,402	4,374	4,176	4,301	4,349	4,394	4,287	4,193	4,350

第1号被保険者数・要介護認定者数の推移

(単位:人、%)

区分		平成26年3月末	平成27年3月末	平成28年3月末	平成29年3月末	平成30年3月末	平成31年3月末	30年と31年の比較	
								増減	増減率
第1号被保険者		24,742	25,928	26,809	27,604	28,460	29,199	739	2.6%
要介護認定者数	要支援1	540 14.3%	531 13.2%	562 13.6%	546 13.2%	562 13.1%	646 14.7%	84	14.9%
	要支援2	722 19.1%	785 19.5%	735 17.8%	716 17.4%	795 18.6%	842 19.1%	47	5.9%
	要介護1	661 17.5%	693 17.2%	731 17.7%	745 18.0%	773 18.1%	805 18.3%	32	4.1%
	要介護2	557 14.7%	623 15.5%	630 15.2%	621 15.0%	638 14.9%	609 13.8%	△ 29	△ 4.5%
	要介護3	473 12.5%	530 13.1%	572 13.8%	598 14.6%	541 12.7%	551 12.5%	10	1.8%
	要介護4	482 12.8%	531 13.2%	571 13.8%	570 13.8%	612 14.3%	595 13.5%	△ 17	△ 2.8%
	要介護5	345 9.1%	336 8.3%	332 8.0%	332 8.0%	354 8.3%	355 8.1%	1	0.3%
	合計	3,780	4,029	4,133	4,128	4,275	4,403	128	3.0%
	第1号被保険者	3,683	3,927	4,039	4,042	4,197	4,321	124	3.0%
	第2号被保険者	97	102	94	86	78	82	4	5.1%
認定率		14.9%	15.1%	15.1%	14.6%	14.7%	14.8%	-	-

(出典 平成26年から平成29年は福岡県介護保険年報。平成30年及び平成31年は介護保険事業状況報告(月報3月分))

要介護・要支援認定者数の内訳

(単位:人)

区分	平成26年3月末				平成27年3月末				平成28年3月末			
	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計
要支援1	74	457	9	540	82	434	15	531	72	481	9	562
要支援2	92	606	24	722	95	662	28	785	108	610	17	735
要介護1	59	591	11	661	59	626	8	693	67	654	10	731
要介護2	73	464	20	557	65	541	17	623	70	541	19	630
要介護3	40	417	16	473	62	452	16	530	77	480	15	572
要介護4	41	431	10	482	47	472	12	531	55	501	15	571
要介護5	33	305	7	345	32	298	6	336	30	293	9	332
合計	412	3,271	97	3,780	442	3,485	102	4,029	479	3,560	94	4,133
軽度の割合(要支援1~要介護1)	54.6%	50.6%	45.4%	50.9%	53.4%	49.4%	50.0%	49.9%	51.6%	49.0%	38.3%	49.1%
平均要介護度	2.05				2.06				2.08			

区分	平成29年3月末				平成30年3月末				平成31年3月末			
	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計	前期高齢者	後期高齢者	第2号被保険者	計
要支援1	71	463	12	546	67	485	10	562	65	573	8	646
要支援2	93	607	16	716	97	683	15	795	111	712	19	842
要介護1	63	676	6	745	60	705	8	773	67	731	7	805
要介護2	73	534	14	621	79	545	14	638	75	524	10	609
要介護3	66	521	11	598	59	472	10	541	65	477	9	551
要介護4	60	497	13	570	66	534	12	612	49	534	12	595
要介護5	25	293	14	332	36	309	9	354	36	302	17	355
合計	451	3,591	86	4,128	464	3,733	78	4,275	468	3,853	82	4,403
軽度の割合(要支援1~要介護1)	50.3%	48.6%	39.5%	48.6%	48.3%	50.2%	42.3%	49.8%	51.9%	52.3%	41.5%	52.1%
平均要介護度	2.09				2.08				2.02			

(出典 平成26年から平成29年は福岡県介護保険年報。平成30年及び平成31年は介護保険事業状況報告(月報3月分))

保険給付の状況

(単位:千円、%)

費用名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度		
					決算額	対前年度 増減額	対前年度 増減率
介護サービス等諸費	5,732,849	6,090,147	6,222,707	6,380,924	6,539,577	158,653	2.5
居室介護サービス給付費(A)	1,745,591	1,986,767	1,865,787	1,981,455	2,067,196	85,741	4.3
施設介護サービス給付費(C)	2,983,495	3,051,464	2,998,115	3,002,243	3,077,010	74,767	2.5
居室介護福祉用具購入費(A)	9,102	7,236	8,844	7,020	6,948	△ 72	△ 1.0
居室介護住宅改修費(A)	22,810	14,928	18,761	15,295	13,020	△ 2,275	△ 14.9
居室介護サービス計画給付費(A)	198,668	223,108	229,533	232,906	245,049	12,143	5.2
地域密着型介護サービス給付費(B)	773,183	806,644	1,101,667	1,142,005	1,130,354	△ 11,651	△ 1.0
介護予防サービス等諸費	543,069	510,788	438,299	306,460	345,099	38,639	12.6
介護予防サービス給付費(A)	452,471	410,312	342,493	221,846	254,503	32,657	14.7
介護予防福祉用具購入費(A)	5,490	4,982	5,451	5,758	5,572	△ 186	△ 3.2
介護予防住宅改修費(A)	21,114	18,806	23,679	20,494	22,758	2,264	11.0
介護予防サービス計画給付費(A)	53,343	56,564	50,718	42,393	46,714	4,321	10.2
地域密着型介護予防サービス給付費(B)	10,650	20,124	15,958	15,969	15,552	△ 417	△ 2.6
その他諸費	3,322	4,145	4,193	3,913	4,187	274	7.0
審査支払手数料	3,322	4,145	4,193	3,913	4,187	274	7.0
高額介護サービス等費	152,707	163,486	173,015	175,481	187,693	12,212	7.0
高額介護サービス費	152,396	162,913	172,507	175,259	187,409	12,150	6.9
高額介護予防サービス費	311	573	508	222	284	62	27.9
高額医療合算介護サービス等費	13,236	13,473	18,881	19,676	19,774	98	0.5
高額医療合算介護サービス等費	13,071	13,326	18,750	19,523	19,555	32	0.2
高額医療合算介護予防サービス等費	165	147	131	153	219	66	43.1
特定入所者介護サービス等費	269,323	290,519	279,602	267,405	266,541	△ 864	△ 0.3
特定入所者介護サービス費	268,900	290,012	279,251	267,137	266,074	△ 1,063	△ 0.4
特定入所者介護予防サービス費	422	507	351	268	467	199	74.3
給付費総額	6,714,506	7,072,558	7,136,697	7,153,859	7,362,871	209,012	2.9
第1号被保険者一人あたり給付額(年額)	258,967	263,813	258,539	251,365	252,162	797	0.3

(再掲)

給付費	(A)居室サービス	2,508,589	2,722,703	2,545,266	2,527,167	2,661,760	134,593	5.3
	(B)地域密着型サービス	783,833	826,768	1,117,625	1,157,974	1,145,906	△ 12,068	△ 1.0
	(C)施設サービス	2,983,495	3,051,464	2,998,115	3,002,243	3,077,010	74,767	2.5
延べ利用者数	(A)居室サービス	27,554人	29,268人	29,229人	27,931人	29,210人	1,279人	4.6
	(B)地域密着型サービス	3,878人	4,051人	6,446人	6,637人	6,565人	△ 72人	△ 1.1
	(C)施設サービス	10,374人	10,857人	10,806人	10,730人	10,804人	74人	0.7
た利用者給付月額額あ	(A)居室サービス	91,043円	93,027円	87,080円	90,479円	91,125円	646円	0.7
	(B)地域密着型サービス	202,123円	204,090円	173,383円	174,473円	174,548円	75円	0.0
	(C)施設サービス	287,594円	281,060円	277,449円	279,799円	284,803円	5,004円	1.8

4 後期高齢者医療特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度	平成29年度
歳 入	総 額	1,365,840	1,290,222
歳 出	総 額	1,330,818	1,255,107
歳 入	歳 出 差 引 額	35,022	35,115
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費通次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		35,022	35,115

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
26	1,127,329	59,226	5.5	1,101,700	59,970	5.8	25,629
27	1,149,873	22,544	2.0	1,121,853	20,153	1.8	28,020
28	1,200,983	51,110	4.4	1,167,317	45,464	4.1	33,666
29	1,290,222	89,239	7.4	1,255,107	87,790	7.5	35,115
30	1,365,840	75,618	5.9	1,330,818	75,711	6.0	35,022

療養給付費等の推移

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平均被保険者数 (人)		11,742	12,065	12,458	12,897	13,393
療養給付費等	療養給付費等 (千円)	12,764,366	13,382,917	13,480,950	14,096,701	14,492,551
	件数 (件)	398,777	410,919	427,568	446,588	470,792
	一人当たり金額 (円)	1,087,069	1,109,235	1,082,112	1,093,022	1,082,099
	一件当たり金額 (円)	32,009	32,568	31,529	31,565	30,783

※療養給付費等は、福岡県後期高齢者医療広域連合が負担した被保険者分

※平均被保険者数は、3～2月(各月末)の平均値。

保険料収納率等の推移

(単位:千円、%)

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	収入済額	収納率	収入済額	収納率	収入済額	収納率	収入済額	収納率	収入済額	収納率
現年度分	775,053	99.1	781,609	98.9	822,029	99.2	893,021	99.5	961,811	99.3
特別徴収	495,189	100.0	493,067	100.0	514,410	100.0	567,569	100.0	595,916	100.0
普通徴収	279,864	97.6	288,542	97.2	307,619	97.8	325,452	98.6	365,895	98.3
滞納繰越分	4,388	41.3	5,230	40.4	7,727	50.2	6,319	45.8	4,156	35.4
合 計	779,441	98.3	786,839	98.0	829,756	98.3	899,340	98.7	965,967	98.6

※収入済額は、還付未済額を除いているため、決算書とは一致しません。

(国保年金課)

5 渡船事業特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度	平成29年度
歳 入	総 額	89,295	57,130
歳 出	総 額	89,295	57,129
歳 入	歳 出 差 引 額	0	1
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費通次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		0	1

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
26	63,453	△ 8,856	△ 12.2	59,931	369	0.6	3,522
27	253,588	190,135	299.6	252,258	192,327	320.9	1,330
28	56,095	△ 197,493	△ 77.9	56,094	△ 196,164	△ 77.8	1
29	57,130	1,035	1.8	57,129	1,035	1.8	1
30	89,295	32,165	56.3	89,295	32,166	56.3	0

輸送人員の状況

(単位:人)

区 分	平成26年度 輸送人員	平成27年度 輸送人員	平成28年度 輸送人員	平成29年度 輸送人員	平成30年度 輸送人員
輸 送 人 員 数	39,929	37,599	37,579	38,806	37,496

事業収入の状況

(単位:千円)

区 分	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額
旅 客 運 賃	16,866	15,587	15,449	16,089	15,285
貨 物 運 賃	776	767	763	772	782
そ の 他 の 収 入	91	126	129	161	149
合 計	17,733	16,480	16,341	17,022	16,216

地方債現在高の状況

(単位:千円)

借 入 先	A 平成29年度 現在高	B 平成30年度 発行額	平成30年度元利償還金			差引現在高 A+B-C
			C 元金	利子	計	
財政融資資金	168,200	0	23,957	162	24,119	144,243
計	168,200	0	23,957	162	24,119	144,243

(地域振興課)

6 二丈福吉財産区特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度	平成29年度
歳 入	総 額	799	651
歳 出	総 額	220	231
歳 入	歳 出 差 引 額	579	420
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費通次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		579	420

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対前年度比較		決 算 額	対前年度比較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
26	764	△ 22	△ 2.8	569	168	41.9	195
27	574	△ 190	△ 24.9	298	△ 271	△ 47.6	276
28	656	82	14.3	384	86	28.9	272
29	651	△ 5	△ 0.8	231	△ 153	△ 39.8	420
30	799	148	22.7	220	△ 11	△ 4.8	579

7 二丈一貴山財産区特別会計

実質収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度	平成29年度
歳 入	総 額	9,296	4,464
歳 出	総 額	8,144	3,437
歳 入	歳 出 差 引 額	1,152	1,027
翌年度へ繰り 越すべき財源	(1)継続費逡次繰越額		
	(2)繰越明許費繰越額		
	(3)事故繰越し繰越額		
	計		
実 質 収 支 額		1,152	1,027

決算の推移

(単位:千円、%)

年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差 引 額
	決 算 額	対 前 年 度 比 較		決 算 額	対 前 年 度 比 較		
		増減額	増減率		増減額	増減率	
26	4,898	△ 3,978	△ 44.8	4,863	△ 4,013	△ 45.2	35
27	6,037	1,139	23.3	5,936	1,073	22.1	101
28	7,554	1,517	25.1	7,007	1,071	18.0	547
29	4,464	△ 3,090	△ 40.9	3,437	△ 3,570	△ 50.9	1,027
30	9,296	4,832	108.2	8,144	4,707	137.0	1,152

基金の状況(特別会計)

(単位:千円)

名 称	29年度末 現在高	30年度		30年度末 現在高
		積立	取崩	
住宅新築資金等貸付事業基金(住宅特会)	174,083	9,854		183,937
国民健康保険事業財政調整基金(国保特会)	227,940	400,561		628,501
介護給付費準備基金(介護特会)	142,562	212,798	126,513	228,847
二丈福吉財産区財政調整基金 (二丈福吉財産区特会)	5,373	2		5,375
二丈一貴山財産区財政調整基金 (二丈一貴山財産区特会)	31,652	8,023		39,675
総 合 計	284,865	631,238	126,513	1,086,335

参 考 资 料

普通会計決算収支の推移

(単位:千円、%)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳入	34,843,299	35,831,661	39,197,035	36,363,570	37,419,083
歳出	33,451,871	34,229,260	37,400,839	34,863,833	36,415,415
形式収支	1,391,428	1,602,401	1,796,196	1,499,737	1,003,668
翌年度繰越財源	312,626	78,823	486,919	75,174	190,095
実質収支	1,078,802	1,523,578	1,309,277	1,424,563	813,573
単年度収支	△207,020	444,776	△214,301	115,286	△610,990
積立金	874,117	763,097	510,479	777,284	1,260,695
繰上償還金	346,593	142,758	143,600	6,260	
積立金取崩し額			3,576,000	483,000	700,000
実質単年度収支	1,013,690	1,350,631	△3,136,222	415,830	△50,295

*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したものであり、決算書とは一致しません。

主要財政指標の推移

(単位:千円、%)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
標準財政規模	20,716,853	20,354,125	20,183,448	20,144,006	20,078,979
財政力指数(3ヶ年平均)	0.51	0.53	0.54	0.56	0.56
実質収支比率	5.2	7.5	6.5	7.1	4.1
健全化判断比率	—	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—
実質公債費比率	12.1	9.1	6.2	5.5	5.5
将来負担比率	42.8	30.2	17.3	13.7	10.0
経常収支比率	85.8 (92.4)	84.4 (89.9)	86.0 (90.5)	87.6 (92.5)	89.3 (94.4)
経常一般財源比率	93.7	96.0	95.6	95.7	95.3

*経常収支比率の()は、減税補てん償及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた経常収支比率

普通会計歳入決算の推移

(単位:千円、%)

区分	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率
○ 地方税	9,042,577	26.0	0.8	8,962,170	25.0	△ 0.9	9,306,767	23.7	3.8	9,427,604	25.9	1.3	9,572,182	25.6	1.5
地方譲与税	331,383	1.0	△ 4.5	346,870	1.0	4.7	343,471	0.9	△ 1.0	341,460	0.9	△ 0.6	345,469	0.9	1.2
利子割交付金	22,602	0.1	△ 3.8	19,034	0.1	△ 15.8	9,685		△ 49.1	17,710	0.1	82.9	15,561		△ 12.1
配当割交付金	71,723	0.2	83.7	53,804	0.1	△ 25.0	31,620	0.1	△ 41.2	45,820	0.1	44.9	34,572	0.1	△ 24.5
株式等譲渡所得割交付金	39,975	0.1	△ 32.0	50,055	0.1	25.2	20,992	0.1	△ 58.1	48,474	0.1	130.9	31,682	0.1	△ 34.6
地方消費税交付金	941,706	2.7	27.1	1,682,123	4.7	78.6	1,505,588	3.8	△ 10.5	1,523,632	4.2	1.2	1,532,145	4.1	0.6
ゴルフ場利用税交付金	86,314	0.2	1.5	88,631	0.2	2.7	83,661	0.2	△ 5.6	85,496	0.2	2.2	83,248	0.2	△ 2.6
自動車取得税交付金	52,419	0.2	△ 55.3	78,620	0.2	50.0	91,427	0.2	16.3	125,278	0.4	37.0	131,213	0.4	4.7
地方特例交付金	48,137	0.1	△ 1.0	51,042	0.1	6.0	55,025	0.1	7.8	64,008	0.2	16.3	77,871	0.2	21.7
地方交付税	9,342,636	26.8	△ 5.1	8,764,675	24.5	△ 6.2	8,403,433	21.4	△ 4.1	8,134,961	22.4	△ 3.2	7,929,085	21.2	△ 2.5
交通安全対策特別交付金	16,927	0.1	△ 9.8	18,987	0.1	12.2	18,876	0.1	△ 0.6	18,071	0.1	△ 4.3	16,362	0.1	△ 9.5
○ 分担金及び負担金	572,714	1.6	3.4	604,448	1.7	5.5	522,485	1.3	△ 13.6	550,880	1.5	5.4	566,368	1.5	2.8
○ 使用料	240,183	0.7	0.6	208,203	0.6	△ 13.3	221,757	0.6	6.5	193,685	0.5	△ 12.7	198,269	0.5	2.4
○ 手数料	252,294	0.7	△ 10.7	281,905	0.8	11.7	284,316	0.7	0.9	291,630	0.8	2.6	310,222	0.8	6.4
国庫支出金	5,997,037	17.2	19.2	6,383,507	17.8	6.4	6,211,641	15.9	△ 2.7	6,298,462	17.3	1.4	6,295,489	16.8	
県支出金	2,823,837	8.1	△ 8.5	3,145,142	8.8	11.4	3,268,855	8.3	3.9	3,030,605	8.3	△ 7.3	3,212,576	8.6	6.0
○ 財産収入	70,462	0.2	67.0	185,950	0.5	163.9	41,173	0.1	△ 77.9	173,144	0.5	320.5	447,921	1.2	158.7
○ 寄附金	9,987		13.1	109,629	0.3	997.7	184,078	0.5	67.9	383,190	1.1	108.2	500,788	1.3	30.7
○ 繰入金	62,463	0.2	△ 72.7	34,449	0.1	△ 44.8	3,711,567	9.5	10674.1	656,914	1.8	△ 82.3	1,253,482	3.4	90.8
○ 繰越金	1,384,722	4.0	17.5	1,391,428	3.9	0.5	1,602,401	4.1	15.2	1,796,196	4.9	12.1	1,499,737	4.0	△ 16.5
○ 諸収入	495,436	1.4	5.5	475,973	1.3	△ 3.9	527,123	1.4	10.7	448,029	1.2	△ 15.0	675,310	1.8	50.7
地方債	2,937,765	8.4	△ 0.2	2,895,016	8.1	△ 1.5	2,751,094	7.0	△ 5.0	2,708,321	7.5	△ 1.6	2,689,531	7.2	△ 0.7
うち臨時財政対策債	1,486,265	4.2	△ 6.6	1,272,516	3.6	△ 14.4	1,018,794	2.6	△ 19.9	1,088,421	3.0	6.8	1,102,231	3.0	1.3
国有施設等所在市町村助成交付金															
合計	34,843,299	100.0	1.4	35,831,661	100.0	2.8	39,197,035	100.0	9.4	36,363,570	100.0	△ 7.2	37,419,083	100.0	2.9
○ 自主財源	12,130,838	34.8	1.3	12,254,155	34.2	1.0	16,401,667	41.8	33.8	13,921,272	38.3	△ 15.1	15,024,279	40.2	7.9
依存財源	22,712,461	65.2	1.5	23,577,506	65.8	3.8	22,795,368	58.2	△ 3.3	22,442,298	61.7	△ 1.5	22,394,804	59.8	△ 0.2

*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、決算書とは一致しません。

普通会計財源別歳入決算の推移

(単位:千円、%)

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
一般財源										
地方税	9,042,577	26.0	8,962,170	25.0	9,306,767	23.7	9,427,604	25.9	9,572,182	25.6
地方譲与税	331,383	1.0	346,870	1.0	343,471	0.9	341,460	0.9	345,469	0.9
利子割交付金	22,602	0.1	19,034	0.1	9,685		17,710	0.1	15,561	
配当割交付金	71,723	0.2	53,804	0.1	31,620	0.1	45,820	0.1	34,572	0.1
株式等譲渡所得割交付金	39,975	0.1	50,055	0.1	20,992	0.1	48,474	0.1	31,682	0.1
地方消費税交付金	941,706	2.7	1,682,123	4.7	1,505,588	3.8	1,523,632	4.2	1,532,145	4.1
ゴルフ場利用税交付金	86,314	0.2	88,631	0.2	83,661	0.2	85,496	0.2	83,248	0.2
自動車取得税交付金	52,419	0.2	78,620	0.2	91,427	0.2	125,278	0.4	131,213	0.4
地方特例交付金	48,137	0.1	51,042	0.1	55,025	0.1	64,008	0.2	77,871	0.2
地方交付税	9,342,636	26.8	8,764,675	24.5	8,403,433	21.4	8,134,961	22.4	7,929,085	21.2
その他の	3,252,200	9.3	3,276,098	9.2	6,666,022	17.0	3,406,866	9.4	3,635,121	9.7
小計	23,231,672	66.7	23,373,122	65.2	26,517,691	67.6	23,221,309	63.9	23,388,149	62.5
特定財源										
分担金・負担金	558,977	1.6	590,187	1.7	505,085	1.3	536,185	1.5	561,381	1.5
使用料・手数料	465,509	1.4	462,847	1.3	478,734	1.2	462,343	1.3	482,061	1.3
国庫支出金	5,792,528	16.6	5,932,363	16.0	5,902,115	15.1	6,174,255	17.0	6,176,643	16.5
県支出金	2,803,236	8.0	3,087,840	8.8	3,205,210	8.2	3,001,565	8.2	3,179,635	8.5
財産収入	9,118		11,449		10,601	0.0	10,744		329,220	0.9
諸収入	410,150	1.2	405,247	1.1	465,225	1.2	383,327	1.0	609,433	1.6
地方債	1,451,500	4.2	1,622,500	4.5	1,732,300	4.4	1,618,900	4.5	1,587,300	4.2
その他の	120,609	0.3	346,106	1.4	380,074	1.0	954,942	2.6	1,105,261	3.0
小計	11,611,627	33.3	12,458,539	34.8	12,679,344	32.4	13,142,261	36.1	14,030,934	37.5
合計	34,843,299	100.0	35,831,661	100.0	39,197,035	100.0	36,363,570	100.0	37,419,083	100.0

*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、決算書とは一致しません。

普通会計性質別歳出決算の推移

(単位:千円、%)

区分	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率	決算額	構成比	対前年度増減率
1. 人件費	5,196,691	15.5	2.9	5,212,283	15.2	0.3	5,124,446	13.7	△ 1.7	5,116,254	14.7	△ 0.2	5,092,859	14.0	△ 0.5
うち職員給	3,158,311	9.4	3.6	3,162,134	9.2	0.1	3,149,396	8.4	△ 0.4	3,111,790	8.9	△ 1.2	3,106,742	8.5	△ 0.2
2. 扶助費	8,753,100	26.2	5.2	9,118,573	26.7	4.2	9,352,538	25.0	2.6	9,716,772	27.9	3.9	9,730,024	26.7	0.1
3. 公債費	3,839,869	11.5	△ 20.4	3,042,703	8.9	△ 20.8	2,861,206	7.7	△ 6.0	2,822,600	8.1	△ 1.3	2,950,263	8.1	4.5
内元利償還金	3,839,862	11.5	△ 20.4	3,042,703	8.9	△ 20.8	2,861,206	7.7	△ 6.0	2,822,600	8.1	△ 1.3	2,950,263	8.1	4.5
訳 一時借入金利子	7	0.0	△ 56.3		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0
1～3義務的経費小計	17,789,660	53.2	△ 2.2	17,373,559	50.8	△ 2.3	17,338,190	46.4	△ 0.2	17,655,626	50.7	1.8	17,773,146	48.9	0.7
4. 物件費	4,335,989	13.0	0.7	4,484,809	13.1	3.4	4,524,996	12.1	0.9	4,631,677	13.3	2.4	4,767,224	13.1	2.9
5. 維持補修費	184,189	0.5	22.4	183,956	0.5	△ 0.1	186,752	0.5	1.5	178,343	0.5	△ 4.5	192,892	0.5	8.2
6. 補助費等	2,405,404	7.2	△ 3.7	2,499,769	7.3	3.9	2,703,874	7.2	8.2	2,571,013	7.4	△ 4.9	2,534,079	7.0	△ 1.4
うち一部事務組合負担金	6,228		△ 3.9	5,898		△ 5.3	6,067	0.0	2.9	6,069	0.0	0.0	6,918	0.0	14.0
7. 積立金	944,983	2.8	24.7	927,067	2.7	△ 1.9	4,243,083	11.3	357.7	1,425,667	4.1	△ 66.4	1,836,016	5.0	28.8
8. 投資及び出資金・貸付金	102,958	0.3	△ 3.7	102,230	0.3	△ 0.7	96,432	0.3	△ 5.7	126,063	0.4	30.7	121,939	0.3	△ 3.3
9. 繰出金	3,470,607	10.4	7.6	4,236,019	12.4	22.1	3,993,061	10.7	△ 5.7	4,078,800	11.7	2.1	3,868,775	10.6	△ 5.1
10 前年度繰上充当金															
4 ～ 10 小計	11,444,130	34.2	3.6	12,433,850	36.3	8.6	15,748,198	42.1	26.7	13,011,563	37.3	△ 17.4	13,320,925	36.6	2.4
11 投資的経費	4,218,081	12.6	13.0	4,421,851	12.9	4.8	4,314,451	11.5	△ 2.4	4,196,644	12.0	△ 2.7	5,321,344	14.6	26.8
うち人件費	62,700	0.2	3.6	92,301	0.3	47.2	88,283	0.2	△ 4.4	95,096	0.3	7.7	101,531	0.3	6.8
内 普通建設事業費	4,162,612	12.4	12.8	4,330,882	12.6	4.0	4,285,259	11.4	△ 1.1	4,180,067	12.0	△ 2.5	5,032,781	13.8	20.4
うち単独事業費	1,288,954	3.8	△ 30.3	1,682,410	4.9	30.5	2,137,251	5.7	27.0	1,543,470	4.4	△ 27.8	2,394,951	6.6	55.2
訳 災害復旧事業費	55,469	0.2	26.8	90,969	0.3	64.0	29,192	0.1	△ 67.9	16,577	0.0	△ 43.2	288,563	0.8	1640.7
失業対策事業費															
歳出合計	33,451,871	100.0	1.4	34,229,260	100.0	2.3	37,400,839	100.0	9.3	34,863,833	100.0	△ 6.8	36,415,415	100.0	4.5
うち人件費	5,259,391	15.7	2.9	5,304,584	15.5	0.9	5,212,729	13.9	△ 1.7	5,211,350	15.0	0.0	5,194,390	14.4	△ 0.3

*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、決算書とは一致しません。

普通会計目的別歳出決算の推移

(単位:千円、%)

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	決算額	構成比 対前年度 増減率	決算額	構成比 対前年度 増減率	決算額	構成比 対前年度 増減率	決算額	構成比 対前年度 増減率	決算額	構成比 対前年度 増減率
議会費	281,455	0.8 △ 2.5	299,329	0.9 6.4	267,852	0.7 △ 10.5	260,250	0.7 △ 2.8	246,895	0.7 △ 5.1
総務費	3,786,647	11.3 4.5	4,114,079	12.0 8.6	7,231,478	19.3 75.8	4,412,255	12.7 △ 39.0	4,963,014	13.6 12.5
民生費	13,668,757	40.9 5.2	14,762,984	43.1 8.0	14,920,921	39.9 1.1	14,997,561	43.0 0.5	14,840,878	40.8 △ 1.0
衛生費	3,359,748	10.0 26.6	3,726,944	10.9 10.9	3,003,997	8.0 △ 19.4	2,698,948	7.7 △ 10.2	3,155,766	8.7 16.9
労働費	63,872	0.2 △ 28.7	34,485	0.1 △ 46.0	34,753	0.1 0.8	23,776	0.1 △ 31.6	23,682	0.1 △ 0.4
農林水産業費	1,271,084	3.8 △ 24.5	1,343,424	3.9 5.7	1,590,728	4.3 18.4	1,283,802	3.7 △ 19.3	1,248,519	3.4 △ 2.7
商工費	285,929	0.9 △ 3.9	376,093	1.1 31.5	261,467	0.7 △ 30.5	242,122	0.7 △ 7.4	265,159	0.7 9.5
土木費	2,661,485	8.0 8.7	2,449,139	7.2 △ 8.0	2,550,513	6.8 4.1	3,137,851	9.0 23.0	3,626,302	9.9 15.6
消防費	1,254,738	3.7 △ 7.7	1,199,190	3.5 △ 4.4	2,013,911	5.4 67.9	1,183,325	3.4 △ 41.2	1,418,875	3.9 19.9
教育費	2,922,818	8.7 9.8	2,789,921	8.1 △ 4.5	2,621,376	7.0 △ 6.0	3,783,651	10.9 44.3	3,354,026	9.2 △ 11.4
災害復旧費	55,469	0.2 26.8	90,969	0.3 64.0	29,192	0.1 △ 67.9	16,577	0.0 △ 43.2	288,563	0.8 1640.7
公債費	3,839,869	11.5 △ 20.4	3,042,703	8.9 △ 20.8	2,861,206	7.7 △ 6.0	2,822,600	8.1 △ 1.3	2,950,263	8.1 4.5
諸支出金					13,445	0.0 -	1,115	0.0 -	33,473	0.1 -
合計	33,451,871	100.0 1.4	34,229,260	100.0 2.3	37,400,839	100.0 9.3	34,863,833	100.0 △ 6.8	36,415,415	100.0 4.5

*記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、決算書とは一致しません。

平成30年度決算の概要(普通会計)

(単位：千円)

団体名	糸島市	27年国調人口	面積	職員数	一般職員	うち技能労働職	教育公務員	消防職員	臨時職員	計
類型	Ⅱ-1	31.1.1住基人口	215.70 k㎡	H31.4.1現在	375	10	2	98	0	475
区分	決算額	区別	収支の状況	状況	標準交付税	規模	N			
地方税	9,572,182	人件費	歳入総額	A	普通交付税	7,261,450				5,869,081
地方譲与税	345,469	うち職員給	歳入総額	B	標準税収入額等	11,715,298				285,902
利子割交付金	15,561	扶助費	歳出総額		臨時財政対策債発行可能額	1,102,231				4,283,798
配当割交付金	34,572	公債費	歳入歳出差引額	C	計	20,078,979				10,438,781
株式等譲渡所得割交付金	31,682	元利償還金	歳入歳出差引額		税収入状況(現年課税分)					29,743,517
地方消費税交付金	1,532,145	一時借入金利息	A-B	1,003,668	調定済額	9,553,263				0
ゴルフ場利用税交付金	83,248	(義務的経費小計)	翌年度へ繰り	D	収入済額	9,518,591				0
特別地方消費税交付金	0	物件費	越すべき財源	E	徴収率(%)	99.6				3,609,948
自動車取得税交付金	131,213	維持補修費	実質収支		財政力指数の状況					0
地方特例交付金	77,871	補助費等	C-D	813,573	基準財政需要額	16,265,126				0
地方交付税	7,929,085	うち一部組合負担金	前年度実質収支	F	基準財政収入額	9,261,778				0
内	7,261,450	繰出金	単年度収支	G	財政力指数(3か年平均)	0.56				48.8
特別交付税	667,635	積立金	E-F	△ 610,990	その他の指標(%)	4.1				14.0
一般財源(計)	19,753,028	投資及び出資金・貸付金	積立金	H	実質収支比率	E/N				8.1
交通安全対策特別交付金	16,362	(小計)	繰上償還金	I	経常一般財源比率	L/N				14.6
分担金及び負担金	566,368	前年度繰上充用金	繰上償還金	J	経常収支比率	M/(L+α+β)				13.8
使用料	198,269	投資的経費	繰上償還金		M/(L+α+β)	89.3 (94.4)				6.6
手数料	310,222	うち人件費	繰上償還金		うち人件費	23.2 (24.6)				0.8
国庫支出金	6,295,489	普通建設事業費	積立金取崩し額	J	うち公債費	14.5 (15.3)				36.6
国有提供交付金	0	うち補助事業費	実質単年度収支	K	健全化判断比率					
県支出金	3,212,576	うち単独事業費	実質単年度収支	L	実質赤字比率	—				
財産収入	447,921	災害復旧事業費	経常一般財源等収入		連結実質赤字比率	—				
寄附金	500,788	失業対策事業費	経常一般財源等収入		実質公債費比率	5.5				
繰入金	1,253,482	歳出合計	経常経費充当一般財源	M	将来負担比率	10.0				
繰越金	1,499,737		経常経費充当一般財源							
諸収入	675,310		18,069,877							
地方債	2,689,531									
うち減収補てん債特例分	0									
うち臨時財政対策債	1,102,231									
歳入合計	37,419,083									

※ 経常一般財源比率＝経常一般財源等収入／標準財政規模

※ 比率の欄は小数点第2位を四捨五入し、倍率の欄は小数点第3位を四捨五入してあります。

※ 経常収支比率の()は、減収補てん債特例分及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いたものです。

※ 記載数値は、地方財政状況調査(決算統計)に基づき作成したもので、普通会計間の純計操作を行っているため、決算書とは一致しません。

※ 決算書に基づく繰入金等を計上しているため、地方財政状況調査の数値とは一致しない。

